図柄入りナンバープレート等に関する検討会

中間取りまとめ

令和７年６月

図柄入りナンバープレート等に関する検討会

目次

１．はじめに 1
１．１　我が国の自動車保有車両数及び自動車交通の現状 1
１．２　ナンバープレートの現状とこれまでの取組（図柄ナンバープレート以前）1
１．３　図柄ナンバープレートの現状とこれまでの取組 1

２．　図柄ナンバープレート制度の見直し 3
２．１　図柄ナンバープレート制度の見直しにあたっての視点 3
２．２　図柄ナンバープレート（地方版）の次回導入のあり方について 5
２．３　図柄ナンバープレート（全国版）について 7
２．４　既存の図柄ナンバープレートについて 8
２．５　寄付金の使途について 9
２．６　今後のスケジュール 9
２．６．１　図柄ナンバープレート（地方版） 9
２．６．２　図柄ナンバープレート（全国版） 10

３．今後の図柄ナンバープレート等に係る検討課題 10
３．１　図柄ナンバープレート（ふるさと版）（仮称）の創設 10
３．２　人気がある希望番号の新たな取得方法について 11

図柄入りナンバープレート等に関する検討会　委員名簿 12

図柄入りナンバープレート等に関する検討会　開催経緯 13

（参考資料）

１．図柄ナンバープレート等の現状

２．自動車ユーザー及び自動車ディーラーに対するアンケート調査結果

（１）自動車ユーザーに対するアンケート調査結果

（２）自動車ディーラーに対するアンケート調査結果

３．諸外国のナンバープレートに係る制度

１．はじめに

１．１　我が国の自動車保有車両数及び自動車交通の現状

我が国の自動車の保有車両数は、約 8,300 万台（令和 7 年 3 月末現在）にのぼり、一貫して増加傾向にある。自動車は、国内交通の 3 分の 2 を担う交通モードであり、特に地方においては 1 世帯当たりの自動車保有台数が三大都市圏[1]の 2 倍近くとなるなど、国民生活においてなくてはならないものとなっている。

１．２　ナンバープレートの現状とこれまでの取組（図柄ナンバープレート以前）

自動車は、道路運送車両法（昭和 26 年法律第 185 号）（以下「車両法」という。）の規定により、登録を受けたものでなければ運行の用に供してはならないとされている。また、登録を受けた自動車には国土交通大臣が通知する番号を記載した自動車登録番号標を取り付けなければならず、軽自動車についても、車両番号標を表示しなければ、運行の用に供してはならない。

自動車登録番号標及び車両番号標（以下「ナンバープレート」という。）は、車両法により、大きさ、色、形、その他の事項について様式が定められている。 これまで、国土交通省においては、ナンバープレートの多角的な活用を図る観点から、

- ナンバープレートの一連指定番号の 4 桁の数字を自動車ユーザーの希望に応じて選択することができる「希望番号制」の導入（平成 10 年）
- 地域振興や観光振興に活用する観点から、地域の要望に応じて追加的に新たな地域名を定める「ご当地ナンバー」の導入（平成 18 年（第一弾）、平成 26 年（第二弾））

の取組みが進められてきた。

なお、ナンバープレートは、国土交通大臣の指定を受けた標板交付代行者により、自動車ユーザーに対し交付される。自動車ユーザーがナンバープレートの交付に当たり支払う交付手数料（ナンバープレートの原材料費や製作費が含まれる。）は、国土交通大臣が実費を考慮した上で標板交付代行者に対し認可している。

１．３　図柄ナンバープレートの現状とこれまでの取組

国土交通省では、「図柄入りナンバープレート制度検討会」を設置し、地方自治体からの図柄ナンバープレートの導入に関する要望や関心の高さ、諸外国での活用事例等を踏まえ、さらなる多角的な活用を検討した。

検討会における議論を踏まえ、平成 29 年に図柄ナンバープレートを導入した。具体的には、平成 25 年 9 月に東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「2020 年東京大会」という。）の開催が決定したことを受け、2020 年東京大会に向けた国民的機運の醸成や意識の高揚を図る観点から、ナンバープレートに 2020 年東京大会のエンブレムを使用した東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会特別仕様ナンバープレートを交付することとされた。合わせて地域振

[1] 埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、愛知県、京都府、大阪府及び兵庫県

興・観光振興や地域の連携強化・一体感の醸成を図る観点から、図柄ナンバープレート（地方版）を交付することとされた。

このような状況を踏まえ、国家的イベントである 2019 年ラグビーワールドカップ日本大会向けに平成 29 年 4 月にラグビーワールドカップ特別仕様ナンバープレートの交付が開始された。その後、平成 29 年 10 月に東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会特別仕様ナンバープレートの交付が開始された。また、2025 年に開催される国際博覧会（大阪・関西万博）向けに、令和 4 年 10 月に大阪・関西万博特別仕様ナンバープレートの交付が開始された。さらに、2027 年に開催される国際園芸博覧会（GREEN×EXPO 2027）向けに、令和 7 年 7 月に GREEN×EXPO 2027 特別仕様ナンバープレートの交付が開始される予定である。

図柄ナンバープレート（地方版）については、平成 30 年 10 月に第 1 弾として 40 地域において交付が開始され、令和 2 年 5 月に第 2 弾として 17 地域、令和 5 年 10 月に第 3 弾として 16 地域[2]、令和 7 年 5 月に第 4 弾として 5 地域においてそれぞれ交付が開始された。現在は全国 78 地域において図柄ナンバープレート（地方版）の交付を受けることが可能となっている。

ラグビーワールドカップ特別仕様ナンバープレート及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会特別仕様ナンバープレートは、それぞれの大会の終了に合わせて交付終了とした。これらの終了により、図柄ナンバープレート（地方版）が導入されていない地域において、図柄ナンバープレートの交付を受けることができなくなることが課題となっていた。このため、国土交通省は、「新たな図柄入りナンバープレートの導入に関する検討会」を設置し、図柄ナンバープレート（全国版）を導入することを決定し、「日本を元気に！」「立ち上がれ！美しい日本」をテーマとしてデザインについて公募した。この結果、日本全国 47 都道府県の県花をモチーフとしたデザインが決定された。図柄ナンバープレート（全国版）は、令和 4 年 4 月に交付が開始され、令和 9 年 4 月に交付が終了することとされている。

これらの図柄ナンバープレートにおいて、それぞれ寄付金付きフルカラー図柄及び寄付金なしモノトーン図柄の 2 種類の図柄を選択することが可能となっている。図柄ナンバープレート（地方版）制度創設にあたり、「図柄入りナンバープレート制度検討会」において寄付金の使途について検討した。この結果、

- 国土交通省は、自動車ユーザー等に裨益する事業として、地域における自動車交通サービスの改善・利用促進に資する事業、観光振興に資する事業、交通事故の被害者救済等を例示すること
- 図柄ナンバープレート（地方版）を導入する自治体は、その提案にあたりあらかじめ寄付金を充てる事業を明らかにし、当該事業による効果の検証結果と併せて国土交通大臣に提案すること

とされた。特別仕様ナンバープレートに設定される寄付金についても、図柄ナンバ

[2] いわき、那須、岡崎、堺、広島、秋田県（秋田）、沖縄県（沖縄）、群馬県（群馬・高崎）、東京都（品川、足立、練馬、多摩、八王子）、栃木県（宇都宮、とちぎ）

ープレート（地方版）の寄付金の使途に準拠し、当該国家的イベントに向けて必要となる交通サービスの整備を促進し、利便性を向上する事業に充てることとされた。また、図柄ナンバープレート（全国版）の寄付金の使途については、「新たな図柄入りナンバープレートの導入に関する検討会」において検討した結果、寄付金の使途となる施策の範囲を全国とした上で、あらゆる人の移動円滑化、交通事故の削減、観光振興、環境負荷の軽減とすることとされた。

２．　図柄ナンバープレート制度の見直し

２．１　図柄ナンバープレート制度の見直しにあたっての視点

国土交通省は、図柄ナンバープレート（地方版）第４弾としてご当地ナンバーの導入を伴うものを令和７年５月から導入したが、その前後より複数の自治体から次回導入に係る要望や相談を受けている。この中で、特に単独市での導入を検討しているが、現在の導入要綱では台数要件を満たせず導入できない状況のため、台数要件を緩和してほしいといった自治体からの要望も含まれている。

一方、標板交付代行者からは、特に地方部での自動車保有台数が減少する見込みの中で、フルカラー図柄とモノトーン図柄の２種類の図柄ナンバープレートの提供が負担となっているとの意見が出ている。図柄ナンバープレート（地方版）の種類が増えることは、交付経費の増加がそのまま自動車ユーザーの負担につながることとなり、ひいては図柄ナンバープレート制度の持続性に影響を及ぼす可能性もある。

また、制度持続性の観点では、図柄ナンバープレートの種類の多寡だけでなく、それぞれの交付件数を増やすことが重要である。特に、車のデザインと調和させるため、あえてモノトーン図柄を選択する自動車ユーザーも一定数存在すると考えられるところ、これらの自動車ユーザーのニーズを満たすような図柄ナンバープレートを創設することも重要である。

さらに、地方版及び全国版の寄付金は交通事業の改善や観光振興等に活用されていることから、寄付金が増えることが望ましく、特に、地方版については地域における寄付金の用途についても選択肢が増えることが望ましい。

このような状況を踏まえ、図柄ナンバープレートについて、寄付金付きのものに一本化することを見据えて自動車ユーザーに対しアンケート調査を実施した。アンケート結果については各項で詳述するが、寄付金なしであることを理由とするのではなく、自動車のデザインに合わせる等の理由によりフルカラー図柄よりモノトーン図柄を好む自動車ユーザーが一定数存在する。また、アンケート結果を踏まえ、今後の図柄ナンバープレートの方向性として、表１に示す４つの選択肢が考えられる。それぞれについて、メリット、デメリット及び年間寄付金額の試算をした上で、自動車ユーザーの選択肢の増加・維持（ユーザー目線）、制度の持続性の確保（供給者目線）、寄付金収入の増加（地域目線）の３つを並立する方向を模索した。

なお、年間寄付金額の試算にあたっては

・ 寄付金額を 1,000 円と仮定し、令和６年度の全国版及び地方版の申込件数並び

にユーザーアンケート結果を用いて算出した概算値であること

・選択肢２において地方版モノトーン図柄を廃止した場合に地方版モノトーン図柄ユーザーのうち引き続きモノトーン図柄をつけたいとする需要については全て新設する全国版モノトーン図柄に移行する前提で算出していること

・今後の地方版のデザイン変更の可能性を考慮していないこと

に留意する。

表１　今後の図柄ナンバープレートとして考えられる選択肢

No	選択肢	選択肢のイメージ
1	・モノトーンを一律廃止 ・フルカラーの全国版を新たに導入	
2	・モノトーンを一律廃止 ・モノトーン基調の全国版を新たに導入	
3	・地方版・全国版ともモノトーンを残し、寄付金を設定	
4	・現行制度のまま継続	

No	メリット	デメリット	年間寄付金額の試算	
1	○新たな全国版フルカラーの選択肢が増える。 ○モノトーンユーザーの多く（アンケートによると７割）が寄付金ありのフルカラーを選択することが想定され、寄付金が増加する見込み。 ○供給サイドの負担を大幅軽減。	○一定ニーズのあるモノトーンを選択できなくなる。	地方版	約1.7億円（＋約0.8億円）
			全国版	約3.2億円（＋約2.1億円）プラスα
			合計	約4.9億円（＋約2.9億円）プラスα
2	○新たなモノトーンの選択肢が増える。 ○モノトーンユーザーの多く(アンケート調査によると９割)が寄付金ありのモノトーン基調の全国版またはフルカラーの図柄を選択することで、寄付金が増加する見込み。 ○供給サイドの負担を一定程度軽減。	○ユーザーは地方版図柄のモノトーンを選択することができない。	地方版	約1.2億円（＋約0.3億円）
			全国版	約4.5億円（＋約3. 4億円）プラスα
			合計	約5.7億円（＋約3.7億円）プラスα
3	○ユーザーは引き続きモノトーンを選択可能。 ○モノトーンユーザーの多く(アンケート調査によると９割)が寄付金ありのフルカラーまたは寄付金ありのモノトーンを選択することが想定され、寄付金が増加する見込み。	○ユーザーはモノトーン選択において、寄付金1,000円以上が必須となる。 ○供給サイドの負担を一切軽減できない。	地方版	約1.9億円（＋約1.0億円）
			全国版	約3.8億円（＋約2.7億円）
			合計	約5.7億円（＋約3.7億円）
4	○ユーザーは引き続きモノトーンを選択可能。	○モノトーンユーザーから寄付金は集まらない。 ○供給サイドの負担を一切軽減できない。	地方版	約0.9億円
			全国版	約1.1億円
			合計	約2.0億円

２．２　図柄ナンバープレート（地方版）の次回導入のあり方について

平成 18 年に開始されたご当地ナンバー制度は、地方自治体による応募に関し、過少のご当地ナンバーを作ることのないよう、地域名[3]として最少の登録台数を根拠に、単独市区町村の登録自動車保有台数として 10 万台以上という台数要件を定めた。この要件は、第 4 弾図柄ナンバープレート（地方版）の応募に当たっても維持されている。なお、その後複数市区町村による導入台数要件や、登録自動車及び軽自動車の合計保有台数による台数要件は追加されている。

一方、平成 16 年 3 月末当時登録台数が少なかった運輸支局及び自動車検査登録事務所の直近の登録台数は、地方の人口減少等の影響により約 1～2 割減少している。

平成16年3月末現在	
支局名等	登録台数
飛騨	7.7万台
庄内	13.5万台
佐世保	14.3万台
北見	18.6万台
筑豊	20.2万台
釧路	20.3万台

約20年間で
約1～2割減少

令和6年3月末現在	
支局名等	登録台数
飛騨	6.4万台
庄内	12.0万台
佐世保	12.8万台
北見	16.1万台
筑豊	18.2万台
釧路	17.6万台

図１　登録台数が少ない運輸支局及び自動車検査登録事務所における登録台数推移

また、現在、政府においては地方創生を推進しており、特にその効果的な広報等により地方創生に繋がる観光産業の活性化を進めることとしている。“走る広告塔”として、地域の魅力を全国に発信すること及びその寄付金を地域振興に活用することを目的とした制度である図柄ナンバープレート（地方版）は、地方創生の観点からも更に活用されることが期待される。

現在、単独市区町村として自治体名が運輸支局等の地域名表示と異なり、かつ、ご当地ナンバーが未導入であり、登録車保有台数が 10 万台以上であるものは 15 自治体、登録車及び軽自動車保有台数が 17 万台以上であるものは 12 自治体存在する。地域の魅力を発信したいという自動車ユーザーに図柄ナンバープレート（地方版）という選択肢を増やすとともに、地方創生の観点から自治体における地域振興への取組を推進することが求められている。一方、今後更に地方部の自動車保有台数の減少が進展することが予想される。

このため、図柄ナンバープレート（地方版）の次回導入にあたり、単独市区町村としての台数要件を登録車保有台数 7 万台、登録車及び軽自動車保有台数 12 万台

[3] ご当地ナンバー導入以前（平成 16 年 3 月末）は、運輸支局及び自動車検査登録事務所の管轄区域毎に地域名が割り振られていた。

程度まで緩和することが適当である。なお、単独市区町村としてご当地ナンバー未導入であり登録車保有台数が７万台以上である自治体として 44 自治体、登録車及び軽自動車保有台数 12 万台以上である自治体として 41 自治体まで、拡大することとなる。また、単独市区町村としての台数要件緩和により図柄ナンバープレート（地方版）の種類が増えるため、制度持続性の確保を考慮し、２．４に後述する既存の図柄ナンバープレートの寄付金なしモノトーン図柄廃止とセットで進めることが適当である。

＜登録自動車＞

現行基準
10万台

自動車保有台数	15万台以上	10万台以上15万台未満	9万台以上10万台未満	8万台以上9万台未満	7万台以上8万台未満	6万台以上7万台未満	5万台以上6万台未満
自治体名が運輸支局等の地域名表示と異なりかつご当地ナンバー未導入の自治体	3	12	5	9	15	15	36
累計	3	15	20	29	44	59	95

令和7年5月7日現在
・全138地域のうち、78地域に図柄導入済。
・全138地域のうち、51地域がご当地ナンバー。
・ご当地ナンバーのうち単独市区は21。

＜登録自動車＋軽自動車＞

現行基準
17万台

自動車保有台数	20万台以上	17万台以上20万台未満	15万台以上17万台未満	13万台以上15万台未満	12万台以上13万台未満	11万台以上12万台未満	10万台以上11万台未満	9万台以上10万台未満
自治体名が運輸支局等の地域名表示と異なりかつご当地ナンバー未導入の自治体	5	7	6	15	8	10	11	9
累計	5	12	18	33	41	51	62	71

図２　自動車保有台数別の自治体数（ご当地ナンバー未導入の自治体数のみ）

さらに、制度持続性の確保の観点からは、導入地域の自動車保有台数の多寡は一つの目安にはなるものの、保有台数だけでなく導入地域のユーザーにどれだけ図柄ナンバープレートが選択されるかが重要である。直近に導入された図柄ナンバープレート（地方版）のデザイン提案にあたってはデザイナーも活用し、意向調査を通して地域の人に好まれるデザインを市民とともに追求する自治体が増えている。

このため、次回の図柄ナンバープレート（地方版）導入要綱において

- 寄付金の使途を含めて地域に理解される図柄ナンバープレート（地方版）が提案されるよう、提案する自治体が地方創生の観点から図柄ナンバープレート（地方版）を活用した前向きな取組を計画していること
- デザイン提案への過程において、デザイナーも活用すること

等が規定されることが望ましい。なお、デザインについて、モノトーンを基調としたものを提案することも可能である。

２．３　図柄ナンバープレート（全国版）について

既存の図柄ナンバープレート（全国版）は、令和４年４月から令和９年４月まで交付されることとしている。交付開始直後は月 2～3 万件の申込であったが、令和５年以降は月３万件以上の申込があり、堅調に増加している。令和９年以降も堅調なニーズが見込まれることから、図柄ナンバープレート（全国版）を令和９年５月以降も既存のデザインのまま継続することが適当である。

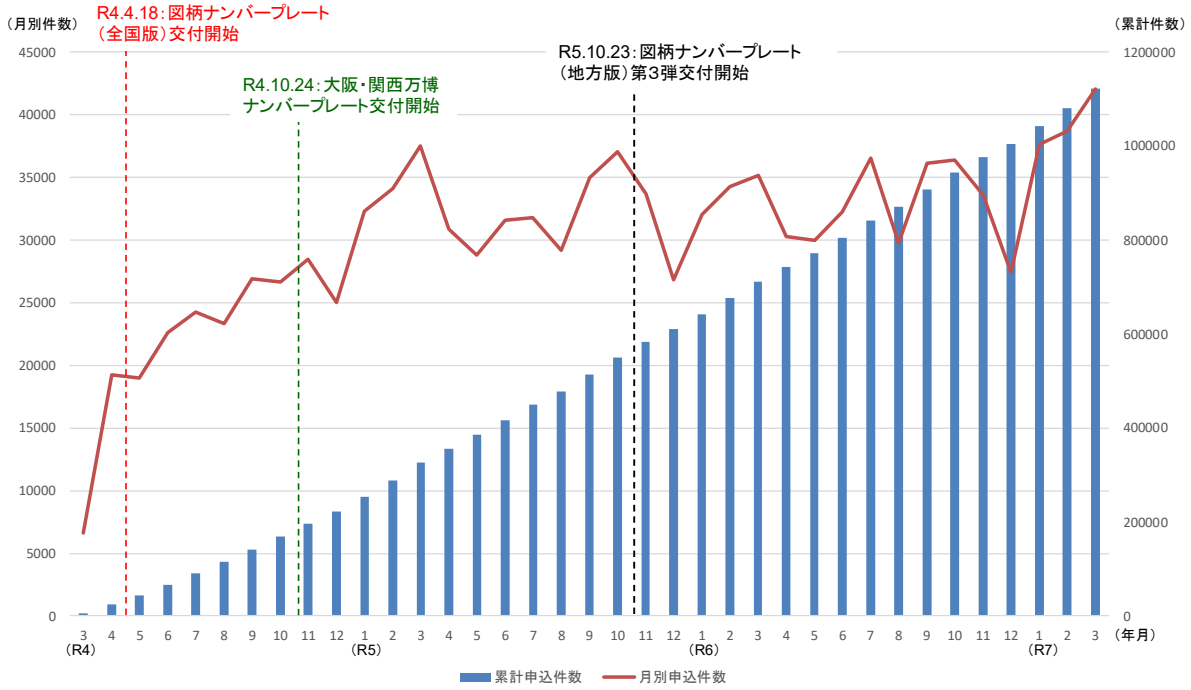


図３　図柄ナンバープレート（全国版）の月間申込件数推移と累積件数

特別仕様ナンバープレートは時限的に全国で交付されるものの、イベント開催地を中心に交付される傾向にある一方、図柄ナンバープレート（全国版）は地域性に偏りがない。図柄ナンバープレート（全国版）を２種類として選択肢を増加させることにより自動車ユーザーのニーズに応えることは重要であり、図柄ナンバープレート（全国版）の普及率上昇にも寄与すると考えられる。

また、自動車ユーザーへのアンケート結果からは、

- 自動車のデザインに合わせる等の理由によりフルカラー図柄よりモノトーン図柄を好む自動車ユーザーが一定数存在すること
- 寄付金があることにより図柄ナンバープレートを選択しないとする自動車ユーザーはごくわずかであること
- 図柄のデザインが良くないことを理由として、現在図柄ナンバープレートを付けていない自動車ユーザーも一定数存在すること

が判明している[4]。

[4] 今後車の買い換えなどでモノトーン図柄のナンバープレートを付けたいと思うと回答した自動車ユーザーに対

現在の図柄ナンバープレートはフルカラー図柄をベースにデザインされており、モノトーンに特化したデザインは皆無である。モノトーンを基調としてデザインした図柄ナンバープレートを新たに選択肢として用意することで、モノトーン図柄を好む自動車ユーザーに加え、デザインが良くないと考えている自動車ユーザーの新たなニーズを掘り起こす可能性もある。

このため、新たな図柄ナンバープレート（全国版）としてモノトーンを基調としたデザインかつ寄付金付きのものを創設することが適当である。

今後の進め方として、現行の図柄ナンバープレート（全国版）を創設した際と同様に、新たな図柄ナンバープレート（全国版）のテーマを定めた上で、モノトーン基調のデザイン案の募集要綱を定め、選定を進めていくことが望ましい。

２．４　既存の図柄ナンバープレートについて

２．２に前述した台数要件緩和により、図柄ナンバープレート（地方版）の種類が増えることが期待される一方、標板交付代行者にとっては種類が増えることは負担となり、制度の持続可能性に影響を及ぼすこととなる。一方、自動車ユーザーへのアンケート結果からは、9 割以上の自動車ユーザーはフルカラー図柄ナンバープレートのみの提供であっても困らないことが判明している[5]。

このため、制度持続性の確保も考慮し、モノトーンを基調とした新たな図柄ナンバープレート（全国版）を創設する時期に合わせて、現在の図柄ナンバープレート（全国版及び地方版）のうち寄付金なしモノトーン図柄を廃止することが適当である。また、次回導入する図柄ナンバープレート（地方版）については、寄付金付きフルカラー図柄のみとすることが適当である。

また、既存の図柄ナンバープレート（地方版）について、一部にはデザインについて見直したいとの自治体の意見があるほか、現状でフルカラー図柄よりもモノトーン図柄の方が好まれるデザインのものもある。

このため、寄付金なしモノトーン図柄を廃止する時期に合わせて、

・デザインを変更可能とすること

し、フルカラー図柄、モノトーン図柄の寄付金が 1,000 円だった場合にどのナンバープレートを付けたいと思うか尋ねたところ、61%がモノトーン図柄を選択した。

また、今後車の買い換えなどでモノトーン図柄のナンバープレートを付けたいと思うと回答した自動車ユーザーに対し、図柄ナンバープレートとしてフルカラー図柄しかない場合、今後フルカラー図柄を付けたいと思うか尋ねたところ、33%が付けようと思わないと回答した。回答者にその理由を尋ねたところ、39%は「派手すぎるから」と回答した。

さらに、今後車の買い換えなどでモノトーン図柄のナンバープレートを付けたいと思うと回答した自動車ユーザーに対し、フルカラー図柄、モノトーン図柄の寄付金が 1,000 円だった場合にどのナンバープレートを付けたいと思うか尋ねたところ、61%がモノトーン図柄、30%がフルカラー図柄を選択した。

一方、現在図柄ナンバープレートを自家用車に付けていない自動車ユーザーに対し今後図柄ナンバープレートを付けたいか尋ねたところ、90%は付けたいと思わないと回答し、その理由として 15%は「デザインが良くないから」と回答した。

[5] 現在図柄ナンバープレートを自家用車に付けている自動車ユーザーのうち、93%はフルカラー図柄しかない場合でも困らないと回答し、モノトーン図柄を付けている軽自動車ユーザーのうち、その理由を尋ねたところ、47%は「元のナンバープレートの色が好きではない」を選択した。

・寄付金付きフルカラー図柄をモノトーン基調に見直すことも可能とすること
・デザイン見直しの過程において、デザイナーも活用すること

について、手続きを定めることが望ましい。この見直しや図柄ナンバープレート（地方版）を活用した前向きな取組を講じることにより、各自治体における図柄ナンバープレート（地方版）による寄付金が増加することも期待される。

導入要綱において、既存の図柄ナンバープレート（地方版）の更新判断は令和 9 年度中に行い、交付期間の満了及び更新後の図柄の交付開始は令和 10 年度とされている。

このため、モノトーン図柄が廃止される前提の下、令和 9 年度に更新判断を行い、令和 10 年度からフルカラー図柄のみを交付することが適当である。

２．５　寄付金の使途について

自動車ユーザーへのアンケートにおいて、図柄ナンバープレートの寄付金の目的を尋ねたところ、現在、図柄ナンバープレート（地方版）の使途として例示している「交通政策」、「交通安全及び被害者支援」に次いで、「災害復旧・復興支援」が選択された。第 1 弾で導入された熊本、福山の各地域では、自然災害からの復興のシンボルとして図柄ナンバープレートが取り上げられ、両地域の図柄ナンバープレートの普及率は他地域に比べ高くなっている。また、第 3 弾で導入された沖縄は、首里城復興への機運醸成を目的としており、沖縄の図柄ナンバープレートの普及率も他地域に比べ高くなっている。

このため、次回の図柄ナンバープレート（地方版）導入要綱において、寄付金の使途として、「災害復旧・復興支援」を追加することが適当である。

２．６　今後のスケジュール

２．６．１　図柄ナンバープレート（地方版）

今後、国土交通省は、地方自治体による意向や要望を踏まえた上で、図柄や寄付金を活用した事業の提案等を行うための必要書類等を記載した要綱の改定や導入を希望する地方自治体への正式な募集等、以下のスケジュールで検討を進める。要綱の改定については、引き続き本検討会でも検討することとする。

令和 7 年度夏～秋	地方自治体に対する導入希望調査
令和 7 年度中	導入要綱改定の検討
令和 8 年度前半	導入要綱改定、募集開始

導入希望の地方自治体の対応スケジュールは以下を想定している。

・図柄のみを導入する場合

令和 8 年度中	地方自治体における導入申込の検討及び図柄の選定
令和 8 年度後半	地方自治体による導入申込、図柄提案
（令和 9 年度後半	図柄の決定、交付開始）

・ご当地名及び図柄を導入する場合

令和８年度中	ご当地名提案に係る地方自治体における合意形成
令和９年度前半	地方自治体による導入申込
令和８～９年度	地方自治体における図柄の選定
令和９年度後半	地方自治体による図柄提案
（令和 11 年度前半	図柄の決定、交付開始）

２．６．２　図柄ナンバープレート（全国版）

今後、新たな図柄ナンバープレート（全国版）のテーマの検討、モノトーン基調のデザイン案の募集要綱の整備、公募及び選定について、以下のスケジュールで検討を進める。なお、新たな図柄ナンバープレート（全国版）の交付開始時期は、全てのモノトーン図柄がフルカラー図柄に一本化される既存の図柄ナンバープレート（地方版）の見直し実施時期と合わせることに留意する。

令和８年度	テーマ及びデザイン案募集要綱の検討
令和８年度冬	デザイン案募集開始
令和９年度	最終候補まで選考（５作品程度）
令和９～10 年度	デザインへの国民意見募集、採用デザイン発表
令和 10 年度中	図柄の決定、交付開始

３．今後の図柄ナンバープレート等に係る検討課題

３．１　図柄ナンバープレート（ふるさと版）（仮称）の創設

図柄ナンバープレート（地方版）は、“走る広告塔”として、地域の魅力を全国に発信することを目的とした制度であるが、表示地域名に使用の本拠を置く車両のみを対象として当該図柄ナンバープレート（地方版）を交付可能となっている。

一方、地方創生の観点では、ふるさと納税のようにある地域の振興に賛同する者が、当該地域の図柄ナンバープレートの取得を通じて当該地域に寄付金を納めた上で、“走る広告塔”として当該地域の魅力を発信することも効果的と考えられる。

このため、他地域の図柄ナンバープレート（地方版）の交付を可能とする新たなスキーム「図柄ナンバープレート（ふるさと版）（仮称）」について検討することが望まれる。

検討にあたり、図柄ナンバープレート（ふるさと版）の持続的な定着を図ることが重要となることから、以下の課題解決に向けて検討する必要がある。

・自動車ユーザーの地域の標板交付代行者又は当該図柄ナンバープレートの標板交付代行者が交付するのか
・通常のナンバープレートに比べ申込から交付までの日数をどれだけ長く設定するのか
・特に交付件数が少ない場合には標板交付代行者の負担が増えることから、図柄ナンバープレート（ふるさと版）の交付を受ける自動車ユーザー又は当該制度

に参加する自治体に対して費用負担を求めるのか　等

今後、本検討会において、自治体による意見等も聴取しつつ、これらの課題を整理した上で、令和 7 年度内目途に図柄ナンバープレート（ふるさと版）（仮称）の今後の方向性について結論を得ることを目指す。さらに、これらの課題が解決できるとの結論が得られた場合、ご当地名及び図柄ナンバープレート（地方版）の次回の導入時期である令和 11 年度以降に、当該制度の導入を目指すことが望ましい。

３．２　人気がある希望番号の新たな取得方法について

国土交通省においては、ナンバープレートの一連指定番号の 4 桁の数字を自動車ユーザーの希望に応じて選択することができる「希望番号制」を平成 10 年に導入している。このうち、「1」「777」「8888」といった人気がある番号については、希望に応じて発出すると当該番号が枯渇する恐れがあることから、抽選により決定している。抽選番号については、同一地域名内で 1 週間に 4 者が当選するように設定しているため、特に人気がある番号については、自動車ユーザーは当選するまで長い間待つケースもある。なお、抽選は無料である。

諸外国において、希望番号の取得にあたり、我が国と同じ無料の抽選の他、有料の抽選、入札、オークションを採用している国・地域も存在する。有料の抽選、入札、オークションによる収益については、寄付金に充てられる、又はその国や地域が抱える社会課題の解消のための資金として活用される国・地域も存在する。

このため、本検討会において、諸外国の事例や他の抽選制度を参考としつつ、人気がある番号の倍率を低減する方法について検討を進め、令和 7 年度内目途に結論を得ることを目指す。なお、検討にあたっては、抽選番号を希望する者に対し一定額以上の寄付金を求める方法に限らず、抽選番号のナンバーの払出し枚数を増やす等の方策も幅広に検討することとする。

図柄入りナンバープレート等に関する検討会

委員名簿

（敬称略、５０音順）

【委　員】

石田　勝利	軽自動車検査協会　理事（第５回から）
石田　東生	筑波大学　名誉教授
今田　滋彦	軽自動車検査協会　理事（第４回まで）
岡安　雅幸	（一社）全国自動車標板協議会　専務理事
北嶋　緒里恵	（株）リクルート じゃらんリサーチセンター 客員研究員
竹岡　圭	日本自動車ジャーナリスト協会　副会長
寺井　剛敏	金沢美術工芸大学　副学長
吉田　樹	福島大学　経済経営学類　教授

【国土交通省】

鶴田　浩久	物流・自動車局長
久保田　秀暢	物流・自動車局次長
谷合　隆	物流・自動車局自動車情報課長
髙井　誠治	物流・自動車局自動車情報課自動車登録デジタル化推進室長

図柄入りナンバープレート等に関する検討会
開催経緯

第 1 回検討会（令和 6 年 7 月 16 日）

〇図柄入りナンバープレート等に関する検討会設置要領（案）について
〇図柄入りナンバープレート等の現状について
〇当面の進め方（案）について

第 2 回検討会（令和 6 年 9 月 30 日）

〇第１回検討会での指摘事項等について
〇全国版図柄入りナンバープレートの今後の方向性について
〇モノトーン版の取扱いについて
〇諸外国のナンバープレートに係る制度について
〇今後のスケジュール案について

第 3 回検討会（令和 7 年 2 月 14 日）

〇第２回検討会での指摘事項について
〇自動車ユーザーへのアンケート調査について
〇新たな希望番号取得者決定方法の導入について
〇当面の進め方（案）について

第 4 回検討会（令和 7 年 3 月 28 日）

〇自動車ユーザーに対するアンケート調査結果の報告等
〇地方版図柄入りナンバープレートに係る要望について
〇当面の進め方（案）について

第 5 回検討会（令和 7 年 5 月 12 日）

〇自動車ユーザーに対するアンケート調査結果（追加分）の報告
〇全国版図柄入りナンバープレート及びモノトーン版の取扱いについて
〇地方版図柄入りナンバープレートの次回導入のあり方 について
〇希望番号取得者の新たな決定方法の方向性について
〇中間取りまとめ概要（案）について

第 6 回検討会（令和 7 年 6 月 17 日）

〇図柄ナンバープレート（地方版）の寄付金の使途について
〇中間取りまとめ（案）について

中間取りまとめ　参考資料

１．図柄ナンバープレート等の現状

これまでの図柄ナンバープレート等の交付について

国土交通省

（これまでの経緯）

○国土交通省では、“走る広告塔”としてのナンバープレートの機能に着目し、図柄ナンバープレートを導入。

○最初に平成29年より、ラグビーワールドカップ、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の特別仕様ナンバープレートを交付し、開催機運を醸成。

○これらに続いて、全国で交付する新たな図柄ナンバープレートとして、令和４年より、全国47都道府県の花をモチーフとした図柄ナンバープレート（全国版）を交付。

○また、地域振興・観光振興に貢献すべく、平成30年より、地域の魅力ある風景や観光資源を図柄にした図柄ナンバープレート（地方版）の交付を開始。令和５年10月に交付を開始した第３弾からは都道府県単位の図柄の導入も可能とするなど、導入要件については、順次、見直しを実施。現在、全国73地域において交付。
これに加えて、令和７年５月に新たに５地域において交付を開始。

○さらに令和４年より、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）の特別仕様ナンバープレートを交付し、開催機運を醸成。

○令和７年7月より、 横浜市で開催される2027年国際園芸博覧会（GREEN×EXPO 2027）の特別仕様ナンバープレートの交付も予定。

図柄ナンバープレートについて

国土交通省

○ 国土交通省では、“走る広告塔”としてのナンバープレートの機能に着目し、平成29年に図柄ナンバープレートの導入を開始。
○ ラグビーW杯、東京2020オリパラ開催に向けた機運醸成に活用した後、地域振興・観光振興に貢献すべく、平成30年より、地域の魅力ある風景や観光資源を図柄にした図柄ナンバープレート（地方版）の交付を開始。

	交付地域の単位	図柄	交付時期	交付手数料（登録車 中板2枚）※1	申込件数 ※2	寄付金の使途
ラグビーワールドカップ特別仕様ナンバープレート	全国		平成29年4月3日～令和2年1月31日 ※交付終了	7,080円～9,200円 （＋ 1,000円以上の寄付）	約292,000件 （うち寄付あり 約77,000件）	会場までの輸送力の増強等
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会特別仕様ナンバープレート	全国		平成29年10月10日～令和3年11月30日 ※交付終了	7,300円～9,500円 （＋ 1,000円以上の寄付）	約2,894,000件 （うち寄付あり 約281,000件）	ノンステップバス、UDタクシーの整備等
図柄ナンバープレート（地方版）	ナンバーの地域名 又は 都道府県		【第1弾：40地域】平成30年10月1日～ 【第2弾：17地域】令和2年5月11日～ 【第3弾：5都県・5地域】令和5年10月23日～ 【第4弾：5地域】令和7年5月7日～	8,500円～11,260円 （＋ 1,000円以上の寄付）	【第1弾】約606,000件 【第2弾】約112,000件 【第3弾】約96,000件 【第4弾】約1,500件	対象地域の地域交通のサービス改善、観光振興等
図柄ナンバープレート（全国版）	全国		令和4年4月18日～令和9年4月30日	8,500円～11,800円 （＋ 1,000円以上の寄付）	約1,157,000件	交通サービスの改善・観光振興等の道路交通環境向上に向けた取組（予定）
大阪・関西万博特別仕様ナンバープレート	全国		令和4年10月24日～令和7年12月26日	8,500円～11,800円 （＋ 1,000円以上の寄付）	約166,000件	大阪・関西万博の開催に関連した交通サービスの充実等（予定）
GREEN×EXPO 2027特別仕様ナンバープレート	全国		令和7年7月14日～令和9年11月30日	8,780円～11,800円 （＋ 1,000円以上の寄付）	令和7年6月9日より事前申込み開始 令和7年7月14日より交付開始	GREEN×EXPO 2027 の開催に関連した交通サービスの充実等（予定）

※1交付手数料は令和7年6月1日時点　※2申込件数は令和7年4月末時点

図柄ナンバープレートの種類（例：図柄ナンバープレート（全国版））

国土交通省

対象車種		登録自動車（自家用）	登録自動車（事業用）	軽自動車（自家用）
通常のナンバープレート				
図柄ナンバープレート	寄付金あり			
	寄付金なし			

希望ナンバー、ご当地ナンバー、図柄ナンバープレートの導入経緯

国土交通省

平成10年5月	一部の運輸支局等（26支局等）で希望ナンバーの導入
平成11年5月	全運輸支局等（92支局等）で希望ナンバーの導入
平成18年10月	第1弾ご当地ナンバー（19地域）の導入　※「富士山」ナンバーは、平成20年11月に交付開始
平成26年11月	第2弾ご当地ナンバー（10地域）の導入
平成29年4月	ラグビーワールドカップ特別仕様ナンバープレートの導入　※交付期間：令和2年1月31日まで
平成29年10月	東京2020オリンピック・パラリンピック特別仕様ナンバープレートの導入　※交付期間：令和3年11月30日まで
平成30年10月	図柄ナンバープレート（地方版）第1弾（40地域）の導入
令和2年5月	図柄ナンバープレート（地方版）第2弾・ご当地ナンバー第3弾（17地域）の導入
令和4年4月	図柄ナンバープレート（全国版）（花柄）の導入　※交付期間：令和9年4月30日まで
令和4年10月	大阪・関西万博特別仕様ナンバープレートの導入　※交付期間：令和7年12月26日まで
令和5年10月	図柄ナンバープレート（地方版）第3弾（5都県・5地域）の導入
令和7年5月	図柄ナンバープレート（地方版）第4弾・ご当地ナンバー第4弾（5地域）の導入
令和7年7月	国際園芸博特別仕様ナンバープレートの導入　※交付期間：令和9年11月30日まで

希望ナンバー
一連番号について、所有者が希望する番号とすることができるもの

ご当地ナンバー
地域の要望に応じて追加的に新たな地域名を定めたもの

図柄ナンバープレート
背景にデザインを施したナンバープレート

図柄ナンバープレート（全国版）の概要

国土交通省

○「新たな図柄ナンバープレート（全国版）」は、ラグビーワールドカップ特別仕様ナンバープレートや東京2020オリンピック・パラリンピック特別仕様ナンバープレートに続く図柄ナンバープレート（全国版）。

○ 交付期間：令和４年4月18日～令和9年4月30 日。

採用デザイン

タイトル： はなれていても「思い、みな一つに」（制作者より）

＜自家用登録車＞

＜事業用登録車＞

＜自家用軽自動車＞

＜自家用登録車(寄付金なし)＞

デザインコンセプト

日本全国４７都道府県の県花をモチーフに、日本の美しさを表現。植物は円環の象徴であり、枯れても再び綺麗な花を咲かせる。「日本を元気に」というコンセプトをもとに、それを植物の成長と捉えてデザインした。また、全国すべての県花を用いることで、「日本全体で立ち上がろう」という思いを込めた。（制作者より）

■ 寄付金の使途

道路交通環境向上等の取組に充てられる予定
（あらゆる人の移動円滑化、交通事故の削減、観光振興、環境負荷の軽減等）

現在の図柄ナンバープレート（全国版）のデザイン選定の経緯

国土交通省

令和4年
2月1日
～3月30日

デザイン公募

～4月26日

（公社）自動車技術会デザイン部門委員会による1次審査
（145作品　⇒　12作品）

5月28日

「新たな図柄入りナンバープレート検討会」委員による2次審査
（12作品　⇒　5作品）

6月1日
～6月14日

候補作品国民意見募集

6月29日

「新たな図柄入りナンバープレートの導入に関する検討会」委員による最終審査
（5作品　⇒　採用1作品）

○「新たな図柄入りナンバープレートの導入に関する検討会」委員
・石田　東生　筑波大学　名誉教授
・北嶋　緒里恵　（株）リクルート
　じゃらんリサーチセンター　主席研究員
・竹岡　圭　日本自動車ジャーナリスト協会　副会長
・寺井　剛敏　金沢美術工芸大学　教授
・吉田　樹　福島大学経済経営学類　准教授
・西田　寛　軽自動車検査協会　理事
・岡安　雅幸　（一社）全国自動車標板協議会　専務理事

図柄ナンバープレート（全国版）の広報について

国土交通省

図柄ナンバープレート（全国版）の交付に際しては、ディーラー、整備工場等の関係団体に広報ツールを配布し、普及促進活動にご協力いただいている。
また、国土交通省ホームページ上に特設ページを設け、各種広報ツールのデータを公開することで、一般の自動車ユーザーによる情報へのアクセシビリティの向上を図っている。

＜広報ツール＞

ポスター

チラシ

ペーパークラフト

特設ページ
（国土交通省ホームページ）

※特設ページ上から電子チラシ等の広報ツールがダウンロード可能

大阪・関西万博特別仕様ナンバープレートの概要

国土交通省

概　要

- 全国的な機運の醸成、意識の高揚を図る観点から、大阪・関西万博特別仕様のデザインを施した自動車のナンバープレートを期間限定（2025年までの間）で、全国の希望者に交付する。
- 交付に合わせて寄付金を募集し、その収入を万博の開催に関連した交通サービスの充実等に充てる。

経　緯

- 「2025年に開催される国際博覧会（大阪・関西万博）の準備及び運営に関する施策の推進を図るための基本方針について」（令和2年12月21日閣議決定）において、開催に向けた政府の取組と位置づけられた。
- 令和４年６月10日、中山国土交通副大臣、若宮国際博覧会担当大臣及び（公社）2025年日本国際博覧会協会石毛事務総長から具体的なデザイン及び交付時期等を発表。

デザイン

自家用登録自動車

軽自動車（自家用）

事業用登録自動車

自家用登録自動車（寄付金なし）

交付スケジュール

- 事前申込受付開始：令和4年9月26日（月）
- 交付期間：令和４年10月24日（月）～ 令和７年12月26日（金）
  （万博開催期間：令和７年4月13日（日）～ 令和７年10月13日（月））

GREEN×EXPO 2027（2027年国際園芸博覧会）特別仕様ナンバープレート

国土交通省

概 要

- 全国的な機運の醸成、意識の高揚を図る観点から、GREEN×EXPO 2027特別仕様のデザインを施した自動車のナンバープレートを期間限定（令和９年11月末までの間）で、全国の希望者に交付する。
- 交付に併せて寄付金を募集し、その収入をGREEN×EXPO 2027の開催に関連した交通サービスの充実等に充てる。

経 緯

- 「2027年国際園芸博覧会（GREEN×EXPO 2027）の準備及び運営に関する施策の推進を図るための基本方針」（令和5年8月31日関係閣僚会議決定）において、開催に向けた政府の取組と位置づけられた。
- 令和７年５月３日、高橋国土交通副大臣、 2027年国際園芸博覧会協会河村事務総長及び山中横浜市長から具体的なデザイン及び交付時期等を発表

デザイン

自家用登録自動車

軽自動車（自家用）

事業用登録自動車

自家用登録自動車（寄付なし）

- ２０２７年国際園芸博覧会の公式ロゴマークの花びらが、風に吹かれ舞う様子をデザイン。
- 花びらの一つひとつは、博覧会を通じて生まれる人々の多様な幸せを表現。

交付スケジュール

- 申込開始：令和７年６月９日（月）
- 交付期間：令和７年７月14日（月）～ 令和９年11月30日（火）
  （GREEN×EXPO 2027開催期間：令和９年３月19日（金）～ 令和９年９月26日（日））

ご当地ナンバーの概要

国土交通省

○　ナンバープレートの地域名については、自動車登録規則により、自動車の使用の本拠の位置を管轄する運輸支局または自動車検査登録事務所の名称等を表示している。
○　新たな地域名表示のナンバー（いわゆる、「ご当地ナンバー」）については、地域振興や観光振興の観点から、自動車検査登録事務所等の新設によらず、地域に根ざした地域名表示を可能としたもの。（合計５１地域）
○　現在は、新たな地域名表示のナンバーを導入する場合、その地域において、当該地域名表示を単位とする図柄ナンバープレート（地方版）をあわせて導入することとしている。

導入地域

第１弾：平成 18年 10月　19地域（仙台・つくば・富士山・豊田・倉敷 等）
第２弾：平成 26年 11月　10地域（平泉・越谷・杉並・世田谷・春日井 等）
第３弾：令和　２年　５月　17地域（弘前・松戸・江東・四日市・飛鳥 等）
第４弾：令和　７年　５月　５地域（十勝・日光・江戸川・南信州・安曇野）

対象地域の基準とその基本的考え方

■**地域特性や経済圏等に関して、一定のまとまりのある地域であり、広く認知されている地域**
⇨　地域のまとまりに着目し、地域振興や観光振興に活用するため

■**原則として登録自動車10万台以上（※）である地域**
⇨　引っ越し等におけるユーザーの変更手続き負担や行政管理コスト等の増大を防ぐ観点から一定の規模（最小の登録事務所の規模を下回らない）が必要と考えられるため　※例外あり

■**都道府県内の他の地域と比較し、人口、登録自動車数等に関して、極端なアンバランスを生じない地域**
⇨　登録等の行政事務の効率やナンバーの安定供給のため

導入手続き概要

市町村がアンケート等により、地域住民や自動車ユーザー等の意向を確認した上で、都道府県に要望

↓

都道府県が地域基準や手続きに適合しているか判断し、妥当な場合には国土交通省へ要望

↓

国土交通省において、関係機関、関係団体等と調整を行なった上で審査を行い、導入地域を決定

その他　新たな地域名表示のナンバーは、新地域内の全ての自動車に適用し、順次、新規登録、移転登録等の際に新たな地域名のナンバーを付与

ご当地ナンバー導入の台数要件（図柄ナンバープレート（地方版）第4弾）

国土交通省

ご当地ナンバー対象地域の構成地方公共団体	当該地域での登録自動車の保有台数	当該地域での登録自動車と軽自動車の合計保有台数
単独市区町村	10万台以上	17万台以上
複数市区町村	地域の総台数が概ね5万台以上	地域の総台数が概ね8.5万台以上

年度別・月別等の最新の保有台数

ご当地ナンバーの導入地域一覧

国土交通省

導入地域…51地域
赤字…図柄導入地域（39/51地域）
※地域名単位の図柄

東北運輸局管内

弘前、盛岡、平泉、仙台、
会津、郡山、白河

北海道運輸局管内

苫小牧、知床、十勝

北陸信越運輸局管内

上越、金沢、諏訪、安曇野、
南信州

関東運輸局管内

つくば、日光、那須、高崎、
前橋、川口、越谷、川越、成
田、柏、松戸、市川、船橋、
市原、世田谷、江東、葛飾、
江戸川、杉並、板橋、富士山

近畿運輸局管内

堺、飛鳥

中国運輸局管内

出雲、倉敷、
下関

九州運輸局管内

奄美

四国運輸局管内

高松

中部運輸局管内

伊豆、富士山、岡崎、豊田、
一宮、春日井、鈴鹿、四日市、
伊勢志摩

図柄ナンバープレート（地方版）の概要

国土交通省

地方からの図柄ナンバープレートの導入に関する要望や関心の高さ、諸外国での活用事例等を踏まえつつ、ナンバープレートの更なる多角的な活用を推進するため、各地域の個性を活かした特色ある図柄を描いたナンバー（いわゆる、「地方版図柄」）を交付することとしたもの。（合計７８地域）

導入地域

○ 第１弾：平成 30年 10月　40地域（仙台・つくば・富士山・豊田 等）
○ 第２弾：令和　２年　５月　17地域（弘前・松戸・江東・四日市・飛鳥 等）
○ 第３弾：令和　５年 10月　５都県 及び ５地域（秋田県・東京都・沖縄県・岡崎・広島・堺 等）
○ 第４弾：令和　７年　５月　５地域（十勝・日光・江戸川・南信州・安曇野）

※ 第２弾、第４弾については、ご当地ナンバーと同時に導入。

図柄の基準とその基本的考え方

■**ナンバープレートの地域毎にデザインは１つ**
⇨　導入・製造等にかかるコストを抑え、導入効果を高めるため

■**寄付金あり、寄付金なしの２種類であり、寄付金なしはモノトーン**
⇨　寄付金がユーザーの任意であることから、寄付金なし図柄も必要
⇨　寄付金なしを色彩で区分することにより、視認性確認等の導入コストを抑える

■**地域住民の意向が踏まえられているもの、視認性が確保されているもの等の図柄選定基準を満たすもの**
⇨　地域住民の意向を踏まえ、地域の特色を表現し、地域振興・観光振興に資するため
⇨　ナンバープレートとしての本来の機能を損なわないため

導入手続き概要

地域を構成する全ての市町村が合意した上で、国土交通省に申込み（※）

※都道府県単位の場合（ナンバー地域の単位が都道府県の範囲と一致する場合を含む）は、都道府県に所在する市区町村の過半数以上の同意を得た上で、都道府県が国土交通省に申込み

↓

アンケート、ヒアリング等により地域住民の意向を反映した図柄を国土交通省に提案

↓

国土交通省において、関係団体等と調整を行なった上で審査を行い、導入地域を決定

その他　ユーザーの寄付金は、対象地域の交通改善、地域振興、観光振興等に活用される

図柄ナンバープレート（地方版）の交付地域一覧

国土交通省

78/138地域
73種類

東北運輸局管内

- 弘前599 あ 20-46
- 岩手599 あ 20-46
- 盛岡599 あ 20-46
- 平泉599 あ 20-46
- いわき599 さ 20-46
- 仙台599 あ 20-46
- 白河599 あ 20-46
- 山形599 あ 20-46
- 庄内599 あ 20-46
- 秋田599 さ 20-46 ※秋田県全域

北海道運輸局管内

- 苫小牧599 あ 20-46
- 知床599 あ 20-46
- 十勝599 さ 20-46

北陸信越運輸局管内

- 新潟599 あ 20-46
- 長岡599 あ 20-46
- 上越599 あ 20-46
- 南信州599 さ 20-46
- 富山599 あ 20-46
- 金沢599 あ 20-46
- 石川599 あ 20-46
- 安曇野599 さ 20-46

関東運輸局管内

- 土浦599 あ 20-46
- つくば599 あ 20-46
- 前橋599 あ 20-46
- 越谷599 あ 20-46
- 成田599 あ 20-46
- 柏 599 あ 20-46
- 松戸599 あ 20-46
- 市川599 あ 20-46
- 船橋599 あ 20-46
- 市原599 あ 20-46
- 葛飾599 あ 20-46
- 江東599 あ 20-46
- 板橋599 あ 20-46
- 杉並599 あ 20-46
- 世田谷599 あ 20-46
- 富士山599 あ 20-46
- 那須599 さ 20-46
- 宇都宮599 さ 20-46 ※栃木県全域
- 群馬599 さ 20-46 ※群馬県全域
- 品川599 さ 20-46 ※東京都全域
- 江戸川599 さ 20-46
- 日光599 さ 20-46

中国運輸局管内

- 鳥取599 あ 20-46
- 出雲599 あ 20-46
- 福山599 あ 20-46
- 山口599 あ 20-46
- 下関599 あ 20-46
- 広島599 さ 20-46

近畿運輸局管内

- 滋賀599 あ 20-46
- 京都599 あ 20-46
- 奈良599 あ 20-46
- 飛鳥599 あ 20-46
- 堺 599 さ 20-46

九州運輸局管内

- 長崎599 あ 20-46
- 佐世保599 あ 20-46
- 熊本599 あ 20-46
- 大分599 あ 20-46
- 鹿児島599 あ 20-46
- 宮崎599 あ 20-46

沖縄総合事務局管内

- 沖縄599 さ 20-46 ※沖縄県全域

四国運輸局管内

- 愛媛599 あ 20-46
- 高松599 あ 20-46
- 香川599 あ 20-46
- 高知599 あ 20-46
- 徳島599 あ 20-46

中部運輸局管内

- 富士山599 あ 20-46
- 豊田599 あ 20-46
- 福井599 あ 20-46
- 四日市599 あ 20-46
- 春日井599 あ 20-46
- 岡崎599 さ 20-46
- 伊勢志摩599 あ 20-46

図柄ナンバープレート（全国版）の申込件数

国土交通省

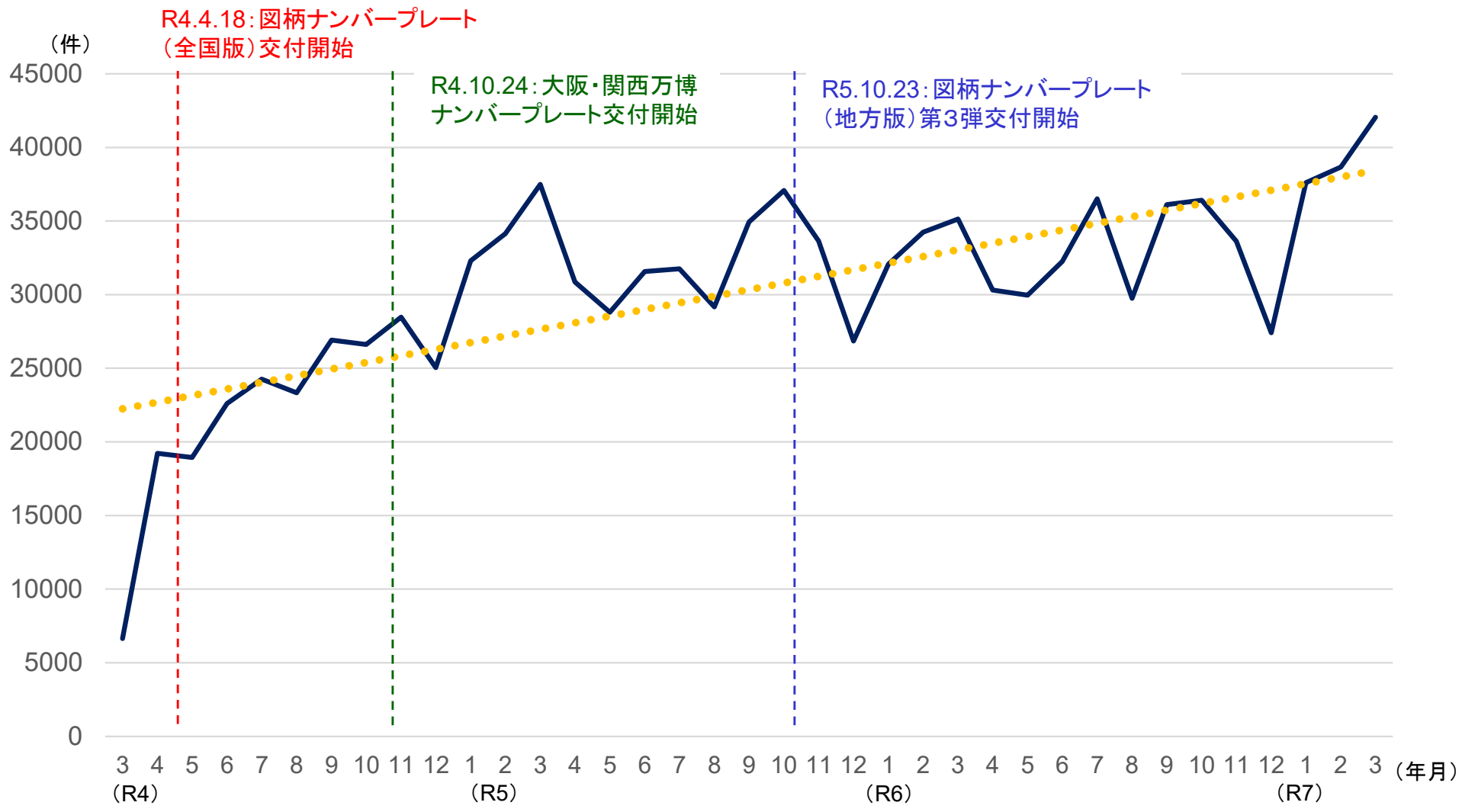
令和7年3月31日時点

車　種		自家用・事業用		寄付あり・なし	
登録車	66,886	自家用	61,928	寄付あり	51,591
				寄付なし	10,337
		事業用	4,958	寄付あり	2,226
				寄付なし	2,732
軽自動車	1,055,842	自家用	1,055,842	寄付あり	320,789
				寄付なし	735,053
合計	1,122,728	自家用	1,117,770	寄付あり	372,380
				寄付なし	745,390
		事業用	4,958	寄付あり	2,226
				寄付なし	2,732

※本件数は、申込件数であり、予約完了（入金完了）の件数でない。

図柄ナンバープレート（全国版）の申込件数の推移

国土交通省



○ 申込開始以降から順調に増加傾向にある。
○ 申込件数の9割以上が軽自動車であり、そのうち6割以上が「寄付なし図柄」のナンバーである。

大阪・関西万博ナンバープレートの申込件数（全国）

国土交通省

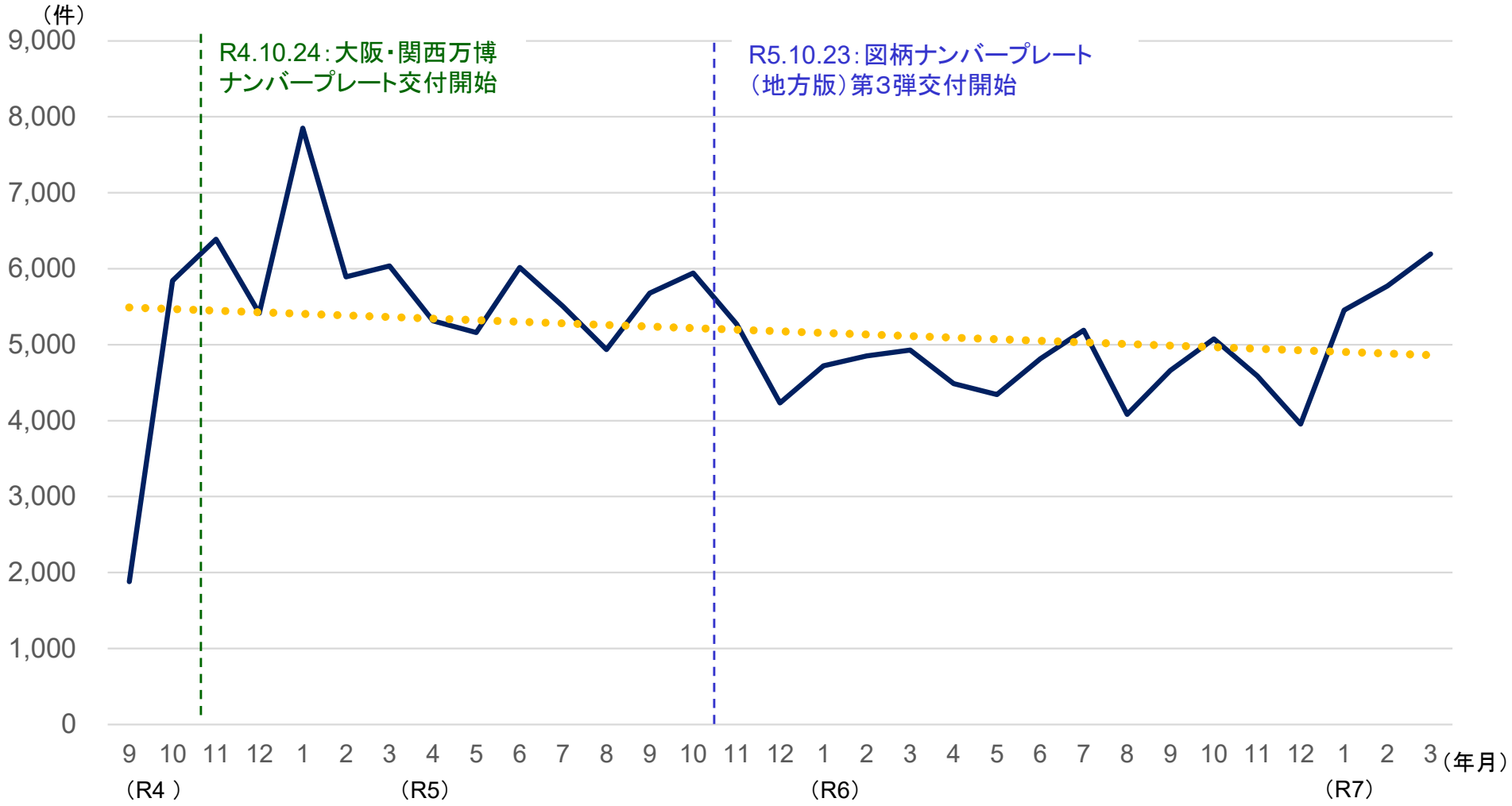
令和7年3月31日時点

車　種		自家用・事業用		寄付あり・なし	
登録車	33,070	自家用	29,633	寄付あり	24,979
				寄付なし	4,654
		事業用	3,437	寄付あり	2,817
				寄付なし	620
軽自動車	127,411	自家用	127,411	寄付あり	55,766
				寄付なし	71,645
合計	160,481	自家用	157,044	寄付あり	80,745
				寄付なし	76,299
		事業用	3,437	寄付あり	2,817
				寄付なし	620

※本件数は、申込件数であり、予約完了（入金完了）の件数でない。

大阪・関西万博ナンバープレートの申込件数の推移（全国）

国土交通省



○ 申込件数は、交付開始当初からほぼ横ばいで推移している。万博開催の令和7年4月が近づくにつれて増加傾向にあることから、今後、さらに増加する可能性もある。
○ 申込件数の約8割が軽自動車である。また、登録車においては「寄付あり図柄」の割合が多い一方で、 軽自動車においては「寄付なし図柄」の割合が多い。

図柄ナンバープレート（地方版）第１弾の申込件数（40地域）

国土交通省

令和７年3月31日時点

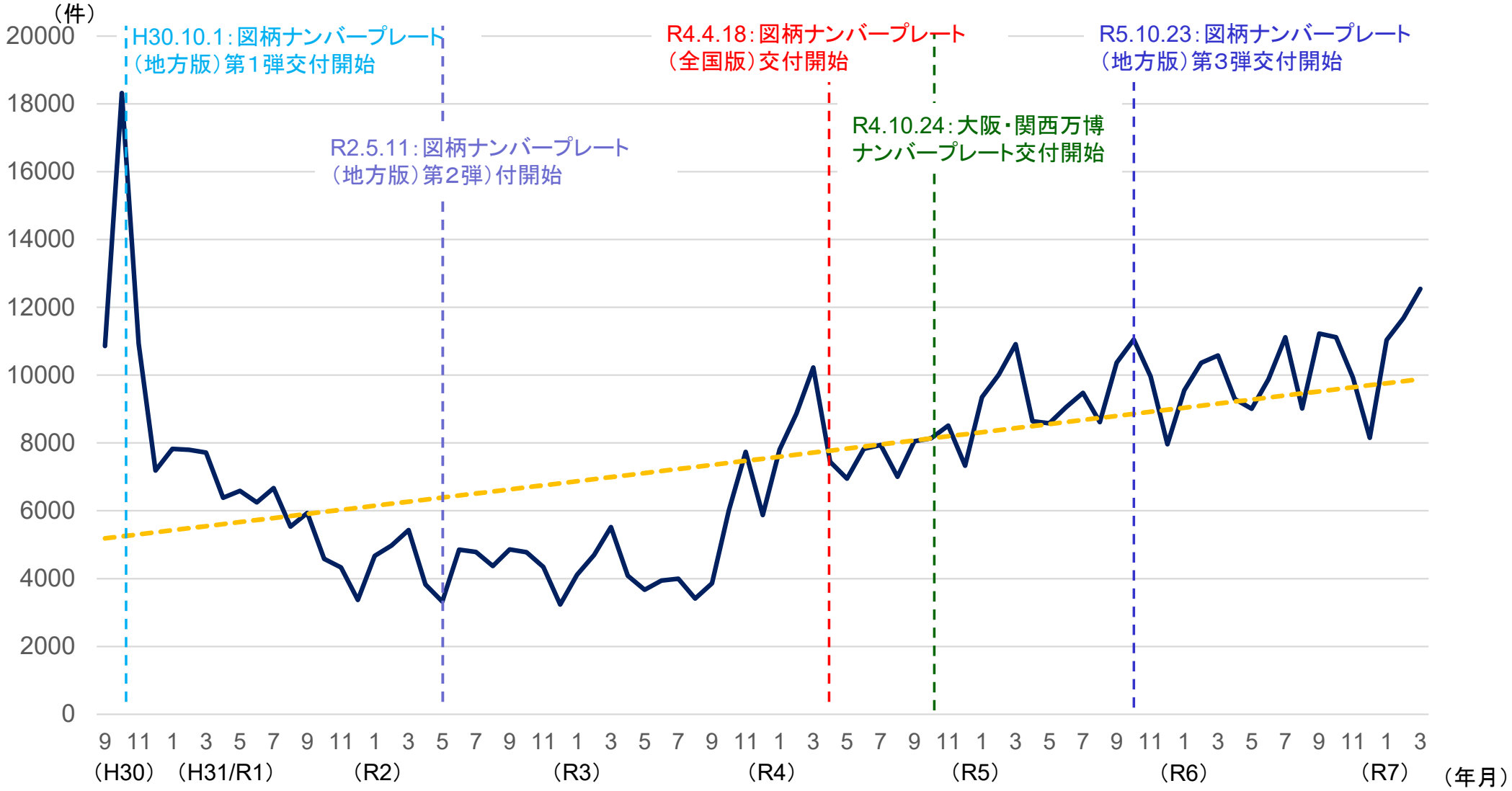
地方運輸局等 順位 / 項目	総合計	東北運輸局						関東運輸局									北陸信越運輸局				
		31	22	36	10	19	40	14	6	29	38	21	18	41	39	26	15	16	13	25	30
		盛岡	岩手	平泉	仙台	山形	庄内	土浦	つくば	前橋	越谷	成田	柏	世田谷	杉並	富士山	新潟	長岡	富山	金沢	石川
登録車	**169,569**	**1,850**	**3,204**	**1,096**	**9,474**	**4,354**	**842**	**4,935**	**9,787**	**1,562**	**793**	**3,409**	**3,381**	**718**	**1,327**	**3,516**	**3,488**	**6,008**	**7,071**	**1,983**	**1,207**
寄付あり	**136,488**	1,588	2,623	761	7,542	4,005	795	4,446	7,451	1,219	745	2,779	3,052	570	1,216	2,132	2,803	5,049	5,165	1,313	891
寄付なし	**33,081**	262	581	335	1,932	349	47	489	2,336	343	48	630	329	148	111	1,384	685	959	1,906	670	316
軽自動車	**425,664**	**3,271**	**7,392**	**1,787**	**11,296**	**7,122**	**1,332**	**13,856**	**18,488**	**4,655**	**1,589**	**7,690**	**8,572**	**1,415**	**894**	**4,032**	**15,127**	**12,595**	**12,104**	**6,010**	**4,992**
寄付あり	**188,334**	1,606	3,881	527	4,585	5,145	1,061	5,819	5,988	1,508	1,023	3,762	4,420	504	653	1,279	3,571	5,765	4,418	1,600	1,175
寄付なし	**237,330**	1,665	3,511	1,260	6,711	1,977	271	8,037	12,500	3,147	566	3,928	4,152	911	241	2,753	11,556	6,830	7,686	4,410	3,817
合計	**595,233**	**5,121**	**10,596**	**2,883**	**20,770**	**11,476**	**2,174**	**18,791**	**28,275**	**6,217**	**2,382**	**11,099**	**11,953**	**2,133**	**2,221**	**7,548**	**18,615**	**18,603**	**19,175**	**7,993**	**6,199**
寄付あり	**324,822**	3,194	6,504	1,288	12,127	9,150	1,856	10,265	13,439	2,727	1,768	6,541	7,472	1,074	1,869	3,411	6,374	10,814	9,583	2,913	2,066
寄付なし	**270,411**	1,927	4,092	1,595	8,643	2,326	318	8,526	14,836	3,490	614	4,558	4,481	1,059	352	4,137	12,241	7,789	9,592	5,080	4,133

地方運輸局等 順位 / 項目	中部運輸局				近畿運輸局			中国運輸局				四国運輸局				九州運輸局					
	11	9	34	37	12	5	3	32	7	35	24	28	23	2	27	17	33	1	8	20	4
	福井	富士山	豊田	春日井	滋賀	京都	奈良	鳥取	福山	下関	山口	徳島	香川	愛媛	高知	長崎	佐世保	熊本	大分	宮崎	鹿児島
登録車	**7,805**	**7,281**	**1,512**	**1,261**	**6,178**	**7,446**	**11,352**	**1,356**	**9,859**	**1,163**	**1,962**	**1,150**	**1,792**	**8,031**	**1,090**	**1,540**	**642**	**14,902**	**4,978**	**2,255**	**6,009**
寄付あり	3,732	4,275	1,106	1,180	5,408	6,243	9,689	1,227	9,244	932	1,673	1,031	1,538	6,784	896	1,244	551	12,979	4,359	2,084	4,168
寄付なし	4,073	3,006	406	81	770	1,203	1,663	129	615	231	289	119	254	1,247	194	296	91	1,923	619	171	1,841
軽自動車	**12,661**	**13,891**	**2,684**	**1,385**	**14,220**	**21,107**	**18,894**	**2,979**	**15,563**	**2,690**	**7,599**	**5,464**	**8,508**	**27,008**	**5,699**	**10,893**	**3,654**	**56,437**	**17,008**	**9,082**	**24,019**
寄付あり	2,821	4,863	842	1,113	7,512	8,242	9,495	1,936	12,804	926	2,714	1,816	3,447	13,495	2,129	2,614	1,160	32,646	7,612	3,652	8,205
寄付なし	9,840	9,028	1,842	272	6,708	12,865	9,399	1,043	2,759	1,764	4,885	3,648	5,061	13,513	3,570	8,279	2,494	23,791	9,396	5,430	15,814
合計	**20,466**	**21,172**	**4,196**	**2,646**	**20,398**	**28,553**	**30,246**	**4,335**	**25,422**	**3,853**	**9,561**	**6,614**	**10,300**	**35,039**	**6,789**	**12,433**	**4,296**	**71,339**	**21,986**	**11,337**	**30,028**
寄付あり	6,553	9,138	1,948	2,293	12,920	14,485	19,184	3,163	22,048	1,858	4,387	2,847	4,985	20,279	3,025	3,858	1,711	45,625	11,971	5,736	12,373
寄付なし	13,913	12,034	2,248	353	7,478	14,068	11,062	1,172	3,374	1,995	5,174	3,767	5,315	14,760	3,764	8,575	2,585	25,714	10,015	5,601	17,655

※本件数は、申込件数であり、予約完了（入金完了）の件数でない。

図柄ナンバープレート（地方版）第１弾の申込件数の推移（40地域）

国土交通省



○ 申込開始直後にピークを迎え、その後は減少したが、令和３年後半から増加傾向にある。
○ 図柄（地域）により申込件数に大きな差が生まれている。
○ 申込件数の約7割が軽自動車である。また、登録車においては8割以上が「寄付あり図柄」である一方で、軽自動車においては「寄付あり図柄」と「寄付なし図柄」はほぼ同数である。

図柄ナンバープレート（地方版）第2弾の申込件数（17地域）

国土交通省

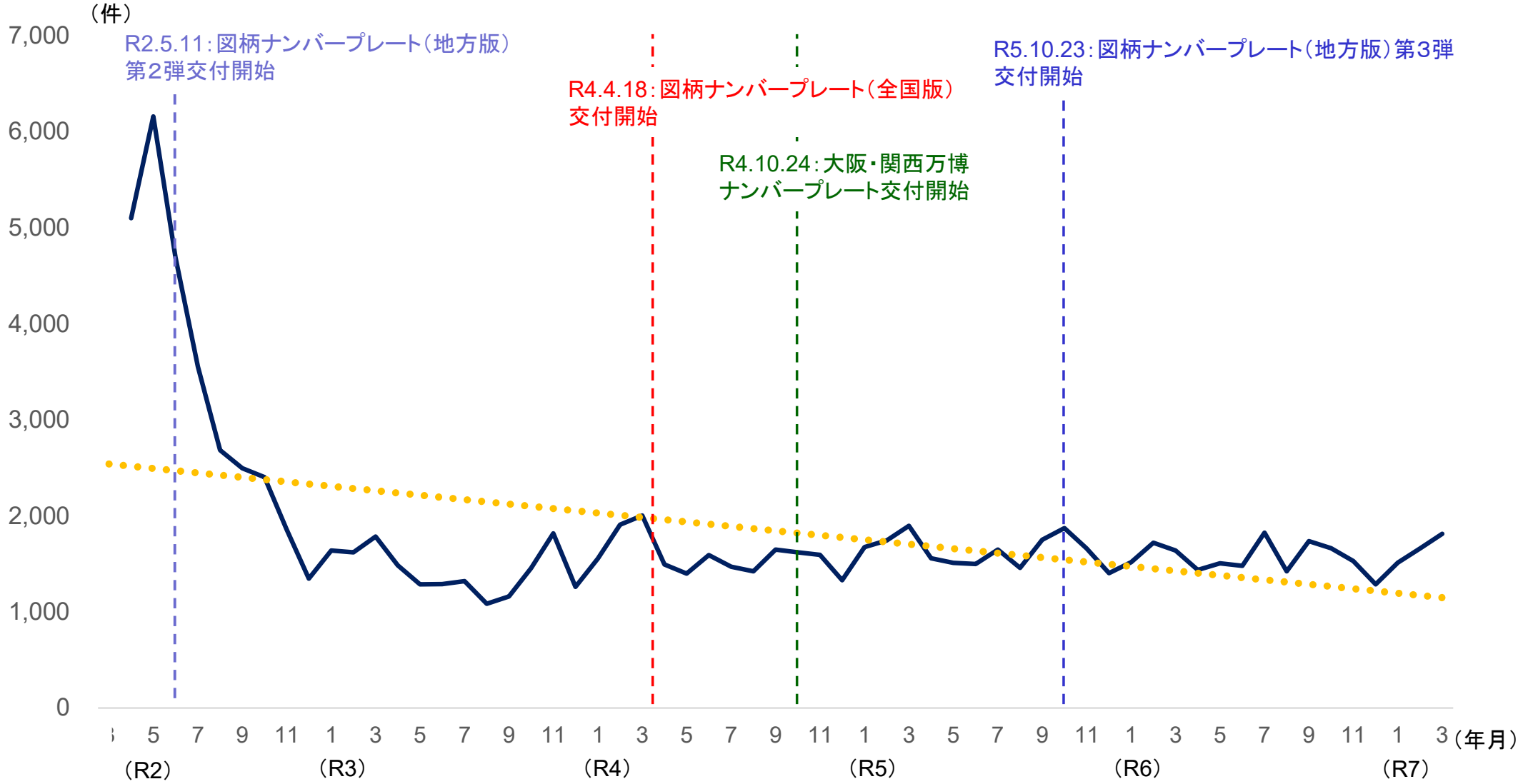
令和７年3月31日時点

地方運輸局等 / 順位 / 項目	17地域合計	北海道運輸局			東北運輸局		関東運輸局							北陸信越運輸局	中部運輸局		近畿運輸局	中国運輸局	四国運輸局
順位		9	17	18	6	16	10	5	8	1	15	7	11	13	12	4	2	3	14
		苫小牧	知床（釧路）	知床（北見）	弘前	白河	市川	船橋	市原	松戸	板橋	江東	葛飾	上越	四日市	伊勢志摩	飛鳥	出雲	高松
登録車	**52,136**	**3,213**	**1,137**	**581**	**3,375**	**954**	**2,199**	**3,875**	**2,762**	**7,051**	**1,224**	**5,332**	**2,919**	**1,336**	**1,816**	**2,400**	**6,189**	**4,873**	**900**
寄付あり	38,093	2,659	786	431	2,415	722	1,874	2,984	1,757	5,378	958	3,981	2,395	1,072	1,439	1,623	4,590	2,197	832
寄付なし	14,043	554	351	150	960	232	325	891	1,005	1,673	266	1,351	524	264	377	777	1,599	2,676	68
軽自動車	**57,849**	**3,138**	**874**	**422**	**4,607**	**1,246**	**2,894**	**4,466**	**3,649**	**5,898**	**1,081**	**1,307**	**1,997**	**2,472**	**2,913**	**6,271**	**6,248**	**6,175**	**2,191**
寄付あり	27,993	1,778	389	216	2,312	601	1,560	2,465	1,755	3,268	532	707	1,203	1,099	1,511	1,555	3,278	2,069	1,695
寄付なし	29,856	1,360	485	206	2,295	645	1,334	2,001	1,894	2,630	549	600	794	1,373	1,402	4,716	2,970	4,106	496
合計	**109,985**	**6,351**	**2,011**	**1,003**	**7,982**	**2,200**	**5,093**	**8,341**	**6,411**	**12,949**	**2,305**	**6,639**	**4,916**	**3,808**	**4,729**	**8,671**	**12,437**	**11,048**	**3,091**
寄付あり	66,086	4,437	1,175	647	4,727	1,323	3,434	5,449	3,512	8,646	1,490	4,688	3,598	2,171	2,950	3,178	7,868	4,266	2,527
寄付なし	43,899	1,914	836	356	3,255	877	1,659	2,892	2,899	4,303	815	1,951	1,318	1,637	1,779	5,493	4,569	6,782	564

※本件数は、申込件数であり、予約完了（入金完了）の件数でない。

図柄ナンバープレート（地方版）第２弾の申込件数の推移（１７地域）

国土交通省



○申込開始直後にピークを迎え、その後は減少し、最近は横ばい状態にある。
○ 図柄（地域）により申込件数に大きな差が生まれている。
○ 申込件数は、登録車と軽自動車はほぼ同数である。また、登録車においては7割以上が「寄付あり図柄」である一方で、軽自動車においては「寄付あり図柄」と「寄付なし図柄」はほぼ同数である。

図柄ナンバープレート（地方版）第3弾の申込件数（5都県5地域）

国土交通省

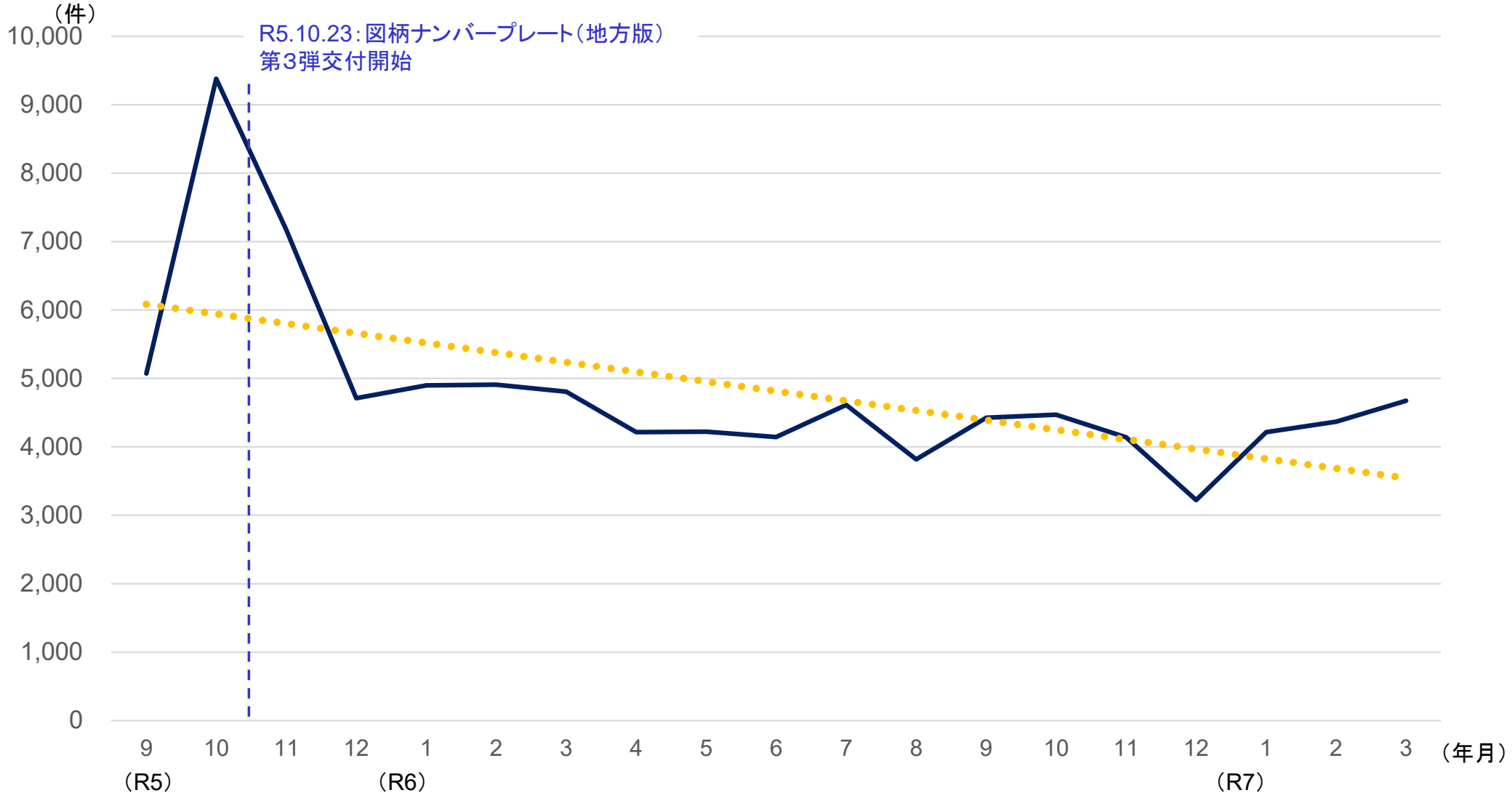
令和７年３月31日時点

地方運輸局等 順位 / 項目	10地域合計	都道府県全域を範囲とする図柄					既存のナンバー名を単位とする図柄				
		東北運輸局	関東運輸局			沖縄総合事務局	東北運輸局	関東運輸局	中部運輸局	近畿運輸局	中国運輸局
		5	6	1	2	3	7	10	8	9	4
		秋田県全域	栃木県全域	群馬県全域	東京都全域	沖縄県全域	いわき	那須	岡崎	堺	広島
登録車	**33,085**	**4,171**	**2,719**	**6,354**	**7,495**	**5,913**	**833**	**404**	**818**	**668**	**3,710**
寄付あり	28,535	3,659	2,553	5,600	6,296	4,576	723	377	585	605	3,561
寄付なし	4,550	512	166	754	1,199	1,337	110	27	233	63	149
軽自動車	**58,394**	**6,184**	**6,837**	**13,098**	**10,854**	**9,110**	**2,007**	**850**	**1,540**	**1,258**	**6,656**
寄付あり	40,627	4,478	5,290	9,456	6,369	6,049	1,133	604	613	938	5,697
寄付なし	17,767	1,706	1,547	3,642	4,485	3,061	874	246	927	320	959
合計	**91,479**	**10,355**	**9,556**	**19,452**	**18,349**	**15,023**	**2,840**	**1,254**	**2,358**	**1,926**	**10,366**
寄付あり	69,162	8,137	7,843	15,056	12,665	10,625	1,856	981	1,198	1,543	9,258
寄付なし	22,317	2,218	1,713	4,396	5,684	4,398	984	273	1,160	383	1,108

※本件数は、申込件数であり、予約完了（入金完了）の件数でない。

図柄ナンバープレート（地方版）第３弾の申込件数の推移（５都県５地域）

国土交通省



○ 申込開始当初は、順調な滑り出しであったが、その後は減少し、最近は横ばい状態にある。
○ 図柄（地域）により申込件数に大きな差が生まれている。
○ 申込件数の6割以上が軽自動車である。また、登録車の8割以上、軽自動車の約7割が「寄付あり図柄」である。

図柄ナンバープレート（地方版）の普及率（令和7年3月末時点）

国土交通省

地方版第１弾（平成30年10月～）

順位	地域名	普及率
1	富士山（山梨）	6.20%
2	熊本	4.34%
3	富士山（沼津）	3.86%
4	柏	3.56%
5	成田	3.39%
6	奈良	3.33%
7	長岡	3.28%
8	福山	3.07%
9	愛媛	2.94%
10	土浦	2.84%
11	つくば	2.76%
12	福井	2.57%
13	仙台	2.46%
14	鹿児島	2.07%
15	大分	2.00%
16	岩手	1.94%
17	香川	1.89%
18	富山	1.81%
19	下関	1.72%
20	長崎	1.71%

順位	地域名	普及率
21	京都	1.66%
22	前橋	1.60%
23	新潟	1.49%
24	滋賀	1.48%
25	金沢	1.48%
26	杉並	1.40%
27	佐世保	1.33%
28	盛岡	1.32%
29	山形	1.31%
30	越谷	1.09%
31	石川	1.09%
32	平泉	1.07%
33	高知	1.06%
34	宮崎	1.05%
35	春日井	0.96%
36	徳島	0.95%
37	豊田	0.93%
38	山口	0.93%
39	鳥取	0.75%
40	庄内	0.73%
41	世田谷	0.72%

地方版第２弾（令和２年５月～）

順位	地域名	普及率
1	飛鳥	8.86%
2	出雲	5.79%
3	弘前	5.18%
4	松戸	5.12%
5	伊勢志摩	3.61%
6	江東	3.60%
7	苫小牧	3.39%
8	知床	3.36%
9	葛飾	2.90%
10	船橋	2.65%
11	市川	2.44%
12	市原	2.36%
13	白河	1.86%
14	四日市	1.54%
15	上越	1.45%
16	板橋	1.33%
17	高松	0.81%

地方版第３弾（令和５年10月～）

順位	地域名	普及率
1	秋田県全域	1.24%
2	沖縄県全域	1.15%
3	群馬県全域	1.00%
4	広島	0.75%
5	いわき	0.68%
6	岡崎	0.66%
7	那須	0.55%
8	栃木県全域	0.51%
9	堺	0.43%
10	東京都全域	0.40%

※普及率＝図柄ナンバープレート（地方版）取付け台数/保有台数

図柄ナンバープレート（地方版）の申込件数（令和7年3月末時点）

国土交通省

地方版第１弾（平成30年10月～）

順位	地域名	申込件数
1	熊本	71,339
2	愛媛	35,039
3	奈良	30,246
4	鹿児島	30,028
5	京都	28,553
6	つくば	28,275
7	福山	25,422
8	大分	21,986
9	富士山（沼津）	21,172
10	仙台	20,770
11	福井	20,466
12	滋賀	20,398
13	富山	19,175
14	土浦	18,791
15	新潟	18,615
16	長岡	18,603
17	長崎	12,433
18	柏	11,953
19	山形	11,476
20	宮崎	11,337

順位	地域名	申込件数
21	成田	11,099
22	岩手	10,596
23	香川	10,300
24	山口	9,561
25	金沢	7,993
26	富士山（山梨）	7,548
27	高知	6,789
28	徳島	6,614
29	前橋	6,217
30	石川	6,199
31	盛岡	5,121
32	鳥取	4,335
33	佐世保	4,296
34	豊田	4,196
35	下関	3,853
36	平泉	2,883
37	春日井	2,646
38	越谷	2,382
39	杉並	2,221
40	庄内	2,174
41	世田谷	2,133

地方版第２弾（令和２年５月～）

順位	地域名	申込件数
1	松戸	12,949
2	飛鳥	12,437
3	出雲	11,048
4	伊勢志摩	8,671
5	船橋	8,341
6	弘前	7,982
7	江東	6,639
8	市原	6,411
9	苫小牧	6,351
10	市川	5,093
11	葛飾	4,916
12	四日市	4,729
13	上越	3,808
14	高松	3,091
15	知床	3,014
16	板橋	2,305
17	白河	2,200

地方版第３弾（令和５年10月～）

順位	地域名	申込件数
1	群馬県全域	19,452
2	東京都全域	18,349
3	沖縄県全域	15,023
4	広島	10,366
5	秋田県全域	10,355
6	栃木県全域	9,556
7	いわき	2,840
8	岡崎	2,358
9	堺	1,926
10	那須	1,254

導入後の普及促進活動（飛鳥）

国土交通省

■イオンモールでのPRイベント
　奈良運輸支局がイオンモール橿原で開催した自動車の点検整備推進イベントで「飛鳥ナンバー」をPR。

■協議会の広報HP
　協議会が広報HPを立ち上げ、デザイン選定経緯や申込方法等の詳細にいたるまで、積極的な情報発信を実施。

■誕生記念フォトコンテスト
　奈良トヨタが、飛鳥ナンバーの誕生を記念し『飛鳥とクルマ』『クルマと私』をテーマに飛鳥地域での撮影写真限定でフォトコンテストを開催。

■YouTubeチャンネル
　奈良TVの公式YouTubeチャンネルにて、各自治体の首長が飛鳥ナンバーへの熱い思いを語る動画を放映。（協議会HPに動画を添付）

導入後の普及促進活動（福山）

国土交通省

■図柄ナンバープレート（地方版）展示
　福山市役所において、全国の図柄ナンバープレート（地方版）を展示。

■チラシ等の作成
　福山ナンバーのチラシ等を作成、関係各所に配布。

■カープ新井監督へ福山ナンバー贈呈
　新井監督が市長を表敬訪問。市長から、新井監督の〝あ〟の文字と背番号〝25〟の数字の福山ナンバーを贈呈。

■YouTubeチャンネル
　福山市の公式YouTubeチャンネルに市長及び新井監督が出演し、福山ナンバー及びカープのそれぞれの首位奪還をPR。

導入後の普及促進活動（熊本）

国土交通省

■「くまモンナンバーを探せ」くまモンTV※（熊本ナンバー）
　くまモンが大型ショッピングモールの駐車場でくまモンナンバーを付けた車を探し、くまモンが窓を拭くという企画。その中で、申込件数ランキングの紹介、くまモンナンバーの図柄の解説もしている。
※ 熊本県庁が2018年9月に熊本県の魅力を発信するために開設したYouTubeチャンネル/令和6年7月時点の登録者数約5.6万

・くまモンナンバーを探して窓を拭くよ

・申込件数ランキング紹介（ベスト３）

・くまモンナンバー発見（所有者と挨拶）

・くまモンが窓拭き

導入後の普及促進活動（弘前・柏）

国土交通省

■オリジナルキーホルダーの配布（弘前）
　フルカラー図柄ナンバープレートを新規取付した方を対象にオリジナルキーホルダーを配布。

■ポスター・チラシの作成・配布（弘前）
自動車販売店、自動車学校等65カ所に配布。

■レンタル自転車にレプリカの装着（柏）
　手賀沼周遊レンタサイクルのタンデム自転車にレプリカの図柄ナンバープレートを装着。

Xでの助成金活用事業周知

図柄ナンバープレートの寄付金制度

国土交通省

寄付金制度の創設経緯

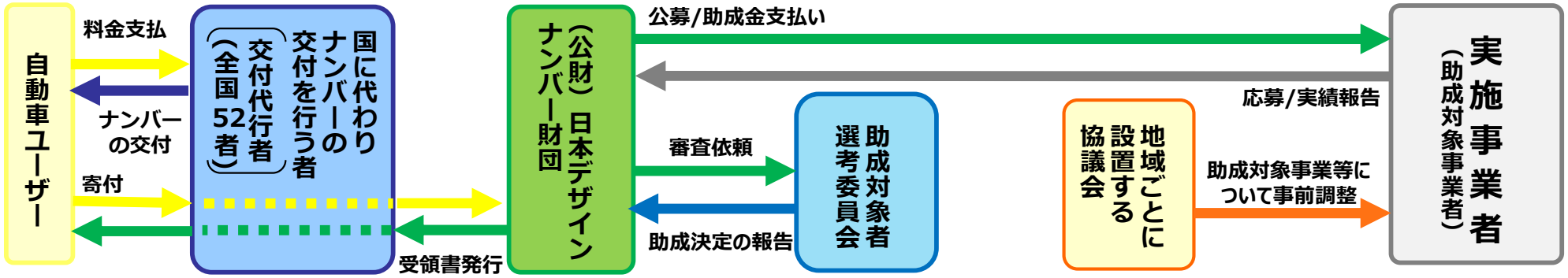
○　諸外国においては、すでに寄付金付きの図柄ナンバープレートが使用されている例があり、日本においても、ナンバープレートの多角的な活用を図る観点から、ラグビー・オリパラの開催支援や、地域振興・観光振興等に活用するため、図柄ナンバープレートの導入と同時（平成29年）に創設したもの。

＜海外事例＞

アメリカ：ニューヨーク州
ニューヨーク州の観光振興

オーストラリア：クイーンズランド州
乳がんの予防・治療の啓発

寄付金活用フロー



寄付金の使途

ラグビーワールドカップ特別仕様ナンバープレート	会場までの輸送力の増強等 ・主要駅や空港から会場までのシャトルバス運行事業等（約5,562万円）
東京2020ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ・ﾊﾟﾗﾘﾝﾋﾟｯｸ競技大会特別仕様ナンバープレート	ノンステップバス、UDタクシーの整備 ・ノンステップバス75台（約6,263万円）、UDタクシー345台（約7,342万円）
図柄ナンバープレート（地方版）	対象地域の交通サービス改善（利便性向上等）、観光振興、交通事故防止等に資する取組み ・令和元年度：熊本（約358万円）　・令和2年度：香川（約97万円）、徳島（約22万円） ・令和3年度：熊本（約698万円）、徳島（約21万円） ・令和4年度：弘前（約114万円）、鳥取（約78万円）、船橋（60万円）、葛飾（約57万円）等合計380万円 ・令和5年度：苫小牧（約94万円）、松戸（約93万円）、大分（約150万円）等
図柄ナンバープレート（全国版）	交通サービスの改善・観光振興、交通事故の削減等に資する取組み （助成対象事業の選定方法等を検討中）
大阪・関西万博特別仕様ナンバープレート	大阪・関西万博の開催に関連した交通サービスの充実等 （開催年度及び前年度にあたる、令和6～7年度目途の使用を想定）

図柄ナンバープレート（地方版）の寄付金管理団体の助成対象事業

国土交通省

告示で定める交付要件を踏まえ、地方版図柄の寄付金管理団体（※）では、交通改善、地域振興、観光振興等に資する以下の事業を助成対象としている。　※（公財）日本デザインナンバー財団

1．公共交通機関等のバリアフリー化に資する事業

（事業の例）
・ノンステップバス、リフト付きバス、ユニバーサルデザインタクシーの普及
・移動支援のための福祉車両の購入
・観光地設備のバリアフリー化に係る取り組み　等

2．公共交通の輸送の円滑化、輸送力の強化に資する事業

（事業の例）
・公共交通の速達性・定時性の確保や輸送能力の増大を可能とするBRT（Bus Rapid Transit）の普及
・イベント等における臨時バスの運行、周遊パスの発行　等

3．公共交通機関等の利便性の向上・観光旅行客の受入れ体制の強化に資する事業

（事業の例）
・外国人旅行客等を対象とした無料公衆無線（Wi-fi）の設置
・多言語対応のアプリの普及、バス停留所等の整備
・二次交通が不便な地域におけるレンタサイクルの普及促進
・ＭａａＳ等の導入における実証実験
・観光スポットの環境保全・美化活動
・観光広報、観光促進、観光客誘客に関する取り組み　等

4．次世代自動車の普及に資する事業

（事業の例）
・自動走行システム等の新たな自動車技術の導入に資する事業
・燃料料電池自動車等の普及に資する事業　等

5．自動車等による交通事故防止対策、被害者救済対策に資する事業

（事業の例）
・交通遺児一時金、交通安全の広報・啓発
・交通安全に資する路灯や防犯カメラの設置・修理
・交通安全施設等の設置　等

6．バスやタクシー等の公共交通事業者に対するドライブレコーダーやバックモニターの設置等公共交通機関等の維持確保に資する事業

（事業の例）
・過疎地域における地域交通の確保や、公共交通の利用促進のための広報・啓発などの環境づくり
・駅、空港からのバスや観光タクシー等の二次交通の利用促進
・公共交通の運転士の人材確保　等

7．街づくりに資する事業

（事業の例）
・無電柱化など、道路環境の整備に係る事業
・まちづくりに係る事業
・景観の観点からの野立広告物の撤去に係る事業　等

8．観光施設・拠点等の保全・整備に資する事業

（事業の例）
・観光施設や観光拠点の維持・保全に係る取り組み　等

9．その他、上記事業と一体となって利用者利便の向上、公共の福祉に資する事業

図柄ナンバープレート（地方版）の寄付金活用事例

国土交通省

図柄ナンバープレート（地方版）の寄付金活用事業は令和元年度から年度ごとに募集されており、令和元年度1件、令和2年度2件、令和３年度２件、令和４年度8件、令和５年度14件実施。（助成額計約2,322万円）

令和元年度事業

熊本：高齢者安全運転支援（ペダル踏み間違い防止装置の購入・設置支援）【交付額約358万円】

令和２年度事業

香川：反射タスキ配布キャンペーン【交付額約97万円】
徳島：にし阿波地域観光誘致ポスター【交付額約22万円】

（香川）

（徳島）

令和３年度事業

徳島：「秋冬版マイカープラン」SNS広告効果検証事業【交付額約21万円】
熊本：高齢者ドライブレコーダー設置支援事業【交付額約698万円】

（徳島）

令和４年度事業

船橋：船橋市公共交通マップ作成事業【交付額約60万円】
鳥取：とっとり交通フェスタ開催【交付額約39万円】等
出雲：観光レンタサイクル事業【交付額約16万円】等
※その他、弘前、葛飾、徳島で実施。

（鳥取）

（出雲）

令和５年度事業

松戸　：交通安全啓発品（ランドセルカバー）の作成・配布事業【交付額50万円】等
苫小牧：バスロケーションを表示するデジタルサイネージ設置事業【交付額89万円】
※その他、柏、葛飾、滋賀、出雲、徳島、香川、大分で実施。

画像提供：（公財）日本デザインナンバー財団

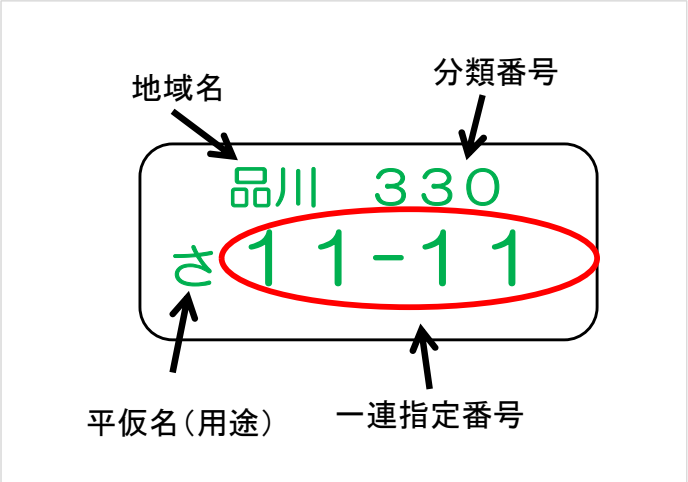
希望番号制度について

国土交通省

- 希望番号制度とは、自動車のナンバープレートのうち一連指定番号（右下図参照）について、申し出により所有者が希望する番号とすることができる制度である。
- 一部の番号については、特に人気が高いため、毎週1回抽選を行い、当選した者のみが取得できることとしている。

（全国エリアで抽選となっている番号の例）

1	7	8	88	333	358	555
777	888	1111	3333	5555	7777	8888



１．希望番号制度を活用できる対象車種

・登録自動車（乗用車、バス、トラック、大型特殊自動車）の自家用・事業用
・軽自動車（二輪車を除く）の自家用

２．希望番号制度の手続き

①希望する所有者は、交付代行者（国土交通大臣に代わりナンバープレートを交付する者として指定されたもの）に申し込み、希望する番号を予約する。（抽選の場合は当選した場合に限る。）
②所有者は登録に際し、国に希望番号を予約している旨を伝えることにより、国は当該番号で登録を行う。
③所有者は、交付代行者から当該番号のナンバープレートの交付を受ける。

３．希望番号制度による交付手数料（令和７年６月１日時点）

（ペイント式中板、１組）　４，４００円～５，７６０円（東京の場合：５，０００円）
参考：希望番号以外　１，９００円～２，８００円（東京の場合：１，９８０円）

４．希望番号を取得できる場合

新たに登録する場合（新車・中古車）、引越し等で地域名表示が変更になる場合、ご当地ナンバーに変更する場合、ナンバープレートが滅失・毀損した場合

二輪車への希望ナンバー導入に伴う車両番号及び車両番号標様式の見直しスケジュール

国土交通省

令和５年度　国土交通省にて「二輪車のナンバープレートの様式の見直し及び希望ナンバー制導入に係るワーキンググループ」を設置し、令和６年３月にとりまとめ

令和６年度　各プレートメーカーにて新様式対応の自動プレス機の導入に着手

令和７年度　交付代行者にて申込システム等改修に着手

国土交通省にて MOTAS改修及び省令等改正に着手

＜ MOTAS改修＞

6月 2日　調達仕様書の意見招請
7月下旬　入札公告
9月下旬　契約事業者決定
改修作業

＜ 省令等改正＞

今後着手　道路運送車両法施行規則

（
第36条の18
第45条第3号（第13号様式）
第63条の2第4項（第14号様式）
第63条の4第1項
第63条の10第1項（軽二輪第1号様式、同2号様式、同4号様式及び同5号様式）
）

＜ 第13号新様式 ＞

＜ 第14号新様式 ＞

～令和８年度　車両番号標頒布者にて希望ナンバーによる車両番号標の頒布料金の決定
各プレートメーカーにて新様式対応の自動プレス機の導入完了
交付代行者にて申込システム等改修完了　国交省にてMOTAS改修完了

希望ナンバー制導入に伴い車両番号を変更し、新様式の車両番号標の交付開始（改正省令施行）

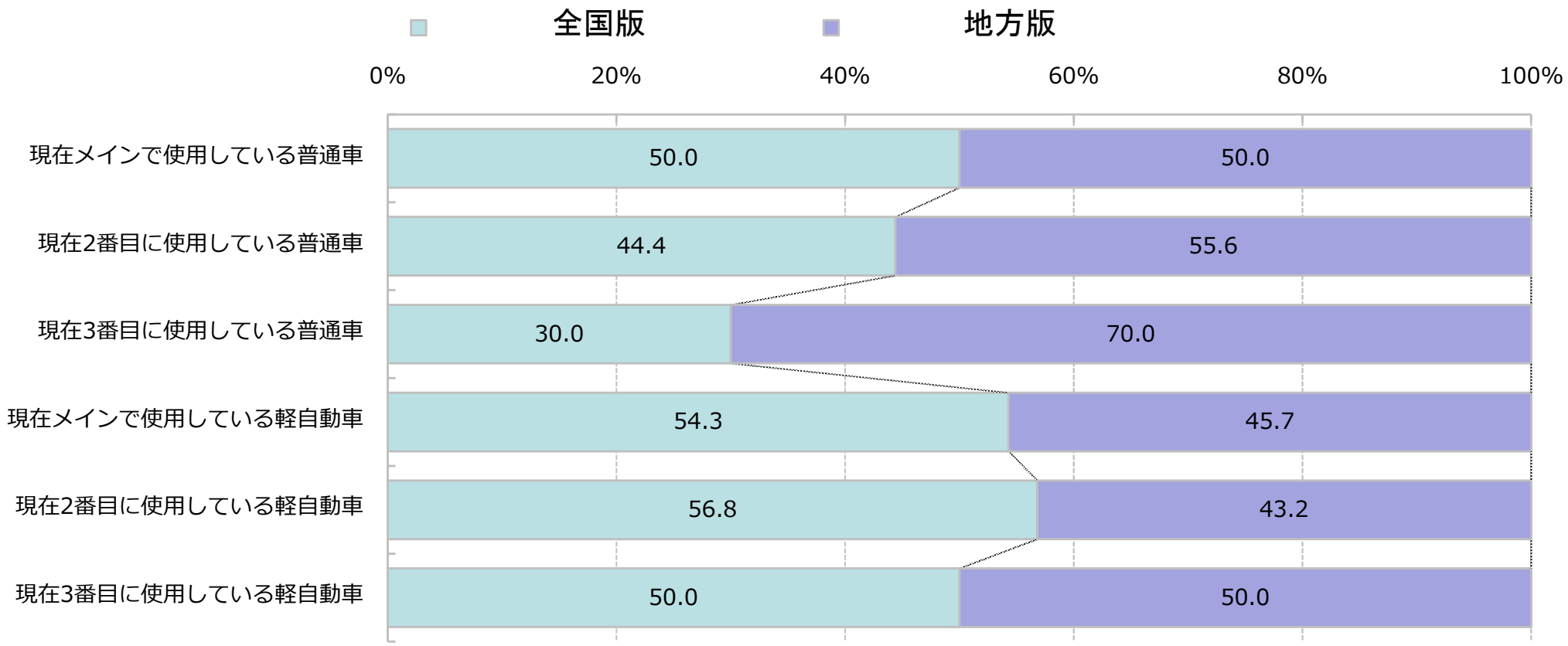
2. 自動車ユーザー及び自動車ディーラーに対するアンケート調査結果

2.（1）自動車ユーザーに対するアンケート調査結果

自動車ユーザーに対するアンケート結果について

国土交通省

Q1 現在図柄入りナンバープレートを付けている方にお伺いします。
図柄入りナンバープレート（全国版）、図柄入りナンバープレート（地方版）のどちらを付けていますか。
※全国版には国家的イベント（万博、オリンピック、ラグビーワールドカップなど）の プレートも含みます。
（単一回答）（n=488）

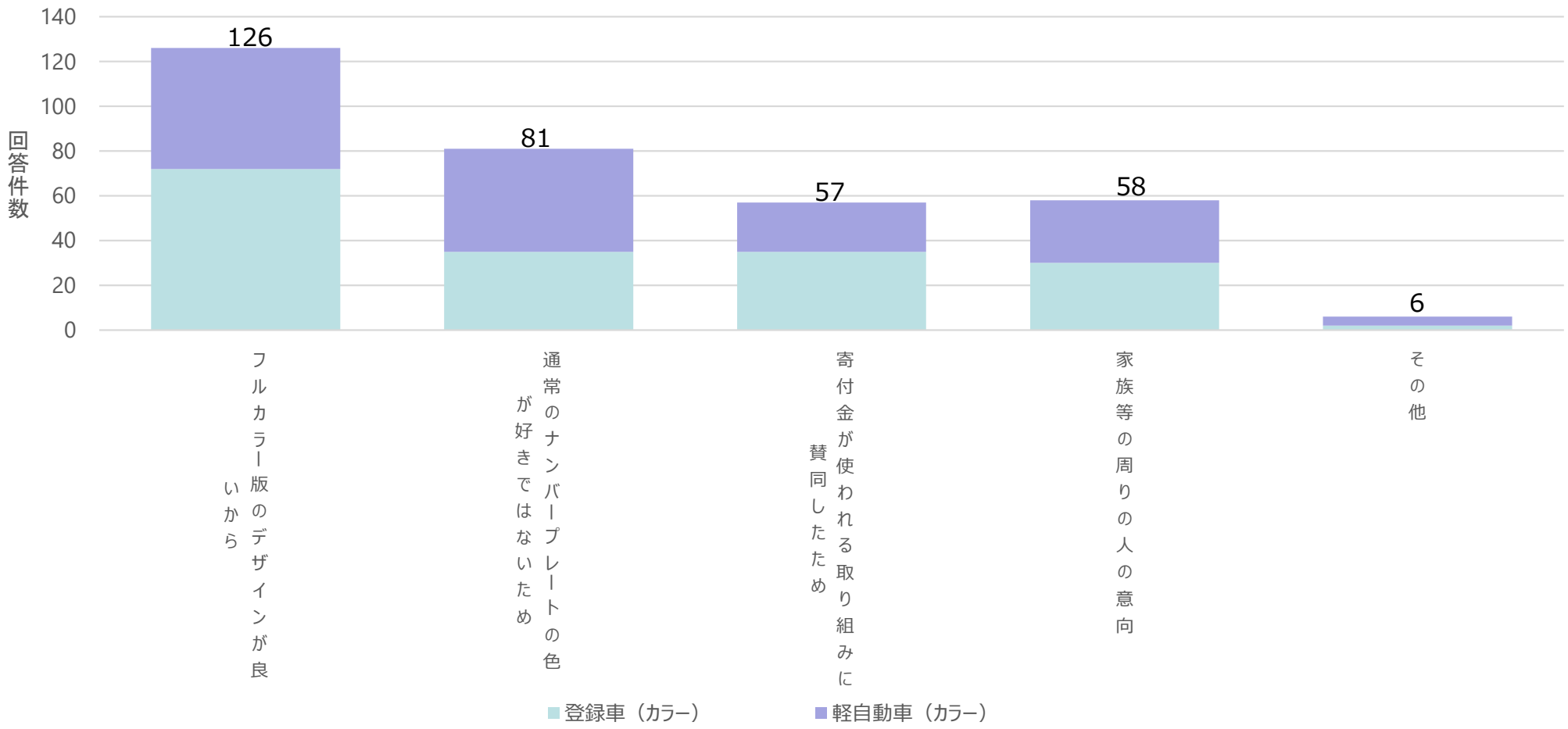


現在、図柄ナンバープレートを付けている方のうち、登録車ユーザーは地方版の割合がやや多い一方、軽自動車ユーザーは全国版を付けている方がやや多い結果となった。

自動車ユーザーに対するアンケート結果について

国土交通省

Q2　現在フルカラー版の図柄入りナンバープレートを付けている方にお伺いします。
フルカラー版の図柄入りナンバープレートを選んだ理由としてあてはまるものをすべてお選びください。
（複数回答）（n＝244）

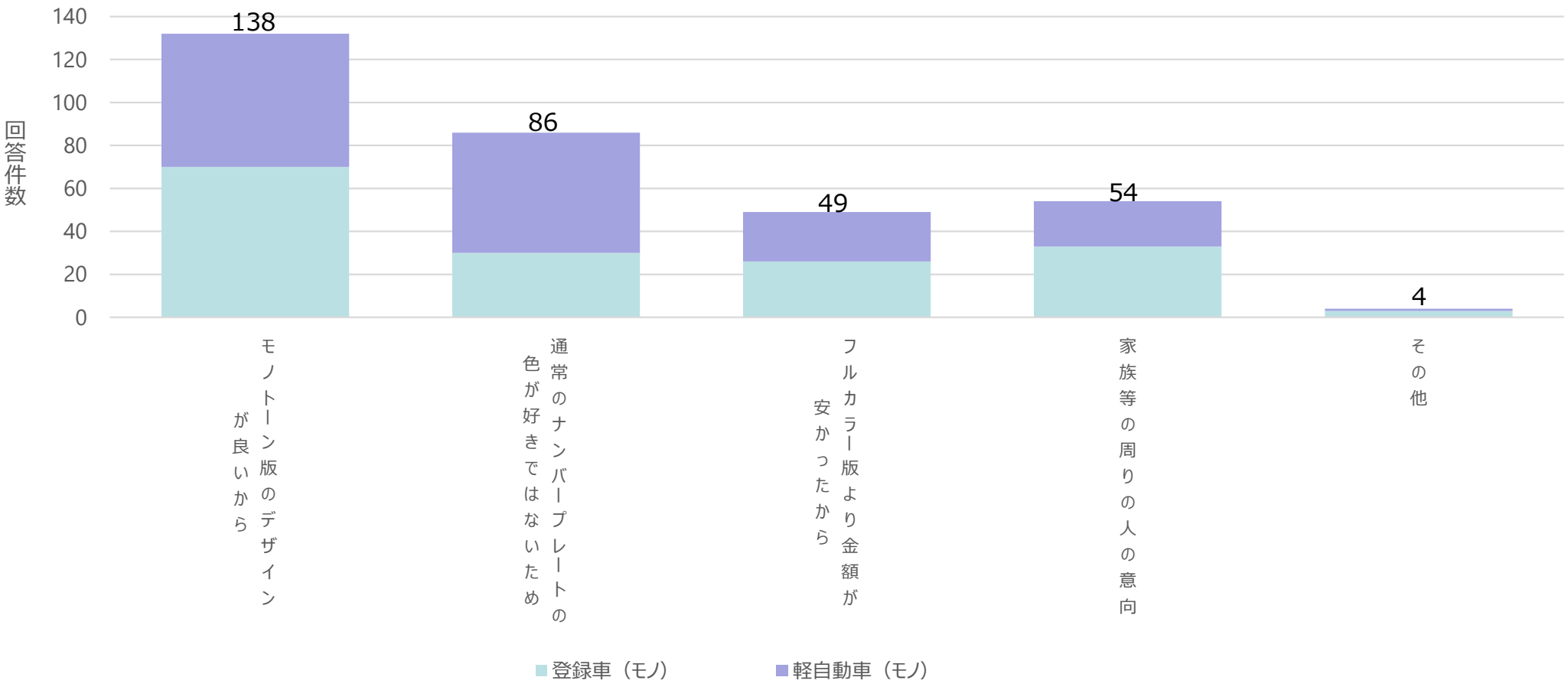


現在フルカラー版の図柄ナンバープレートを付けている登録車ユーザー、軽自動車ユーザーともに「フルカラー版のデザインが良いから」という回答が一番多い結果になった。

自動車ユーザーに対するアンケート結果について

国土交通省

Q3　現在モノトーン版の図柄入りナンバープレートを付けている方にお伺いします。
モノトーン版の図柄入りナンバープレートを選んだ理由としてあてはまるものをすべてお選びください。
（複数回答）（n＝244）

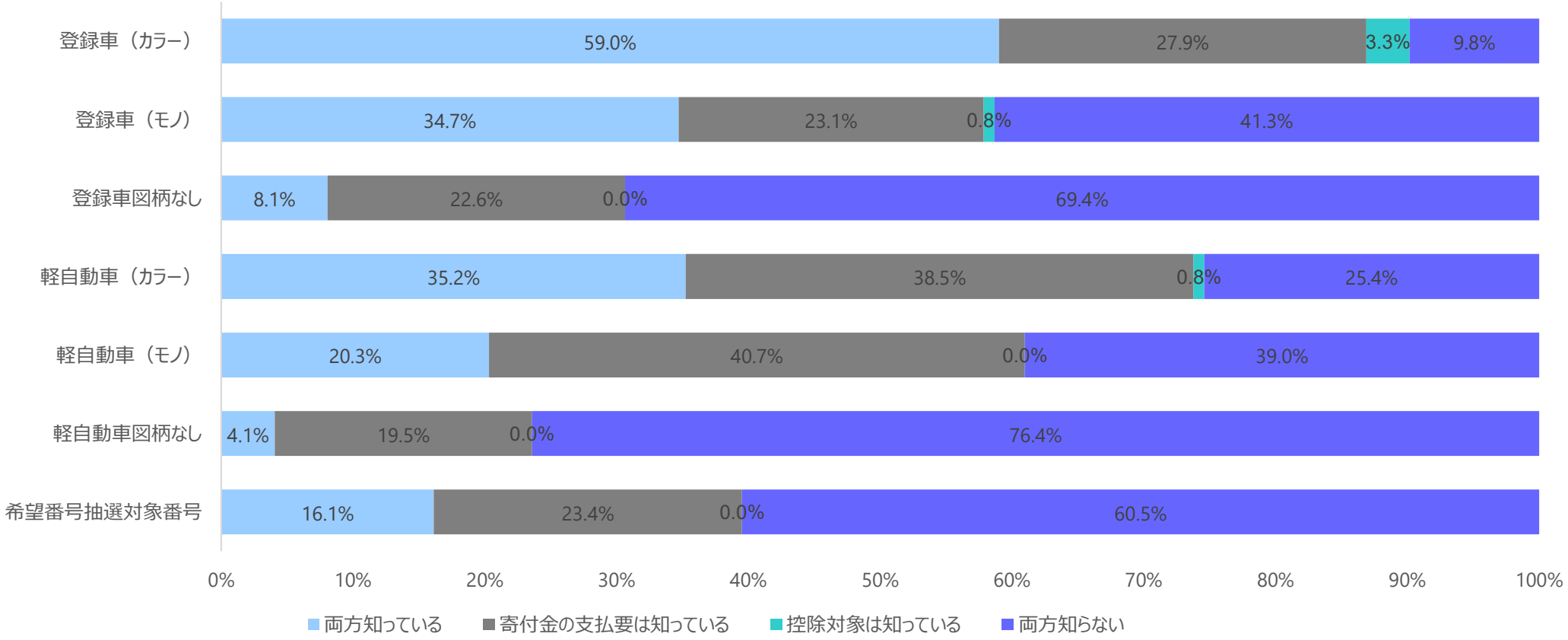


現在モノトーン版の図柄ナンバープレートを付けている登録車ユーザー、軽自動車ユーザーともに「モノトーン版のデザインが良いから」という回答が一番多い結果となった。

自動車ユーザーに対するアンケート結果について

国土交通省

Q４　「図柄入りナンバープレートのフルカラー版の図柄は寄付金を1,000円以上払う必要があること」を知っていましたか。
Q５　「図柄入りナンバープレートの寄付金は所得税と法人税の控除対象になること」を知っていましたか。
（単一回答）（ｎ＝859）

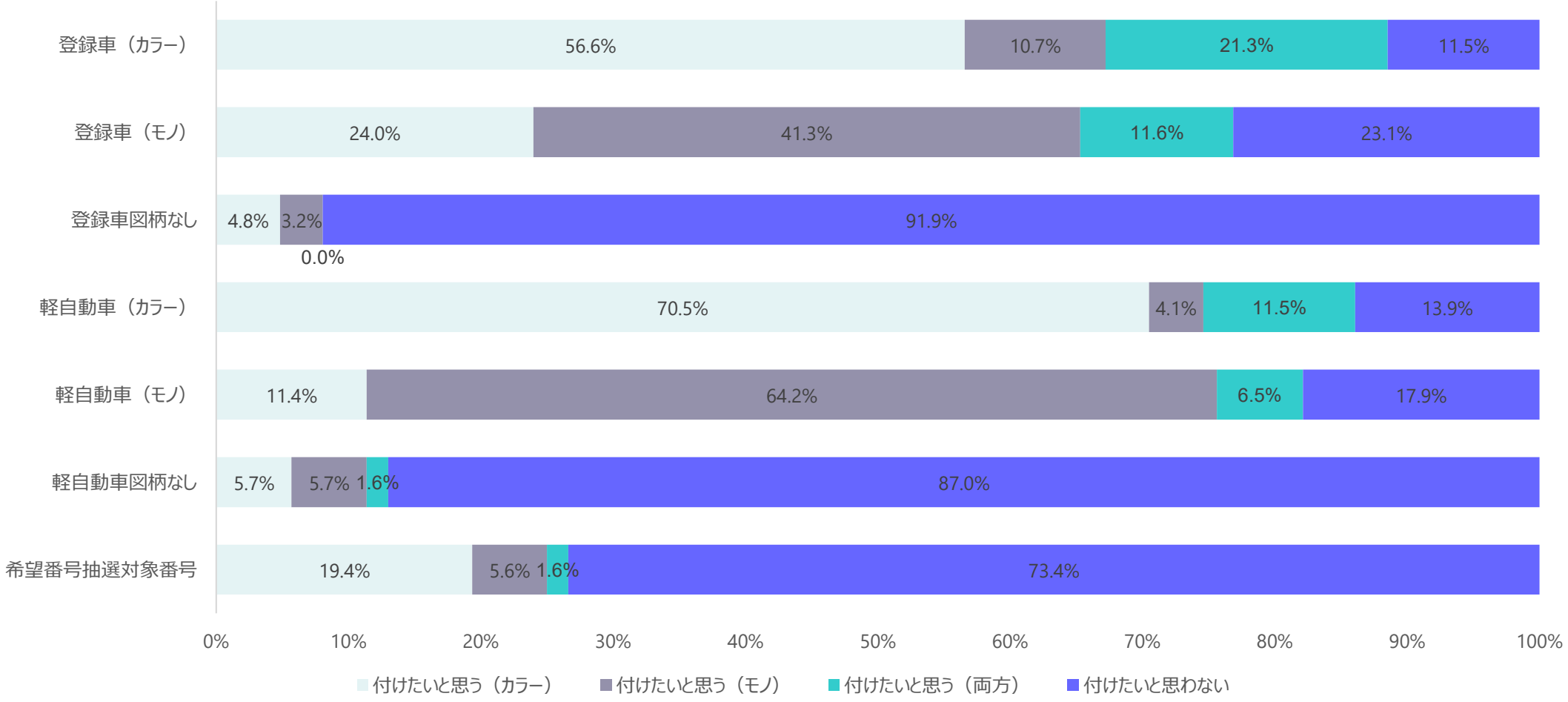


登録車でフルカラー版を取り付けている方のうち59.0%、軽自動車にフルカラー版を取り付けている方のうち、35.2%が「両方知っている」と回答した。それに対し、登録車、軽自動車ともに図柄なしの方及び希望番号抽選対象番号取得者のうち、「両方知っている」と回答した方は割合が低く、「両方知らなかい」と回答した割合は60%以上を占めた。

自動車ユーザーに対するアンケート結果について

国土交通省

Q６　今後、車の買い替えなどでナンバープレートを変える際に、図柄入りナンバープレートを付けたいと思いますか。
付けたいと思う方はあてはまるものをすべてお選びください。　（複数回答）（ｎ＝859）

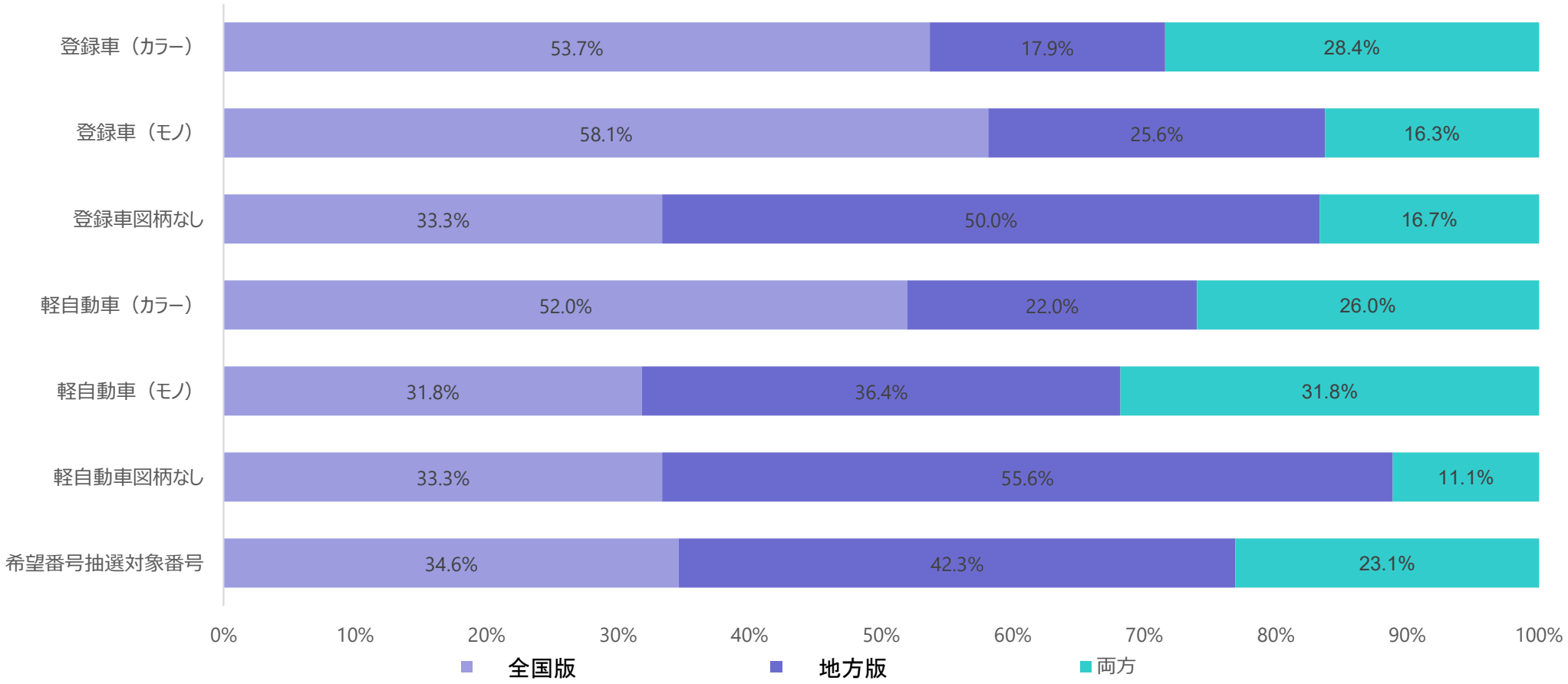


既に図柄ナンバープレートを取る付けている方のうち、約80%は継続して図柄ナンバープレートを「付けたいと思う」と回答している一方、図柄ナンバープレートを取り付けていない方は、約90%の方が今後も「付けたいと思わない」と回答した。

自動車ユーザーに対するアンケート結果について

国土交通省

Q７　今後、ナンバープレートを変える際に、フルカラー版の図柄入りナンバープレートを付けたいと思うと回答した方にお伺いします。今後付けたいと思う図柄入りナンバープレートは、全国版と地方版のどちらですか。
※全国版には国家的イベント（万博、オリンピック、ラグビーワールドカップなど）のプレートも含みます。
（複数回答）（ｎ＝301）

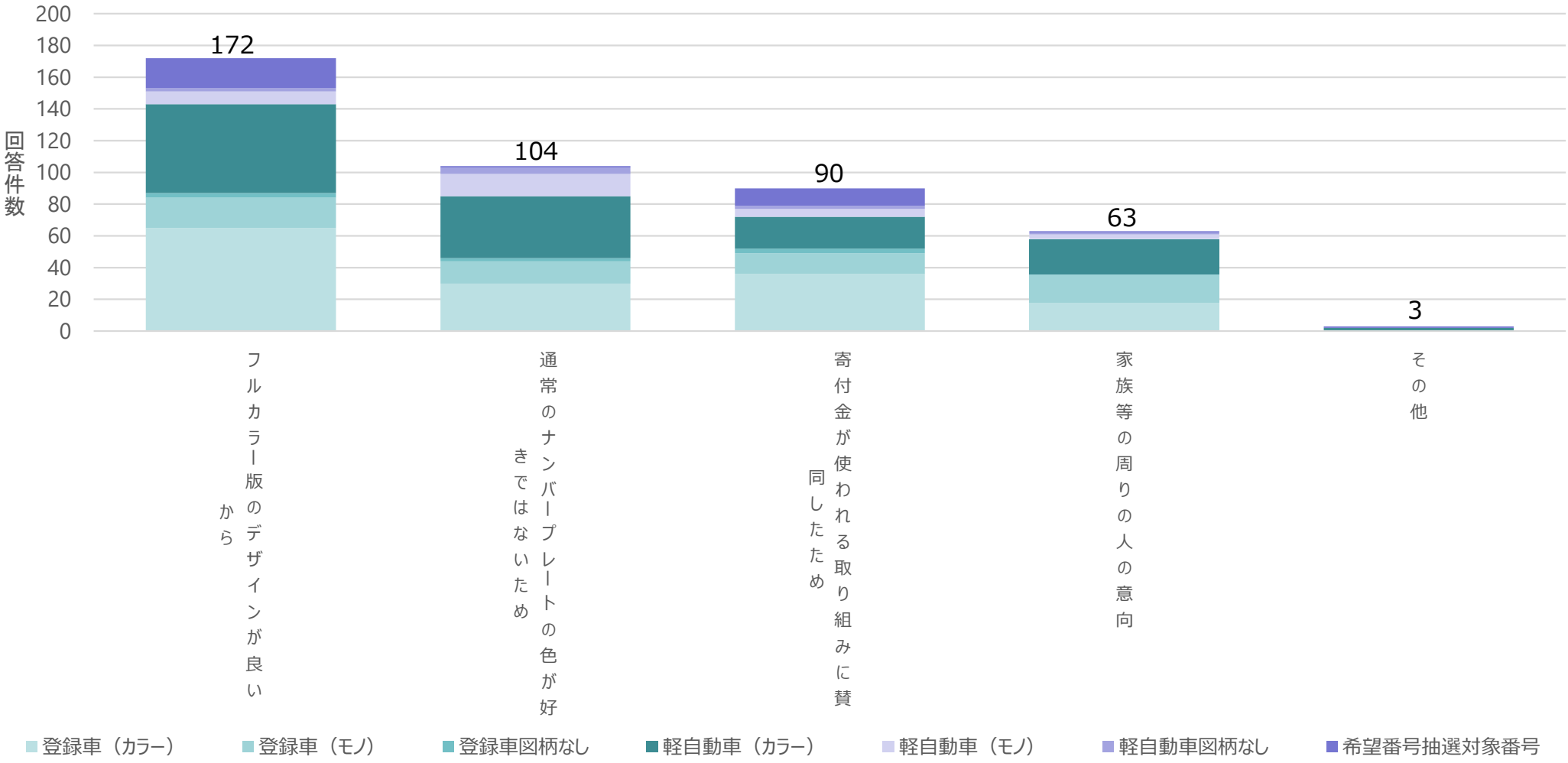


現在、登録車でフルカラー版及びモノトーン版を取り付けている方、軽自動車でフルカラー版を取り付けている方の半数以上は、全国版を付けたいと回答。それに対し、現在、登録車軽自動車ともに図柄を取り付けていない方の半数以上が、地方版を取り付けたいと回答。軽自動車でモノトーン版を取り付けている方は全国版と地方版を取り付けたいとする割合がほぼ同じ。抽選対象希望番号を付けているユーザーは、地方版を取り付けたいとする割合が全国版をやや上回った。

自動車ユーザーに対するアンケート結果について

国土交通省

Q８　フルカラー版のナンバープレートを付けたいとお答えになった方にお伺いします。
フルカラー版のナンバープレートを付けたいとお答えになった理由としてあてはまるものをすべてお選びください。
（複数回答）　（ｎ＝301）

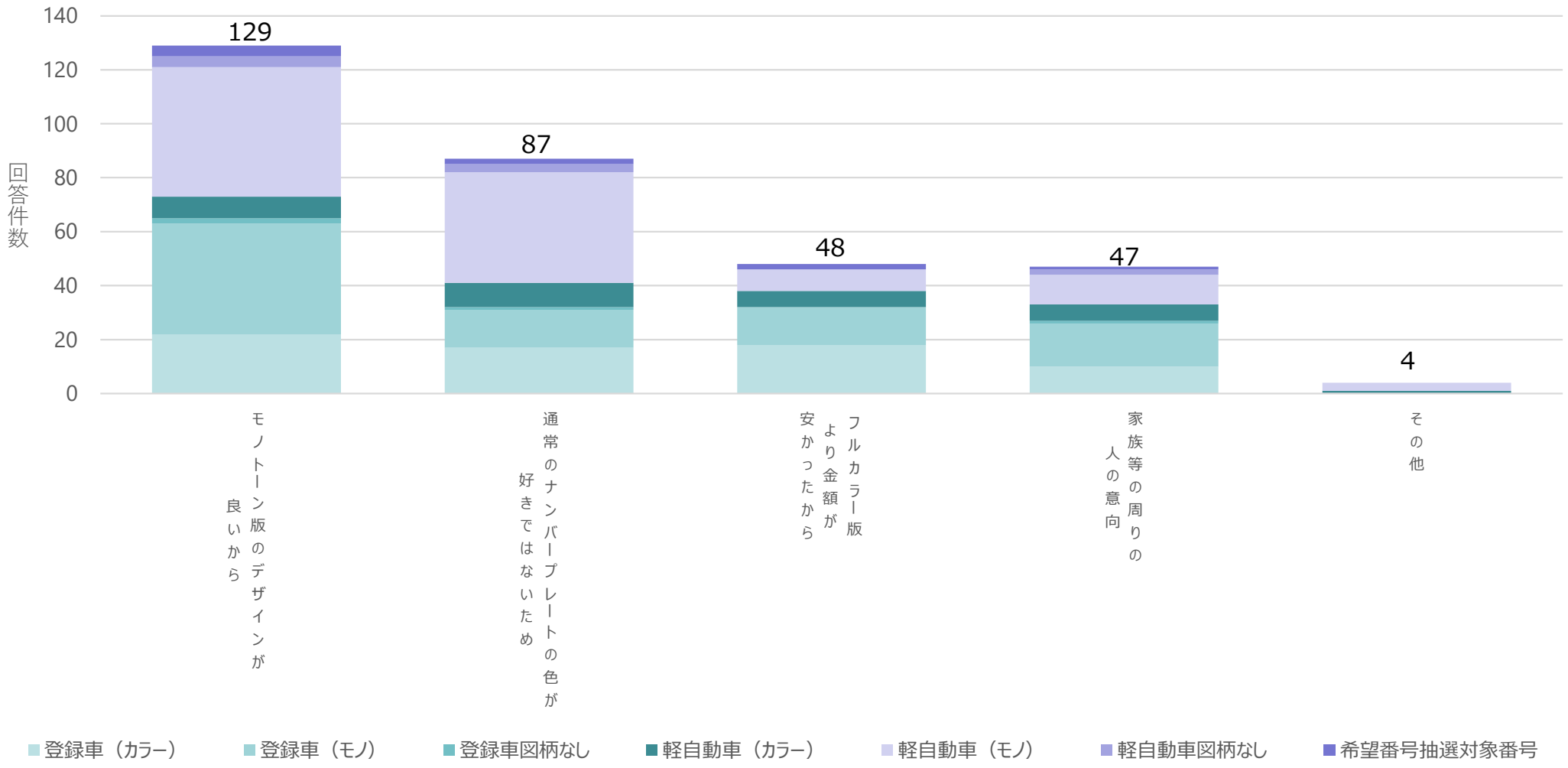


フルカラー版のナンバープレートを付けたい理由のうち、登録車、軽自動車ユーザーともに「フルカラー版のデザインが良いから」と回答した方が一番多い結果となり、デザイン重視で選んでいる結果となった。

自動車ユーザーに対するアンケート結果について

国土交通省

Q9　モノトーン版のナンバープレートを付けたいとお答えになった方にお伺いします。
モノトーン版のナンバープレートを付けたいとお答えになった理由としてあてはまるものをすべてお選びください。
（複数回答）（n＝231）

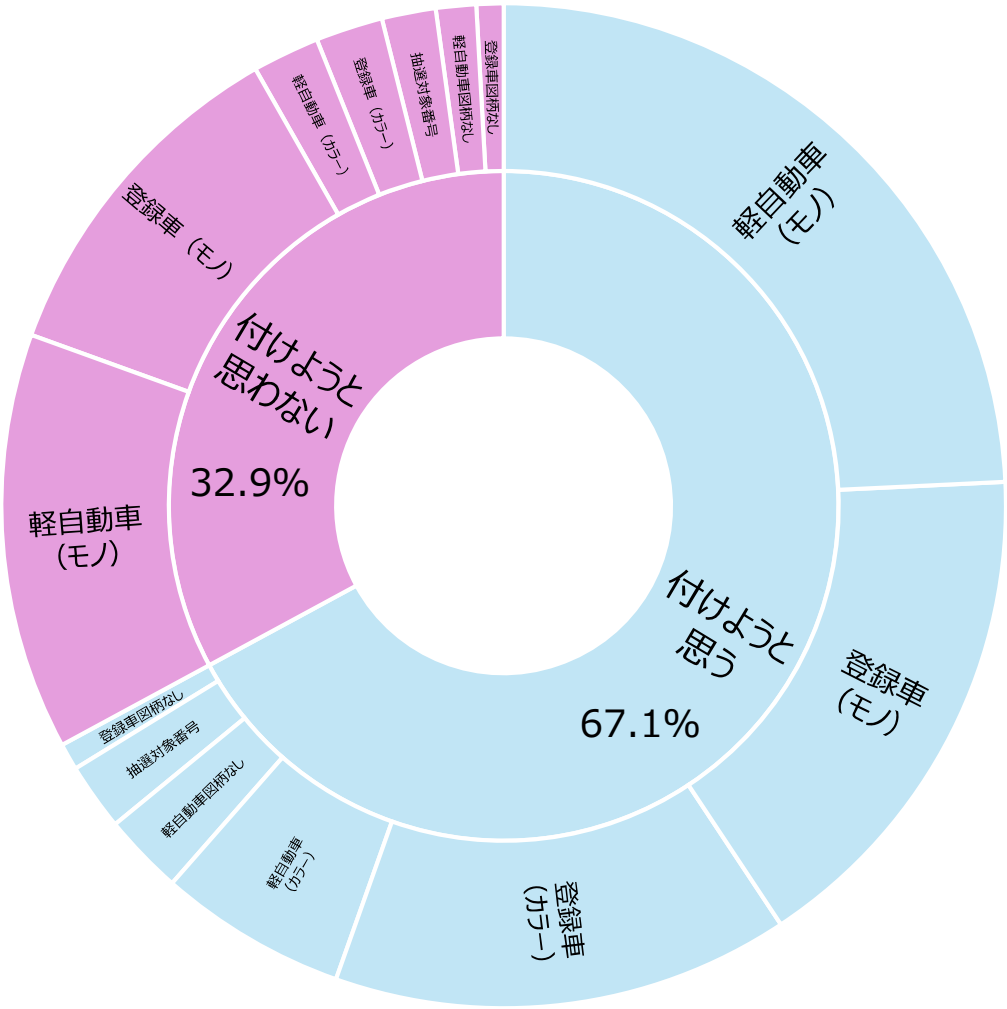


モノトーン版のナンバープレートを付けたい理由のうち、登録車、軽自動車ユーザーともに「モノトーン版のデザインが良いから」と回答した方が一番多い結果となり、デザイン重視で選んでいる結果となった。

自動車ユーザーに対するアンケート結果について

国土交通省

Q10　モノトーン版のナンバープレートを付けたいとお答えになった方にお伺いします。
もしフルカラー版の図柄入りナンバープレートしかない場合、今後、フルカラー版の図柄入りナンバープレートを付けようと思いますか。
（単一回答）　（ｎ＝231）

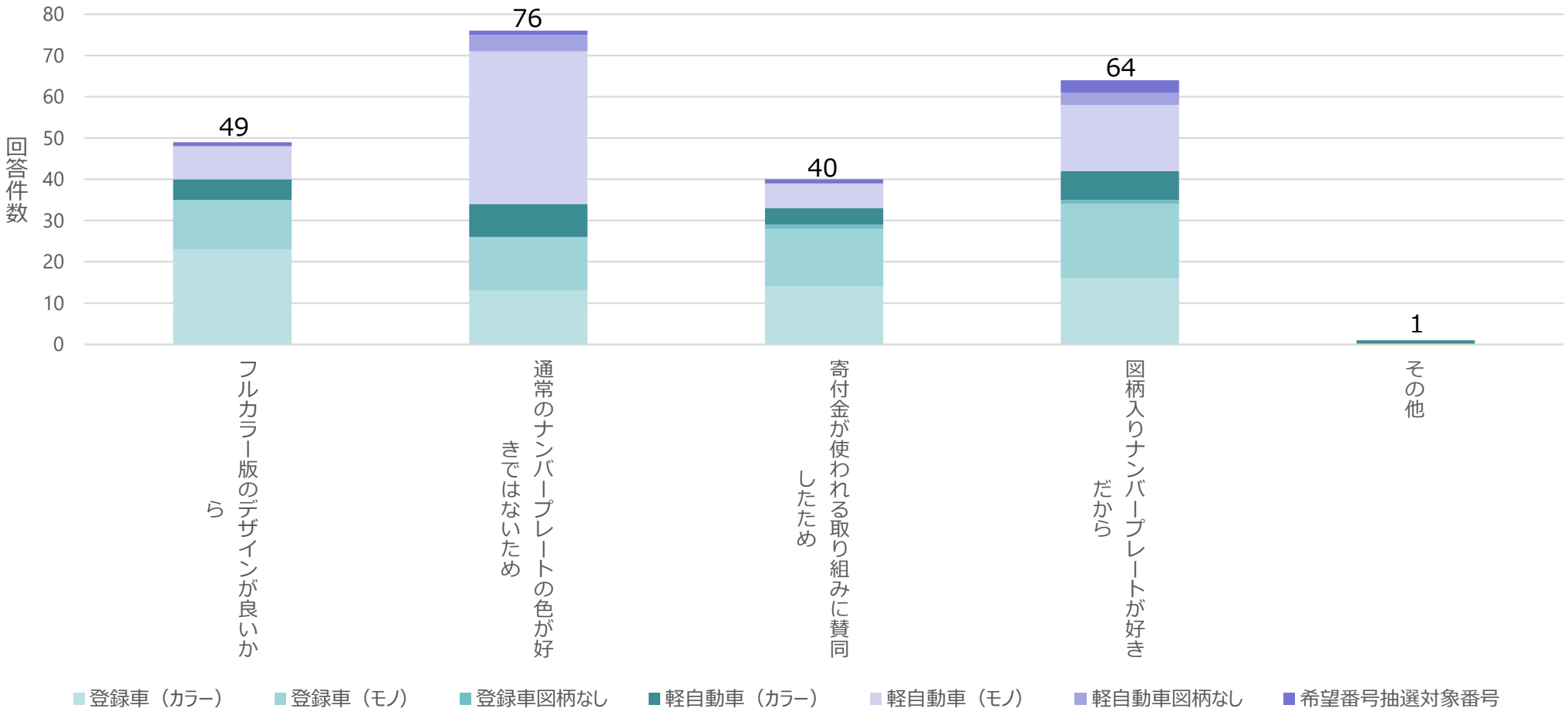


今後、ナンバープレートを変える際に、モノトーン版の図柄ナンバープレートを付けたいと思っている方は、フルカラー版しか無い場合でも７割近くの方がフルカラー版の図柄ナンバープレートを取り付けようと思っているという回答した。

自動車ユーザーに対するアンケート結果について

国土交通省

Q11　フルカラー版の図柄入りナンバープレートしかない場合、付けようと思うと回答した方にお伺いします。
フルカラー版のナンバープレートを付けようと思うと回答した理由としてあてはまるものをすべてお選びください。
（複数回答）（ｎ＝155）

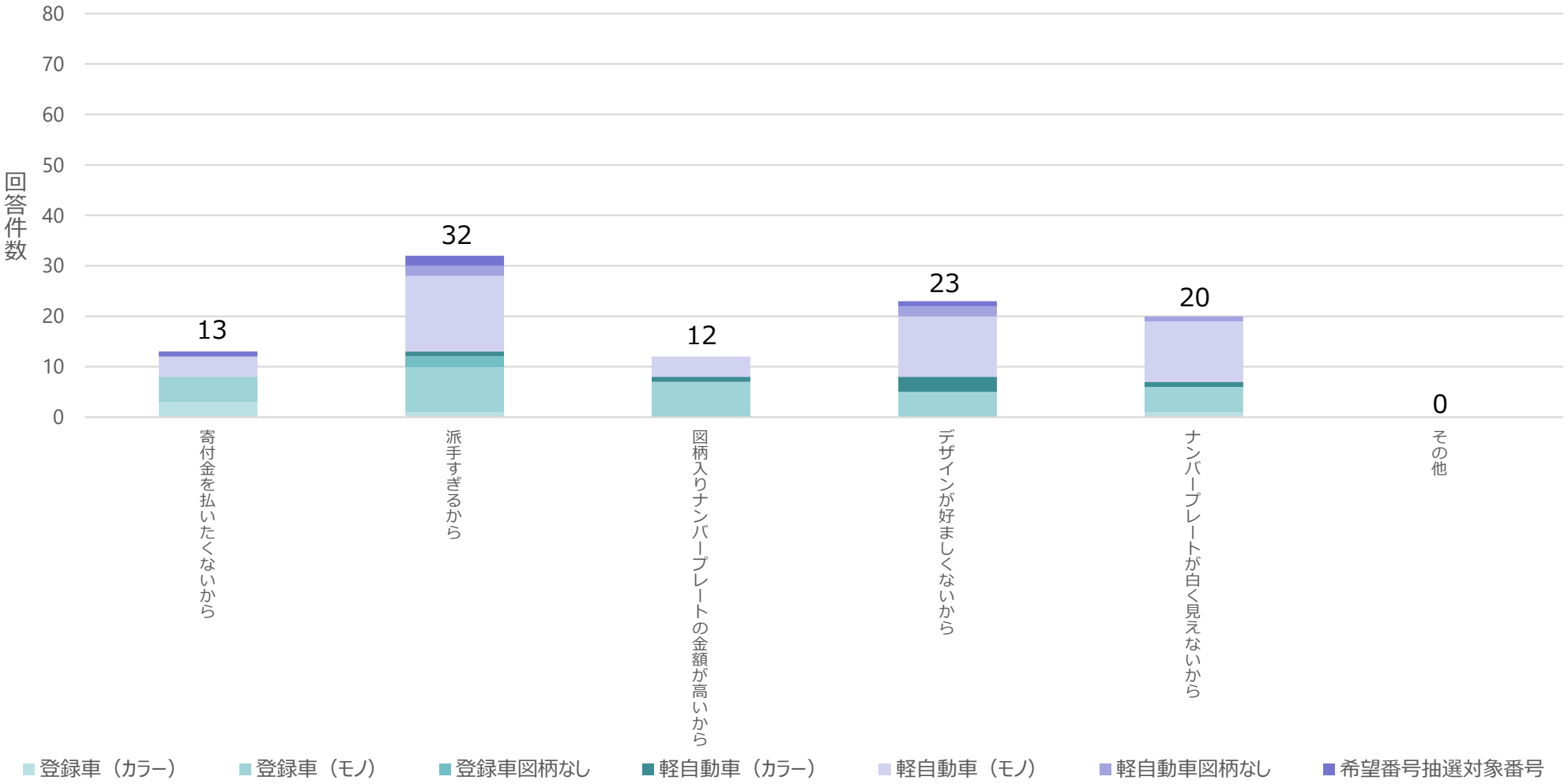


今後、ナンバープレートを変える際に、モノトーン版の図柄ナンバープレートを付けたいと思っている方は、フルカラー版しか無い場合にフルカラー版の図柄ナンバープレートを取り付けようと思っている方の回答で一番多い回答が「通常のナンバープレートの色が好きではないため」という結果になった。

自動車ユーザーに対するアンケート結果について

国土交通省

Q12　フルカラー版の図柄入りナンバープレートしかない場合は、付けようと思わないと回答した方にお伺いします。
　フルカラー版のナンバープレートを付けようとは思わないと回答した理由としてあてはまるものをすべてお選びください。
（複数回答）（n＝76）

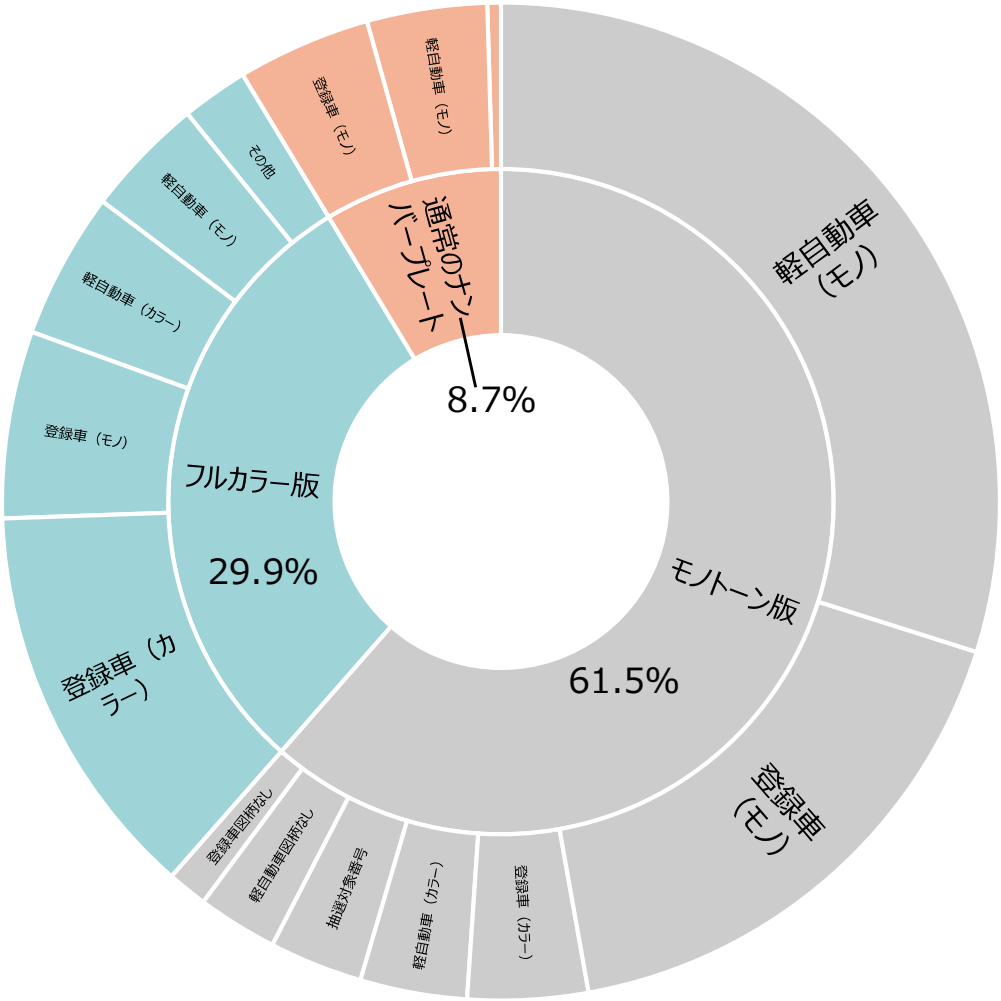


　今後、ナンバープレートを変える際に、モノトーン版の図柄ナンバープレートを付けたいと思っている方は、フルカラー版しか無い場合に図柄ナンバープレートを取り付けようと思わない方は「派手すぎるから」という理由が一番多い結果となった。

自動車ユーザーに対するアンケート結果について

国土交通省

Q13　今後、車の買い替えなどでモノトーン版のナンバープレートを付けたいと思うと回答した方にお伺いします。
もしフルカラー版、モノトーン版の寄付金が両方とも1,000円だとしたら、フルカラー版、モノトーン版、
通常のナンバープレートのどれを付けたいと思いますか。
（単一回答）　（n＝231）

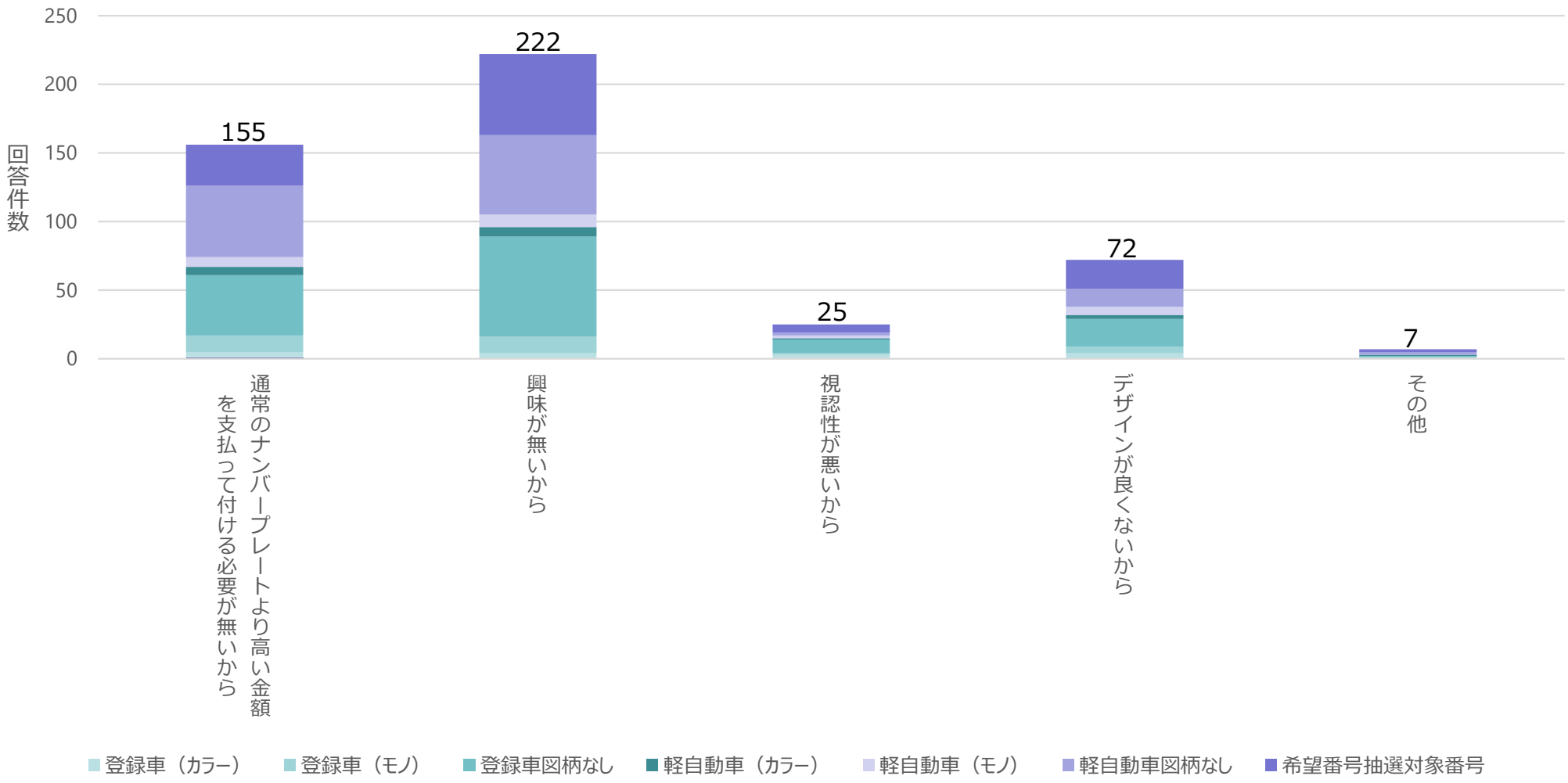


今後車の買い替え等でモノトーン版を付けたいと思うと回答した方は、今後モノトーン版にも寄付金を導入した場合でも、モノトーン版を付けたいという方が6割超という結果になった。

自動車ユーザーに対するアンケート結果について

国土交通省

Q14　図柄入りナンバープレートを付けたいと思わない方にお伺いします。
図柄入りナンバープレートを付けようと思わない理由としてあてはまるものをすべてお選びください。
（複数回答）（n＝393）



図柄ナンバープレートを付けたいと思わない理由として、図柄ナンバープレートに興味が無いからという回答が一番多い結果となった。

自動車ユーザーに対するアンケート結果について

国土交通省

Q15　Q６で図柄入りナンバープレートを付けたいとお答えになった方にお伺いいたします。
もし図柄入りナンバープレートにフルカラー版しかない場合、何か困ることはありますか。
（単一回答）（ｎ＝466）

フルカラー版のみ交付を行うことにしたとしても、「困ることはない」と回答した方が９割超という結果となった。

自動車ユーザーに対するアンケート結果について

国土交通省

Q16　図柄入りナンバープレート制度に対して、どのように感じますか。できるだけ具体的にお書きください。
（ｎ＝859）

主な図柄ナンバープレート制度へのポジティブなご意見

- ◆　地域活性化と発展に寄与出来る、町おこしになっていれば良いと思う、地域らしさがあっていい
- ◆　図柄ナンバープレートは、”走る広告塔”として、地域の風景や観光資源を図柄とすることにより、地域の魅力を全国に発信することを目的に始まり、申し込みの際に募集している寄付金は、導入地域における交通改善、観光振興などの取組みに活用されるから良いと思う
- ◆　自己主張ができてよいと思う、おしゃれで個性を出せていいと思う、運転を楽しむことができてとても良い制度だと思う
- ◆　図柄入りプレートの方が見た目も良いし寄付が付いているので次回も図柄ナンバープレートにしたい、寄付制度があるのは良いことだと思う
- ◆　地元をアピールできて良いと思う
- ◆　地域のナンバープレートを見かけることがあるが、微笑ましいと少し感じる
- ◆　見た目にきれいな柄だったりと見ていて楽しいものもあるし、興味深いなと思うので、この制度はあってもいいと思います。

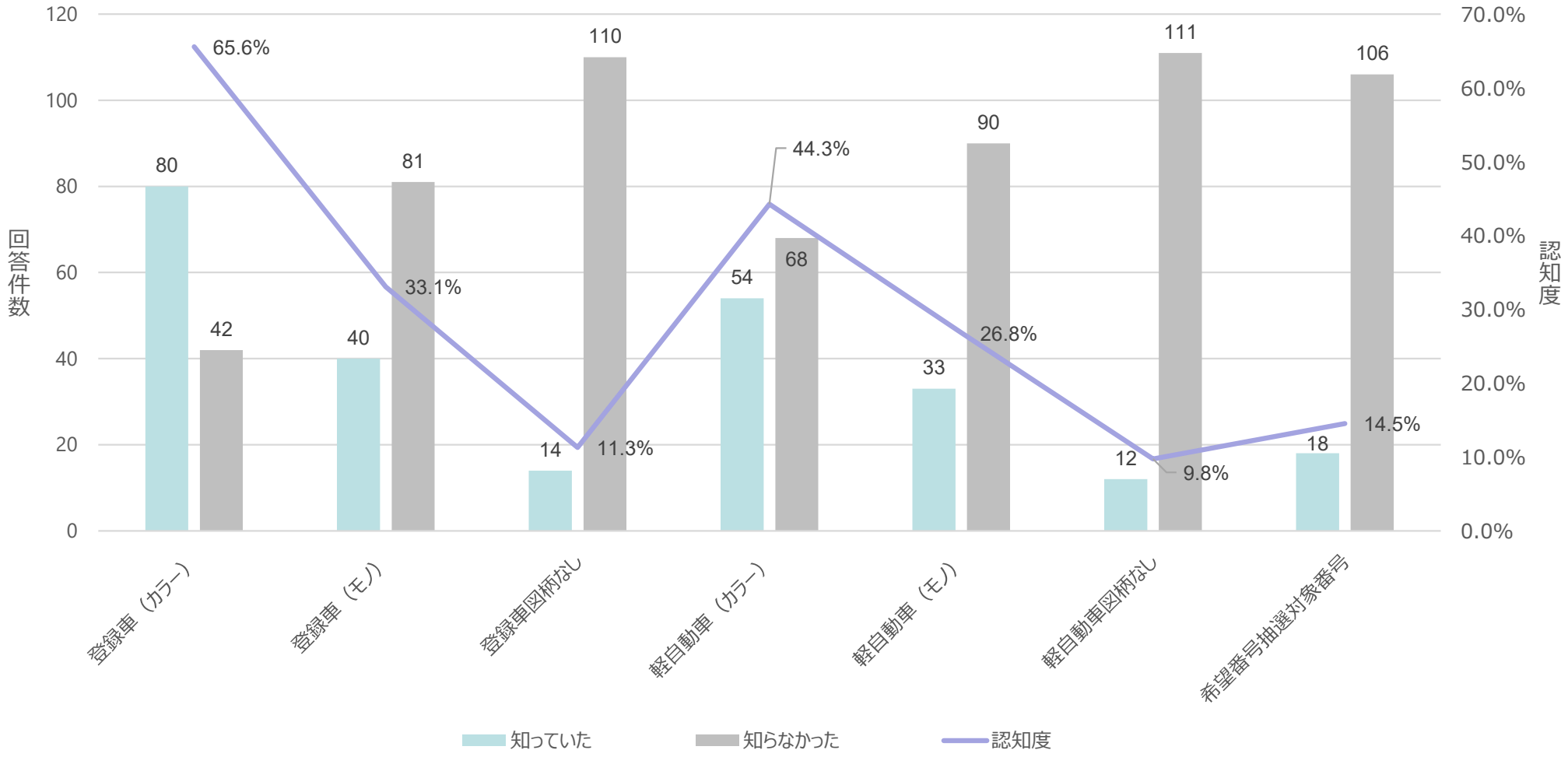
主な図柄ナンバープレート制度へのネガティブなご意見

- ◆　図柄が気に入ったものであれば良いが、あまり魅力的な図柄でないとお金を払ってまで図柄入りプレートにしたいと思わない
- ◆　無料だったらやってもよい、格好悪いと思う、車のデザイン性を損なう、興味がある人が利用すればよい
- ◆　特に好きではなかったが、軽自動車を購入する場合、黄色のプレートにしたくなかったので、これ以外の選択肢がなかった。
- ◆　特に感じることは無い、普通でよい、派手で目立ちすぎる、シンプル感がなくなる
- ◆　料金を払ってまで利用したくないし、柄は要らない
- ◆　ナンバー認識が落ちるので不要と思う
- ◆　ナンバーが読みずらく、余計なことをしないほうがよいと思う
- ◆　車全体のデザインに対してマッチしないと思うので希望しようとは思わない
- ◆　普遍的なデザインを増やしてほしい

自動車ユーザーに対するアンケート結果について

国土交通省

Q17　図柄入りナンバープレートの寄付金が交通政策や観光政策等に活用されていることを知っていますか。
（単一回答）（ｎ＝859）

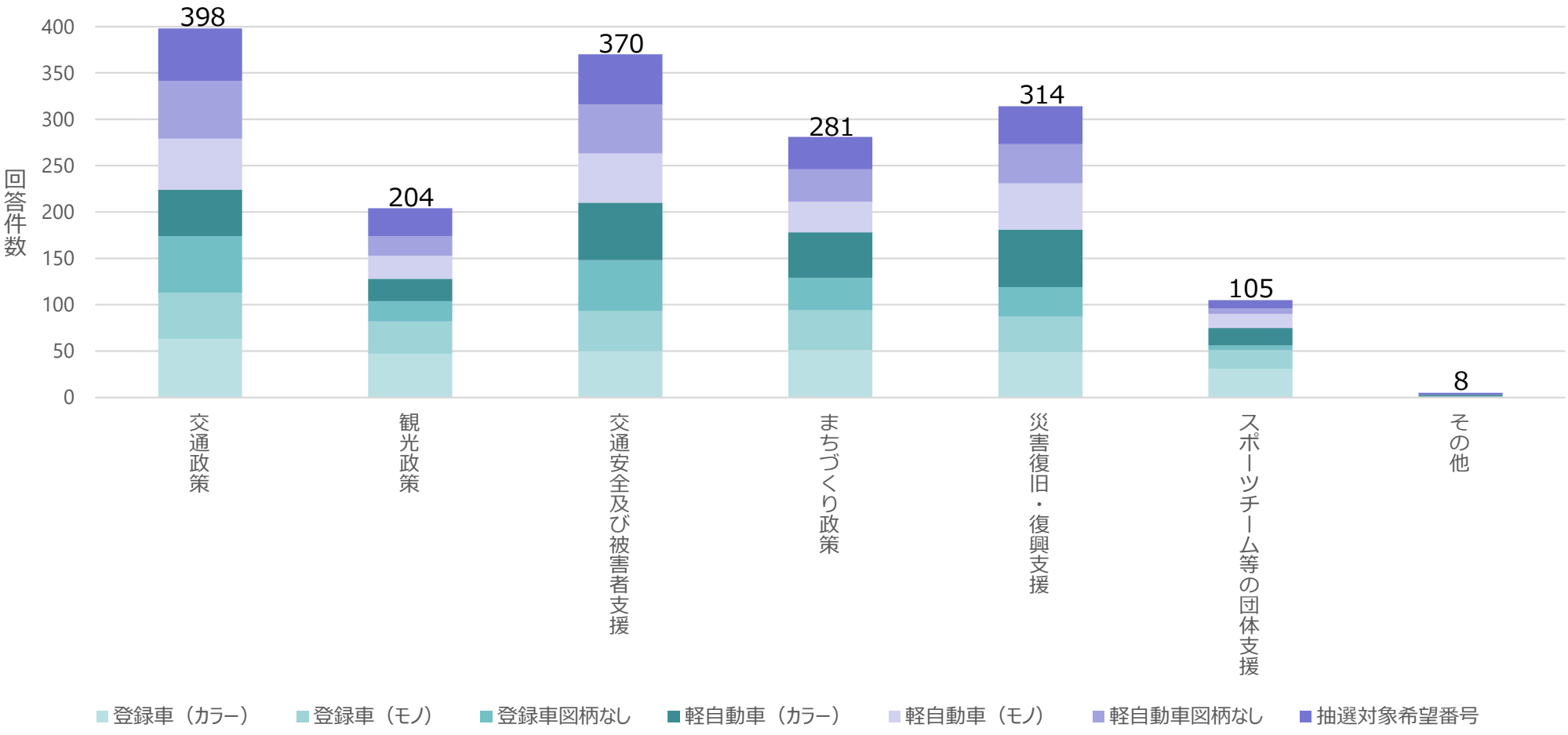


寄付金を支払い、フルカラーの図柄ナンバープレートを取り付けている方（登録車・軽自動車ユーザー）の認知度は他のユーザーと比べて高い結果となった。一方、登録車図柄なし、軽自動車図柄なし及び希望番号抽選対象番号取得者の認知度は、10%程度と低い結果となった。

自動車ユーザーに対するアンケート結果について

国土交通省

Q18　図柄入りナンバープレートの寄付金は何の目的に使われるのが良いと思いますか。良いと思うものをすべてお選びください。（複数回答）（n＝859）



寄付金の活用目的について、現在活用している「交通政策」「交通安全及び被害者支援」へ活用されるのが良いという回答が多かった。

また、現在寄付金の使途としていない、「災害復旧・復興支援」へ活用されるのが良いとの回答も上記目的の次に多い結果となった。

自動車ユーザーに対するアンケート結果について

国土交通省

Q19　図柄入りナンバープレートの寄付金制度について、どのようにお考えですか。できるだけ具体的にお書きください。
(n=859)

主な図柄ナンバープレートの寄付金制度へのポジティブなご意見

- ◆　気軽に寄付が出来るのでいい、寄付控除の対象になることがもっと広まればよい
- ◆　危険な乗り物に乗ってるという意識付けや、被害にあった方への支援にきちんと使ってもらいたい
- ◆　良い制度なので啓蒙・推進してほしいと思う、被災地の援助が良いと思う
- ◆　販売店を通じてもっと広めていけば良いと思う　車購入時に案内があれば絶対していたと思う
- ◆　自分の車をデコレーションすることによって公共の利益、誰かしらの支援や救済措置の一環になるのなら良いと思う
- ◆　災害等寄付に役立つならいい制度だと思う
- ◆　寄付金が自治体の政策に使われるのであれば、良い制度だと思う
- ◆　自治体の地域振興に使われるのでいいと思う
- ◆　寄付金に使われてるなんて今まで知らなかったので他にもこういった施策があればぜひ利用したい
- ◆　斬新なアイデアだと思う

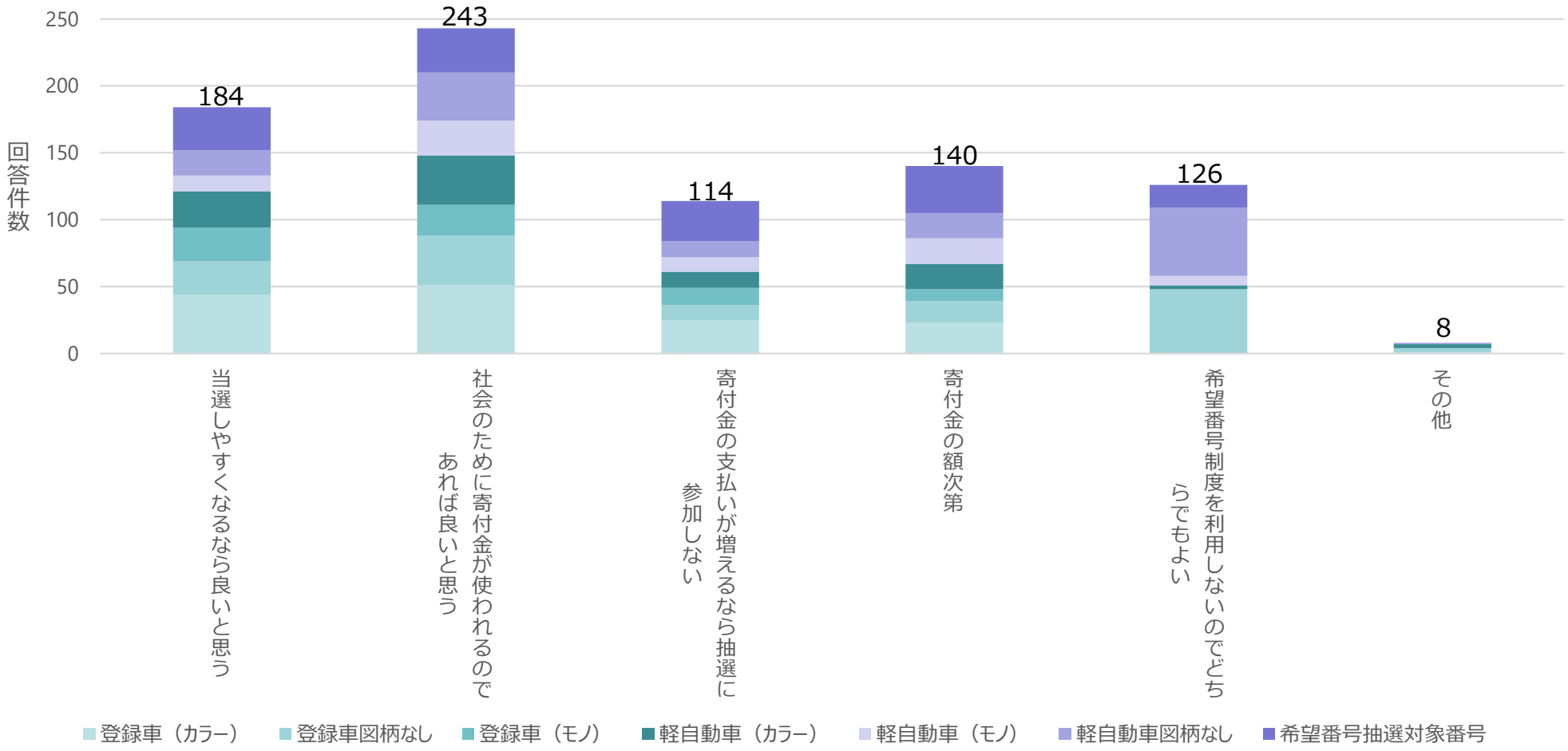
主な図柄ナンバープレートの寄付金制度へのネガティブなご意見

- ◆　何に使われているかわからない無策をやめてほしい、寄付できるのは良いことだと思うが、使い道を明確に教えてほしい、寄付金制度には賛成ではない、本当に使われているのか疑問
- ◆　寄付金制度は良いが、使い道が指定できないのが、好きではない
- ◆　寄付金がちゃんと使われているか心配
- ◆　寄付金自体は良いと思うが、寄付金は何でも使うのではなくて、ある程度は目的を絞った用途にした方が良いと思う
- ◆　寄付金は良いかもしれないが、視認性重視なのでやはり付けたくない
- ◆　料金を払ってまで利用したくないし、柄は要らない
- ◆　特に考えた事がないし、興味もない。
- ◆　もう少し広報活動した方が良いのではないか

自動車ユーザーに対するアンケート結果について

国土交通省

Q20　抽選対象番号の倍率を少しでも下げるために、希望番号制度に寄付金制度を導入し、一定額以上の寄付金を納めていただける方のみが抽選に参加できるような制度にすることについてどう思いますか。お考えに近いものをすべてお選びください。（複数回答）（ｎ＝643）

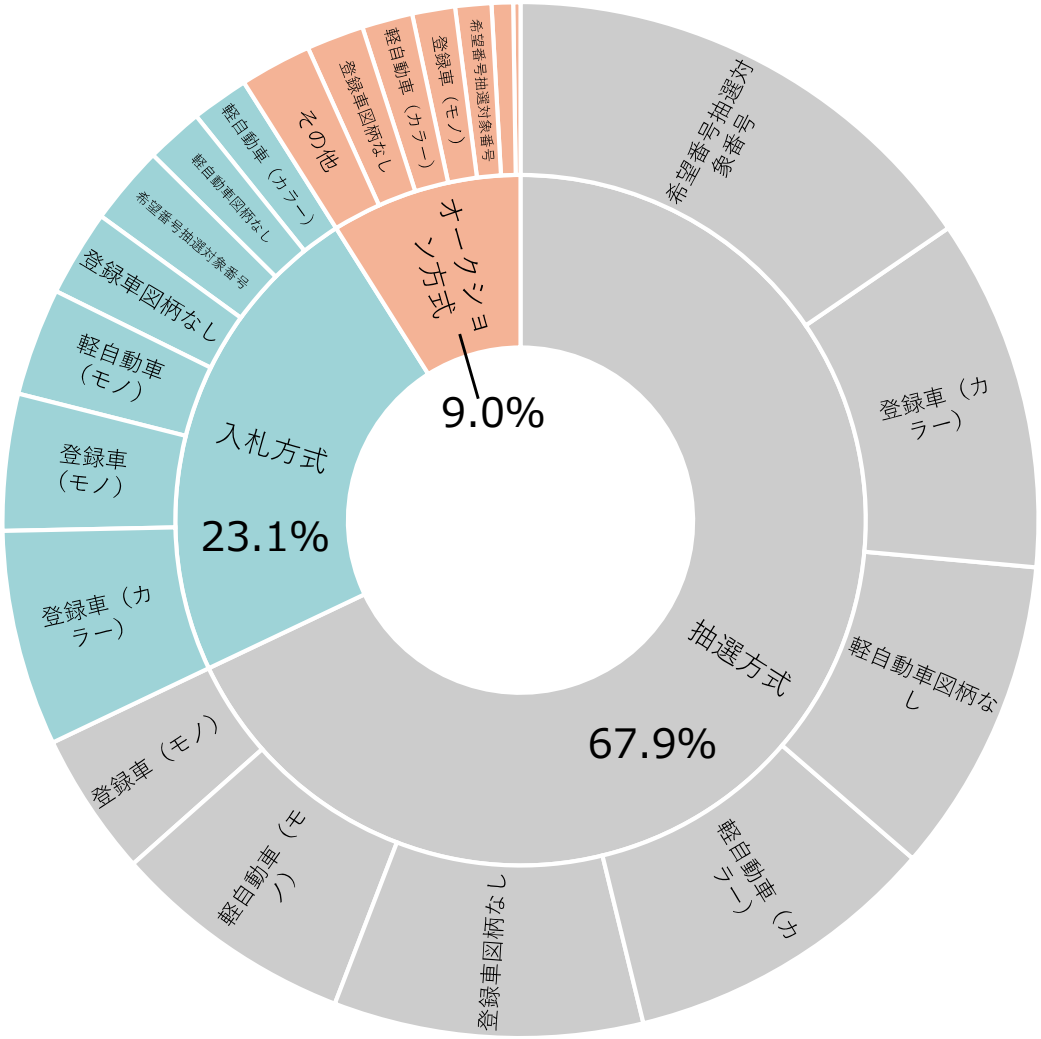


抽選対象番号への寄付金制度を導入した場合、「社会のために寄付金が使われるのであれば良いと思う」という回答一番多く、次に「当選しやすくなるなら良いと思う」回答が多い結果となった。

自動車ユーザーに対するアンケート結果について

国土交通省

Q21　「当選しやすくなるなら良いと思う」「社会のために寄付金が使われるなら良いと思う」「寄付金の額次第」と回答した方にお伺いいたします。
抽選対象番号の当選者の決定方法はどのようなものが良いと思いますか。
（単一回答）（n＝446）

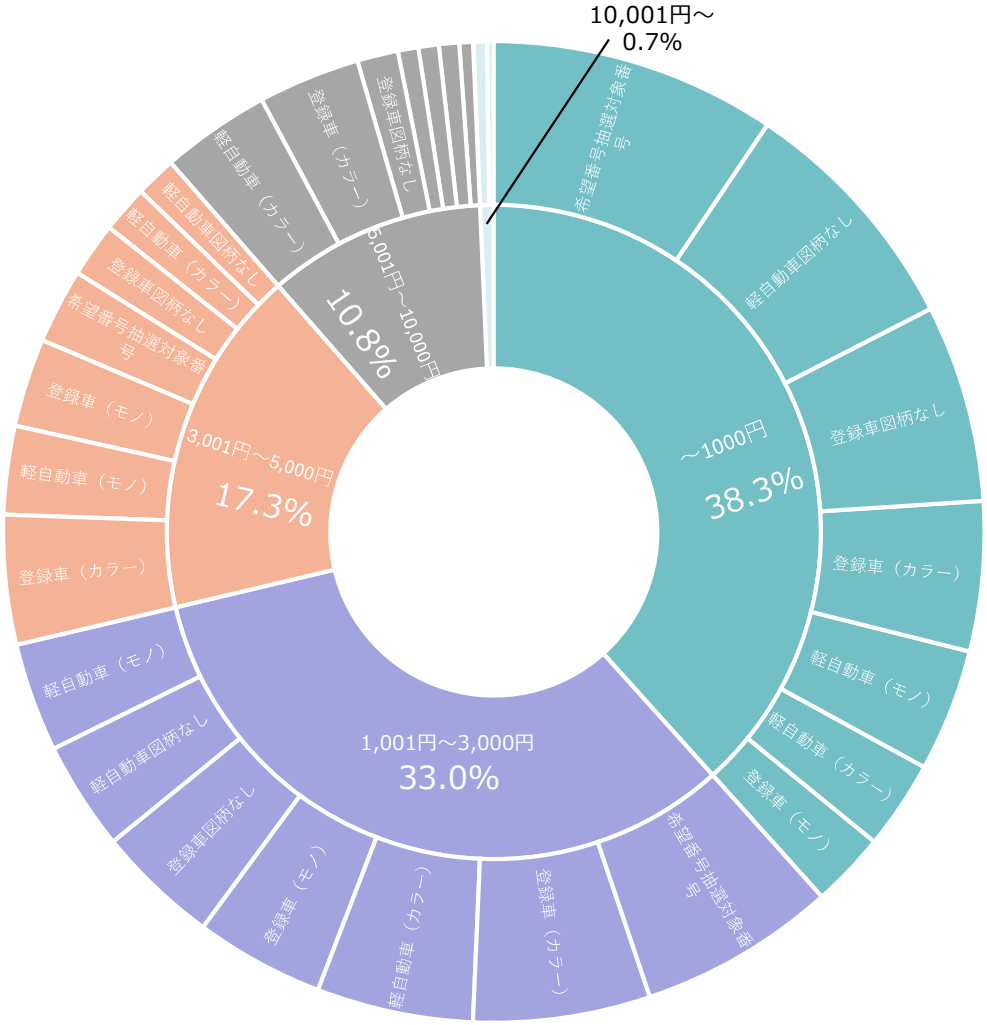


抽選対象番号の当選者の決定方法について、7割弱の方が抽選方式での決定を望む結果となった。

自動車ユーザーに対するアンケート結果について

国土交通省

Q22　「当選しやすくなるなら良いと思う」「社会のために寄付金が使われるなら良いと思う」「寄付金の額次第」と回答した方にお伺いいたします。
希望番号を取得するためであれば、いくらまでだったら寄付金を納めても良いと思いますか。
※ナンバープレート代金とは別に納める金額についてお答えください。（単一回答）（n＝446）

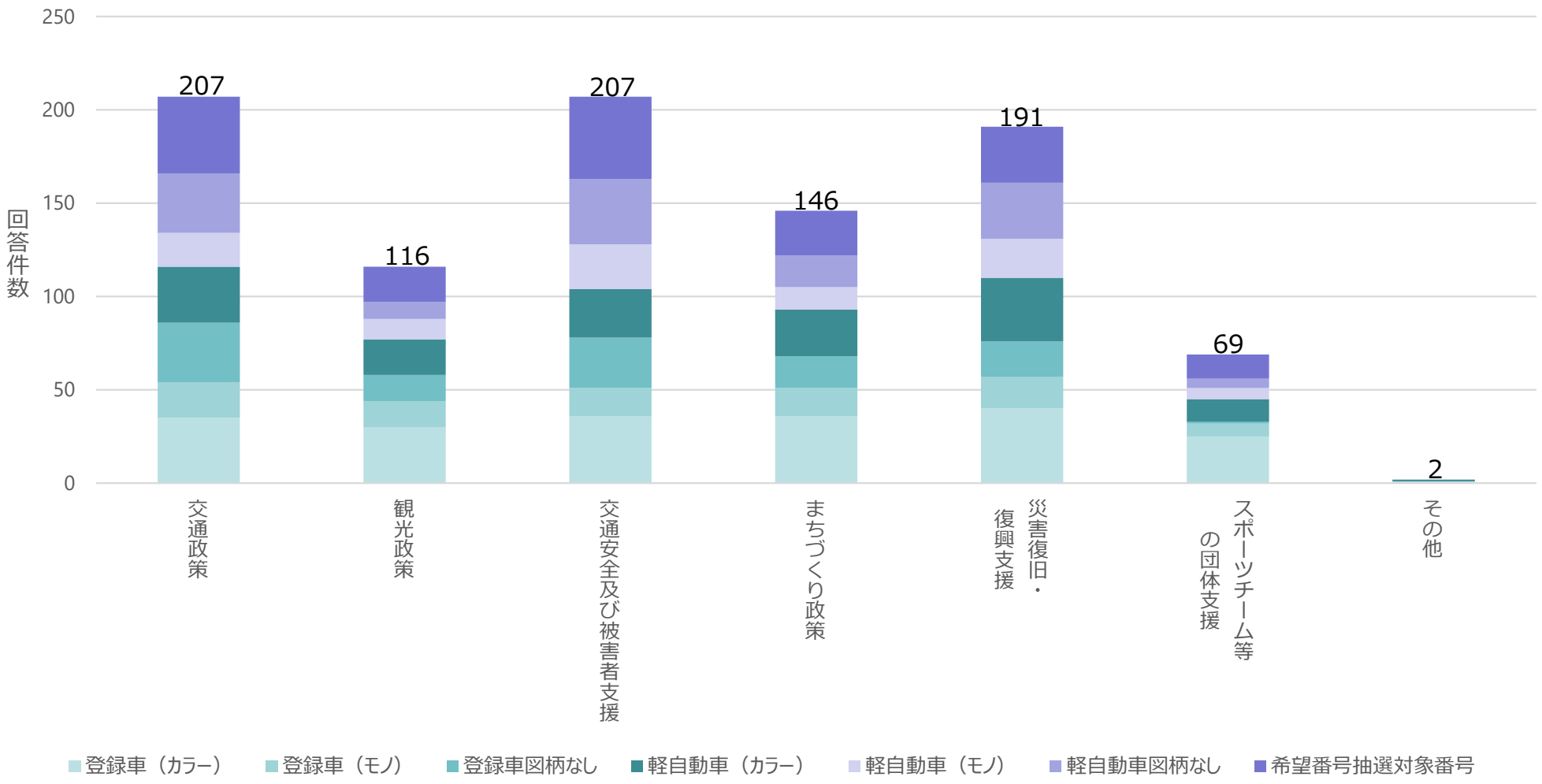


希望番号を取得するための寄付金を納める額について、 1,000円までなら納めても良いという方が38.3%で、1,001円～3,000円であれば納めても良いという方が33.0% と多い結果となった。
なお、 3,001円以上の寄付金を許容できるとした割合は30%程度であった。

自動車ユーザーに対するアンケート結果について

国土交通省

Q23　「当選しやすくなるなら良いと思う」「社会のために寄付金が使われるなら良いと思う」「寄付金の額次第」と回答した方にお伺いいたします。希望番号制度における寄付金は、どのような活用目的が良いと思いますか。あてはまるものをすべてお選びください。（複数回答）　（n＝446）



希望番号制度における寄付金の活用目的について、図柄ナンバープレートの寄付金の活用と同じく、「交通政策」「交通安全及び被害者支援」「災害復旧・復興支援」への活用を求める方が多い結果となった。

Q24　ナンバープレートの希望番号制度について、どのようにお考えですか。できるだけ具体的にお書きください。
(n=568)

ナンバープレートの希望番号制度へのポジティブなご意見（主なもの）

- 好きな番号にできることは良いこと、与えられた番号ではなく 自分はが好きな番号にしたいので、これからも希望番号制度を支持したい
- 本人にとって意味がある数字があると思うのでよい制度だと思う
- 愛着のある番号をぜひとも使いたいので推進してほしい
- 好きな番号にしたい人がいるので良いと思う
- 人と被らない数字が好きなため、自分が好きな番号を付けたい
- 覚えやすいため希望番号をいつも利用する
- 覚えやすいし非常に魅力的に感じる。もっと高額な料金でも払う人はいそうなので、引き上げても不満はない
- さらに便利で使いやすいサービスになるとよい、いろんな役にたつので良い取り組みだと思う
- 街づくりや災害等復興に役立つならいいと思う
- 希望番号制度で集められた資金で自治体の政策が進められるのであれば、良い制度だと思う

ナンバープレートの希望番号制度へのネガティブなご意見（主なもの）

- 好きな番号に出来るのはとても嬉しいけれど、お金がかかるなら、多分使わない
- 費用を多くとる意味がよく分からない、特に意見はないが高額になるならやめたほうがいいと思う
- 何でもかんでも、お金で解決しようとする取り組みが理解出来ない、好きな番号にするのにお金が必要なのが納得いかない
- なんでもお金に絡めるのはいかがなものかと思う。このくらいの事はささやかな楽しみとして無料の抽選でいいのではないかと思う
- 基本的には番号にはこだわらない
- 自分としては全く興味がない　何番になってもいいので特に何も思わない
- 別に希望がないので無くてもいいと思う
- 同じような番号ばかり増えて区別化できにくくなってしまっているため、廃止してほしい

アンケート結果を踏まえた寄付金額への影響

国土交通省

<table>
<tr><th>No</th><th colspan="2">活用した数値等</th></tr>
<tr><td>1</td><td>アンケート結果
＜モノトーンがなくなった場合＞
・フルカラーを付けようと思う　約70%
・　付けようと思わない　約30%</td><td rowspan="3">図柄ナンバープレートの申込件数（R6年度）

○地方版フルカラー　86,228件
○地方版モノトーン　107,167件

○全国版フルカラー　111,320件
○全国版モノトーン　299,330件</td></tr>
<tr><td>2</td><td rowspan="2">アンケート結果
＜寄付金をフルカラー・モノトーンともに1,000円とした場合＞
・フルカラーをつけたい　約30%
・モノトーンをつけたい　約60%
・通常のものをつけたい　約10%</td></tr>
<tr><td>3</td></tr>
<tr><td>4</td><td colspan="2">図柄ナンバープレートの申込件数（R6年度）
○地方版フルカラー　86,228件
○全国版フルカラー　111,320件</td></tr>
</table>

アンケート結果を踏まえた寄付金額への影響

国土交通省

No	年間寄付金額の計算式
1	地方版：107,167件 × 0.7 × 1,000円 ＝ 75,017,000円 ≒ 0.8億円（地方版モノトーン⇒地方版フルカラー） 全国版：299,330件 × 0.7 × 1,000円 ＝ 209,531,000円 ≒ 2.1億円（全国版モノトーン⇒全国版フルカラー） 合計： 0.8億円 ＋ 2.1億円 ＝ 2.9億円 （地方版＋全国版の増加額）
2	地方版：107,167件 × 0.3 × 1,000円 ＝ 32,150,000円 ≒ 0.3億（地方版モノトーン⇒地方版フルカラー） 0.3億（地方版合計） 107,167件 × 0.6 × 1,000円 ＝ 64,300,000円 （地方版モノトーン⇒全国版モノトーン） 全国版：299,330件 × 0.3 × 1,000円 ＝ 89,799,000円 （全国版モノトーン⇒全国版フルカラー） 299,330件 × 0.6 × 1,000円 ＝ 179,598,000円 （引き続き全国版モノトーン） 64,300,000円 ＋ 89,799,000円 ＋ 179,598,000円 ＝ 333,697,000円 ≒ 3.4億（全国版合計） 合計： 0.3億 ＋ 3.4億円 ＝ 3.7億 （地方版＋全国版の増加額）
3	地方版：107,167件 × 0.3 × 1,000円 ＝ 32,150,000円 （地方版モノトーン⇒地方版フルカラー） 107,167件 × 0.6 × 1,000円 ＝ 64,300,000円 （引き続き地方版モノトーン） 32,150,000円 ＋ 64,300,000円 ＝ 96,450,000円 ≒ 1.0億円（地方版合計） 全国版：299,330件 × 0.3 × 1,000円 ＝ 89,799,000円 （全国版モノトーン⇒全国版フルカラー） 299,330件 × 0.6 × 1,000円 ＝ 179,598,000円 （引き続き全国版モノトーン） 89,799,000円 ＋ 179,598,000円 ＝ 269,397,000円 ≒ 2.7億円（全国版合計） 合計： 1.0億円 ＋ 2.7億円 ＝ 3.7億円 （地方版＋全国版の増加額）
4	地方版： 86,228件 × 1,000円 ＝ 86,228,000円 全国版：107,167件 × 1,000円 ＝ 107,167,000円 合計：86,228,000円 ＋ 107,167,000円 ＝ 193,395,000円 ≒ 2.0億（地方版＋全国版の寄付金総額）

注１：1申込当たりの寄付金額は1,000円で計算
注２：年間寄付金額の試算について、特別仕様版は時限交付のため試算の対象外としている。

2.（２）自動車ディーラーに対するアンケート調査結果

自動車ディーラーに対するアンケート結果について

国土交通省

ディーラーへ実施したアンケート内容について

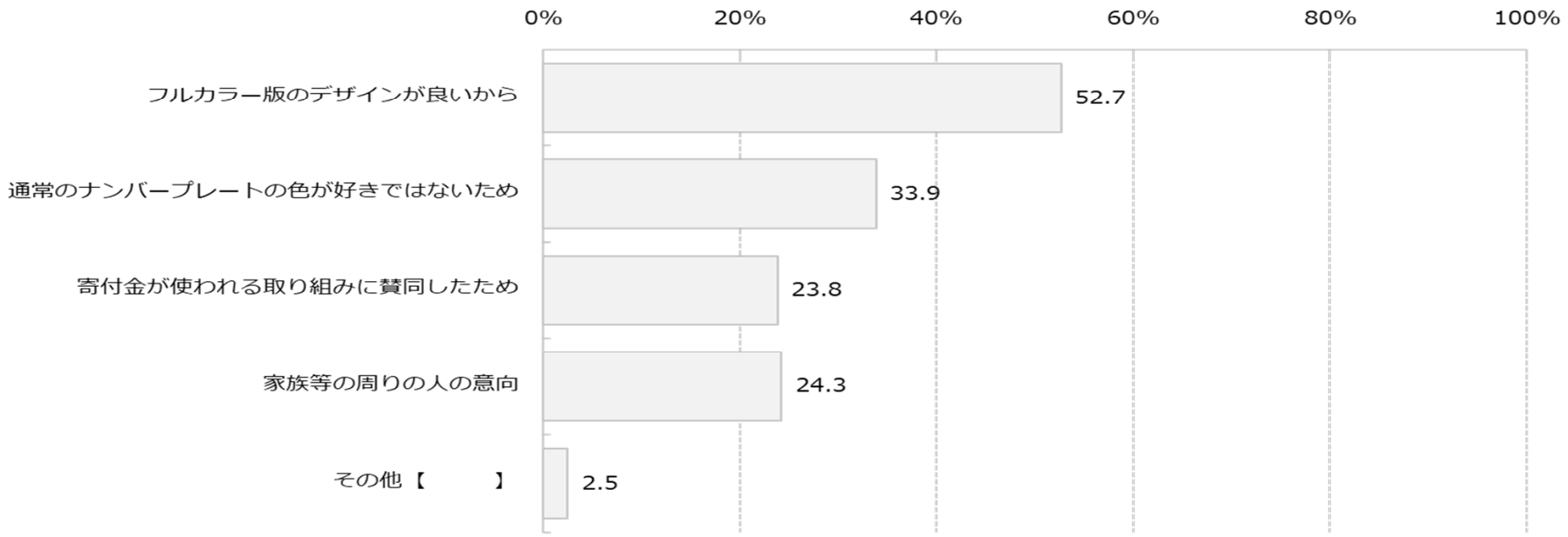
○アンケート結果

<設問>（自動車ユーザーアンケートの[Q2]）

現在フルカラー版の図柄入りナンバープレートを付けている方にお伺いします。

フルカラー版の図柄入りナンバープレートを選んだ理由としてあてはまるものをすべてお選びください。　（複数回答）

<集計結果>



○ご質問

現在フルカラー版図柄入りナンバープレートを付けている登録車、軽自動車ユーザーへフルカラー版を付けている理由を聞いたところ、上記図の通りの回答になりました。

普段自動車ユーザーの方がフルカラー版を選ぶ理由として伺う意見として、「フルカラー版のデザインが良いから」という意見が多いのか、その他の意見の方が多いのかお聞かせください。

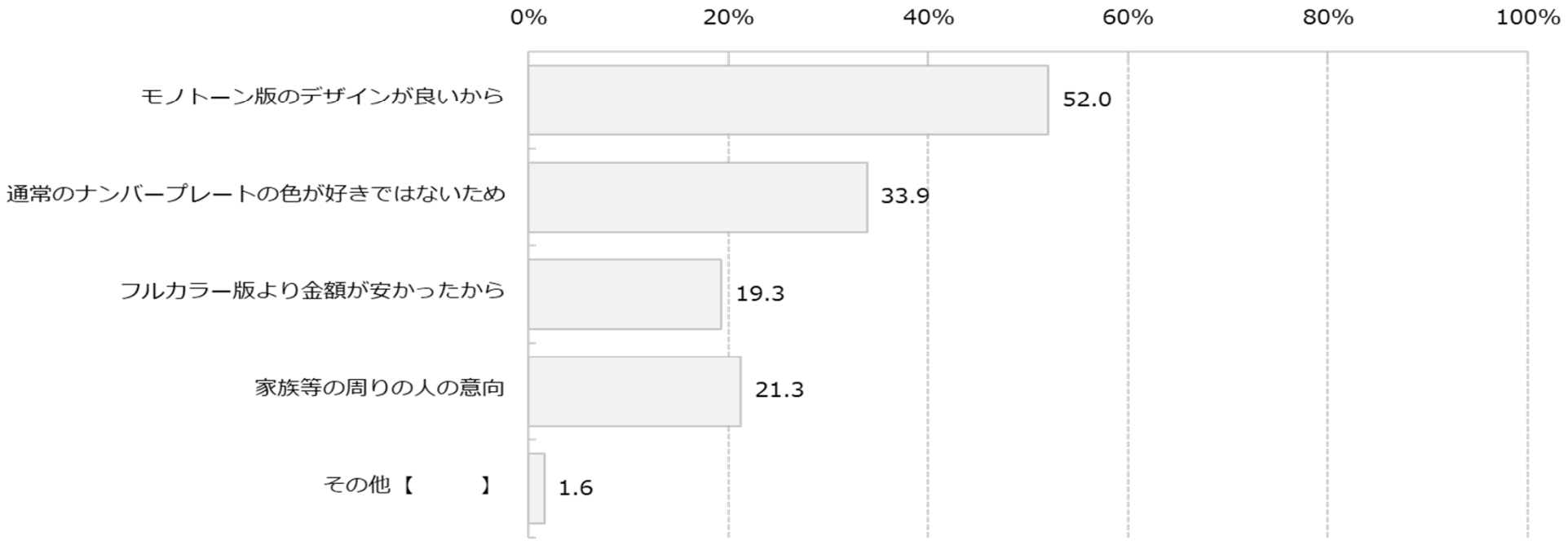
※登録車ユーザーと軽自動車ユーザーでご意見が異なる場合は、ご回答を分けてお答えいただきますようお願いいたします。

国土交通省

ディーラーへ実施したアンケート内容について

○アンケート結果

＜設問＞（自動車ユーザーアンケートの[Q3]）
現在モノトーン版の図柄入りナンバープレートを付けている方にお伺いします。
モノトーン版の図柄入りナンバープレートを選んだ理由としてあてはまるものをすべてお選びください。　（複数回答）
＜集計結果＞



○ご質問

　現在モノトーン版図柄入りナンバープレートを付けている登録車、軽自動車ユーザーへモノトーン版を付けている理由を聞いたところ、上記図の通りの回答になりました。
　普段自動車ユーザーの方がモノトーン版を選ぶ理由として伺う意見として、「モノトーン版のデザインが良いから」という意見が多いのか、その他の意見の方が多いのかお聞かせください。
※登録車ユーザーと軽自動車ユーザーでご意見が異なる場合は、ご回答を分けてお答えいただきますようお願いいたします。

自動車ディーラーに対するアンケート結果について

国土交通省

ディーラーからの回答内容

＜共通＞

◆ 登録車は、上記回答集計の内容であると思われるが、軽自動車は、上記回答集計と比較すると「通常のナンバープレートの色が好きではないため」が、比率的にもう少し多いと思われる。

◆ 新車を購入される際に「新規でナンバープレートを取得するのだから、フルカラー版にしよう」ということで、お客様によるニーズが主であり、フルカラー版かモノトーン版の“デザイン”の好みの違いが多い。

◆ 一般の方は“デザイン”で選ぶ方が多く、法人では地元の会社だとアピールするなどにも利用されている場合がある。

◆ 軽自動車は黄色のナンバープレートではないナンバープレートを選択したい傾向が強い。登録車は“デザイン”で選ぶ方が多い。

＜フルカラー版＞

◆ 登録車、軽自動車ともに、フルカラー版を選ぶ方は、お客様のほうから指定されるケースが多く、理由は“デザイン”で選ぶ方が多い。

＜モノトーン版＞

◆ モノトーン版のナンバープレートを選ぶ方は、フルカラー版だと派手すぎるが、通常ナンバープレートは嫌だからという意見が多い。特に軽自動車の場合は黄色のナンバープレートが嫌だからという意見が多い。

フルカラー版、モノトーン版共通して図柄ナンバープレートはデザインで選ぶ人が多い、という声があり、アンケート結果において「デザインが良いから」の回答が最も選ばれていることと整合。また、軽自動車は「通常のナンバープレートの色が好きではないため」を選ぶ人が実態としてはもっと多いのではないかという声やフルカラー版を選ぶ人の方がよりデザインを重視しているという声もあった。

自動車ディーラーに対するアンケート結果について

国土交通省

ディーラーへ実施したアンケート内容について

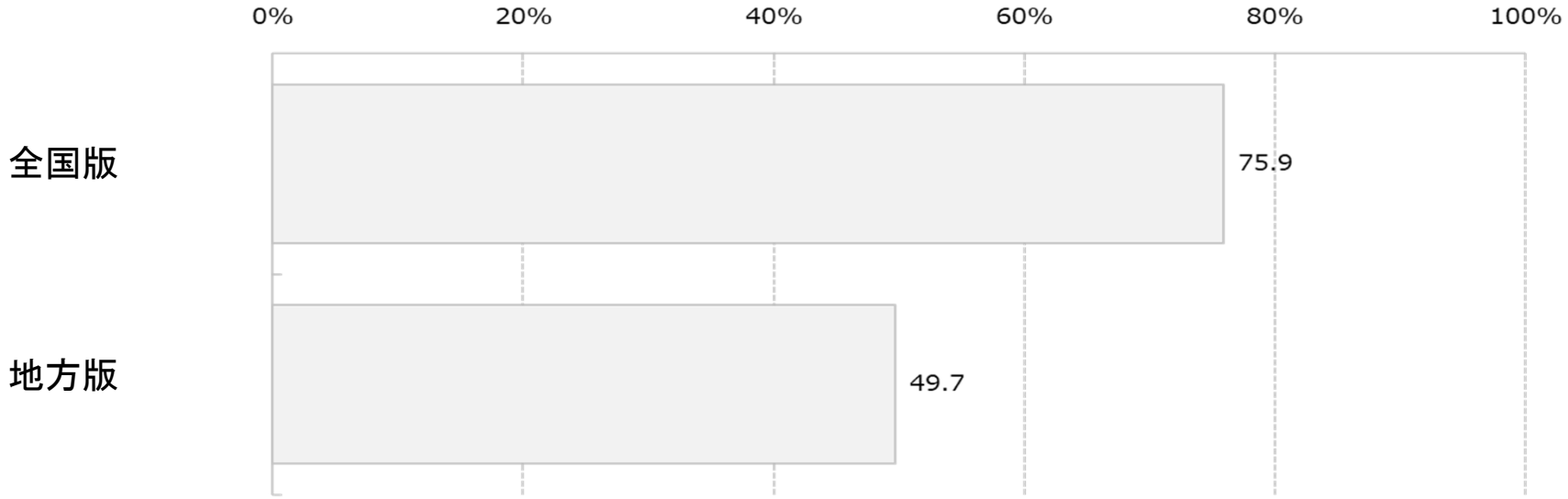
○アンケート結果

＜設問＞（自動車ユーザーアンケートの[Q7]）

今後、ナンバープレートを変える際に、フルカラー版の図柄入りナンバープレートを付けたいと思うと回答した方にお伺いします。今後付けたいと思う図柄入りナンバープレートは、全国版と地方版のどちらですか。

※全国版には国家的イベント（万博、オリンピック、ラグビーワールドカップなど）のプレートも含みます。　（複数回答）

＜集計結果＞



○ご質問

今後、自動車を買い替える際に図柄入りナンバープレートを付けたいと回答した方のうち、全国版と地方版どちらを付けていたかアンケートを採ったところ、上記図の通りの回答になりました。

普段自動車ユーザーの方が選ばれる図柄として、アンケート結果の通り全国版が多いのか、地方版を希望されるユーザーが多いのかお聞かせください。

※登録車ユーザーと軽自動車ユーザーでご意見が異なる場合は、ご回答を分けてお答えいただきますようお願いいたします。

自動車ディーラーに対するアンケート結果について

国土交通省

ディーラーからの回答内容

◆ アンケートの回答結果の通り全国版を選ぶ方が多いように感じる。

◆ 登録車、軽自動車ともに圧倒的に全国版を選ぶ方が多いように感じる。

◆ 地方版は選べる地域が限られるので、全国版を選択する方が多いように感じる。

◆ 知名度の関係から全国版を選ぶ方が多いように感じる。

◆ 新車を購入されるタイミングはほとんどのお客様が数年（３～１０年）に１回ということで、その購入の際に全国版と地方版の図柄を取得される方が多い。全国版はその時の世相を表す記念として、地方版は地域を表すものとして、ニーズはお客様によって分かれている。

図柄ナンバープレートを選ぶ場合、登録車、軽自動車ともにアンケート結果の通り全国版を選ぶ方が多いという回答がほとんどだった。なお、地方版が少ない理由としては、選べる地域が限られたり、知名度が全国版よりないからという回答があった。

自動車ディーラーに対するアンケート結果について

国土交通省

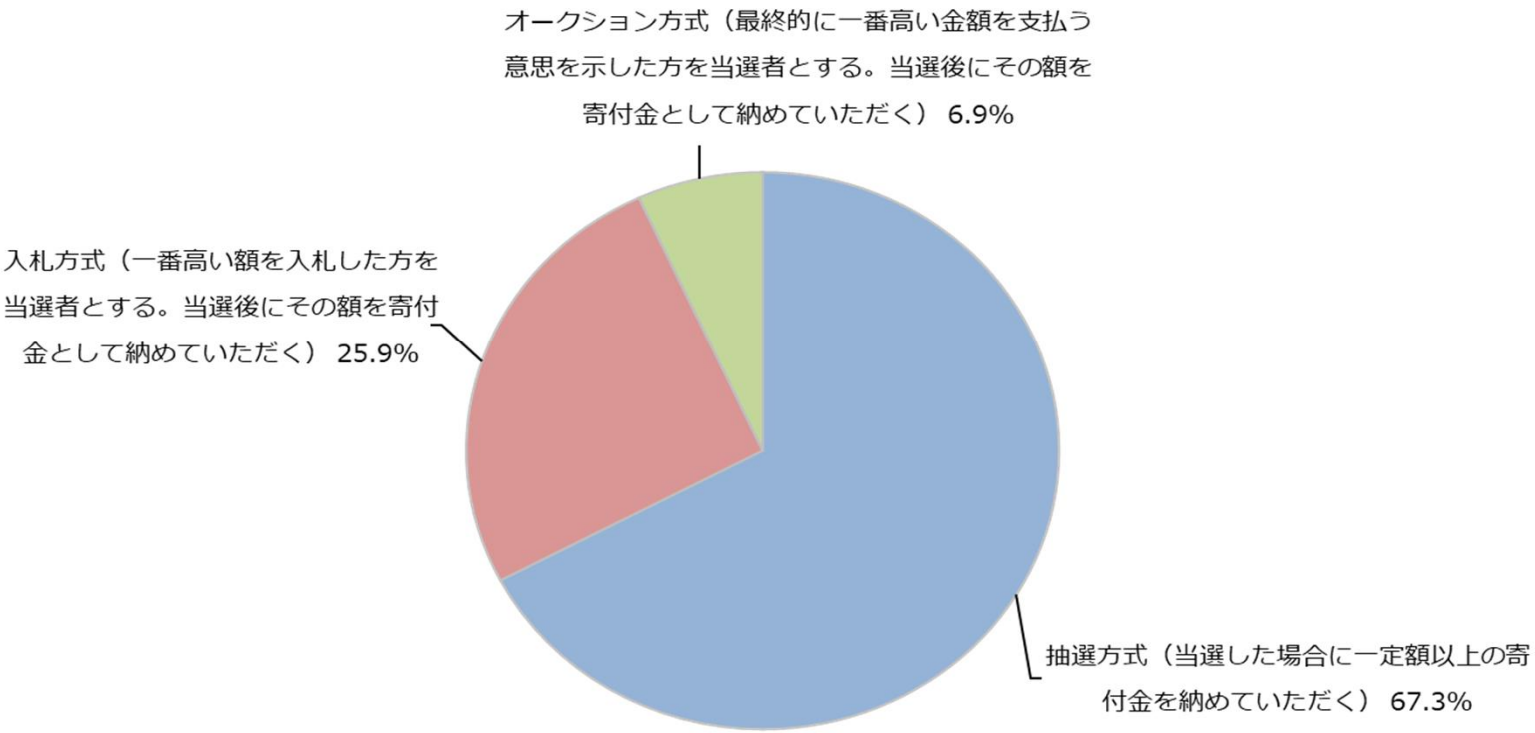
ディーラーへ実施したアンケート内容について

○アンケート結果

＜設問＞（自動車ユーザーアンケートの[Q21]）

抽選対象番号の当選者の決定方法はどのようなものが良いと思いますか。　(単一回答)

＜集計結果＞



○ご質問

今後、抽選対象番号の当選者の新たな決定方法について検討しております。

①抽選方式（当選した場合に一定額以上の寄付金を納めていただく）

②入札方式（一番高い額を入札した方を当選者とする。当選後にその額を寄付金として納めていただく）

③オークション方式（最終的に一番高い金額を支払う意思を示した方を当選者とする。当選後にその額を寄付金として納めていただく）

これらの方式について、ディーラー様の手続として、どの方法が一番良いかお聞かせください。また、これらの方式を導入する場合に困ることがあれば教えてください。

※現時点では抽選対象番号の当選者の新たな決定方法を導入することが決まったわけではございません。

自動車ディーラーに対するアンケート結果について

国土交通省

ディーラーからの回答内容

- ①の抽選方式が良い。抽選だけではないが、申込時に入力を簡素化することも考慮して頂きたい。
- ①の抽選方式が良い(寄付金は無くてもよいかと思う。)②③不要。長納期の現状を考えるとさらに納期が長くなる要因は排除したいし、営業スタッフも登録事務室も業務の複雑化、工数大のため。
- ①の抽選方式が良い。②③の場合、販売会社が仲介する事は出来ず、ユーザーとナンバーセンター直接のやり取りをして頂く事になる。また、いずれの方法であるに拘わらず、寄付金をお客さまからディーラーが預かる事は出来ない。
- ①の抽選方式が望ましい。②・③は番号によって金額が大きく吊り上がってしまう懸念から、モラルの欠如が予測され、寄付金額は一定であることが望ましいと思うので、①を推奨する。
- 運用を考えると、②③は申し込みまでの前準備から必要となるため、①の抽選方式が良い。
- いずれの方式も「寄付金が後回収」となるとお客様対応上の煩雑さが出てくることが懸念される（現状のようにオーダーされる際に金額が明朗であることが望ましい）。

抽選対象番号の当選者の決定方法について、ほぼすべてのディーラーから、①の抽選方式を望む声が多かった。また、抽選方式の場合でも、手続きの簡素化を求める声もあった。

3. 諸外国のナンバープレートに係る制度

海外における図柄入りナンバープレート及び希望番号ナンバープレートの状況について

〔　調査国　〕

凡例　○：実施あり
　　×：実施なし
　　－：不明

国・地域		図柄入りナンバープレート	希望ナンバープレート	交付主体	寄付金の受領先
アメリカ合衆国	デラウエア州	○	○	州	州,寄付団体
	アリゾナ州	○	○	州	寄付団体
	ニュージャージー州	○	○	州	州、寄付団体
	カリフォルニア州	○	○	州	州、寄付団体
	フロリダ州	○	○	州	寄付団体
	ペンシルバニア州	○	○	州	州、寄付団体
	ジョージア州	○	○	州	州、寄付団体
	メリーランド州	○	○	州	州、寄付団体
	マサチューセッツ州	○	○	州	州、寄付団体
オーストラリア	クイーンズランド州	○	○	国の委託先法人	国の委託先法人、寄付団体
ニュージーランド		○	○	国	国
イギリス		×	○	国	国
フランス		×	×	－	－
ドイツ		×	－	州	州
イタリア		×	×	国	国
台湾		×	○	国	国
タイ		○	○	国	国
シンガポール		×	○	国の委託先法人	－
マレーシア		－	○	国	国
中国	上海市	×	○	－	－

■寄付団体について
・寄付金を募るために寄付金付図柄入りナンバープレートを州政府傘下の発行団体に発行して貰う団体

海外における図柄入りナンバープレート及び希望番号ナンバープレートの状況について

〔　図柄入りナンバープレート　〕

凡例　○：実施あり
　　×：実施なし
　　－：不明

制度の内容等		交付主体について		図柄入りナンバープレートの価格設定			図柄入りナンバープレートの寄付金用途、更新制度	
		寄付団体が交付主体に申請する	寄付金は寄付団体に納められる	交付時に製造側が赤字にならない仕組みがある(※1)	通常のナンバープレートに比べ交付料金が高額	交付料金の他寄付金が設定されている	寄付団体の目的（動物愛護等）に使用	寄付金納付による更新制度を採用(1年ごと)
アメリカ合衆国	デラウエア州	○	○	－	同等(約1.1倍)	○	○	○（※2）
	アリゾナ州	○	○	○	○(約5.0倍)	○	○	○（※3）
	ニュージャージー州	○	○	－	○	○	○	○（※2）
	カリフォルニア州	○	○	－	○	○	○	○
	フロリダ州	○	○	○	○(約3.0倍)	○	○	○
	ペンシルバニア州	○	○	－	同等(約1.2倍)	○	○	○（※2）
	ジョージア州	○（※4）	○	○	○(※5) (約2.9倍)	○（※5）	○	○（※6）

※1　寄付団体から製造に係る最低保証金を徴収、または購入者リストを事前提出させる
※2　更新のないものもある
※3　アリゾナ州は、1年、2年、または5年ごとに登録を更新
※4　軍人用等州が発行主体のものもある
※5　軍人用等のみ無料、寄付金設定無し
※6　寄付金の使途による

■「通常のナンバープレートに比べ交付料金が高額」の設問について
・通常ナンバープレートより1.5倍以上の価格については高額とし、○にしています
・1.0～1.5倍未満の場合は同等と記載しています
・ニュージャージー州の通常プレートは無料のため○のみとしています
・カリフォルニア州は通常プレート価格が条件次第のため○のみとしています
・ジョージア州の価格倍率に無料の軍関係ナンバープレートは含まれていません

海外における図柄入りナンバープレート及び希望番号ナンバープレートの状況について

〔　図柄入りナンバープレート　〕

凡例　○：実施あり
　　×：実施なし
　　－：不明

制度の内容等		交付主体について		図柄入りナンバープレートの価格設定			図柄入りナンバープレートの寄付金用途、更新制度	
		寄付団体が交付主体に申請する	寄付金は寄付団体に納められる	交付時に製造側が赤字にならない仕組みがある(※1)	通常のナンバープレートに比べ交付料金が高額	交付料金の他寄付金が設定されている	寄付団体の目的（動物愛護等）に使用	寄付金納付による更新制度を採用(1年ごと)
アメリカ合衆国	メリーランド州	○（※2）	○	○	○（※3）(約1.9倍)	○（※3）	○	○（※4）
	マサチューセッツ州	○（※2）	○	○	○(約1.7倍)	○（※5）	○	○（※4）
オーストラリア	クイーンズランド州	○（※6）	○	○	○(約16.3倍)	○（※7）	○	×
ニュージーランド		－	－	－	○(約96.9倍)	－	－	－
タイ		－	－	－	○	×	－	－

※1　寄付団体から製造に係る最低保証金を徴収、または購入者リストを事前提出させる
※2　軍人用等州が発行主体のものもある
※3　軍人用等のみ無料、寄付金設定無し
※4　更新は2年ごと
※5　州発行のものは不明
※6　会社等の宣伝でも可
※7　寄付金無しの場合もある

■「通常のナンバープレートに比べ交付料金が高額」の設問について
・通常ナンバープレートより1.5倍以上の価格については高額とし、○にしています
・1.0～1.5倍未満の場合は同等と記載しています
・タイの通常プレートは無料のため○のみとしています
・メリーランド州の価格倍率に無料の軍関係ナンバープレートは含まれていません

海外における図柄入りナンバープレート及び希望番号ナンバープレートの状況について

〔 参考 〕

参考

乳がん啓発ナンバープレート
（デラウェア州）
出典：デラウェア州自動車局(DMV)

野生生物の保護ナンバープレート
（ニュージャージー州）
出典：ニュージャージー州自動車委員会

ストライプバス保護ナンバープレート
（マサチューセッツ州）
出典：マサチューセッツ環境トラスト

出典：
https://dmv.de.gov/VehicleServices/tags/index.shtml?dc=tags_all# (デラウェア州のナンバープレート)
https://www.nj.gov/mvc/vehicles/dedicated.htm (ニュージャージー州のナンバープレート)
https://www.mass.gov/info-details/get-an-environmental-trust-license-plate#pick-a-plate- (マサチューセッツ州ストライプバス保護ナンバープレート)

海外における図柄入りナンバープレート及び希望番号ナンバープレートの状況について

凡例　○：実施あり
　　×：実施なし
　　－：不明

〔　希望番号ナンバープレート　〕

制度の内容等		希望番号の価格設定	希望番号の費用回収方法	入札・オークション主催者		備考
		通常のナンバープレートに比べて交付料金は高額	購入者決定方法として入札やオークションを実施	国または州	個人	
アメリカ合衆国	デラウエア州	○	×	×	×	
	アリゾナ州	○	×	×	×	
	ニュージャージー州	○	×	×	×	
	カリフォルニア州	○	×	×	×	
	フロリダ州	○	×	×	×	
	ペンシルバニア州	○	×	×	×	
	ジョージア州	○	×	×	×	
	メリーランド州	○	×	×	×	
	マサチューセッツ州	○	×	×	×	人気の高い番号は抽選を経て交付

海外における図柄入りナンバープレート及び希望番号ナンバープレートの状況について

凡例　○：実施あり
×：実施なし
－：不明

〔　希望番号ナンバープレート　〕

制度の内容等		希望番号の価格設定	希望番号の費用回収方法	入札・オークション主催者		備考
		通常のナンバープレートに比べて交付料金は高額	購入者決定方法として入札やオークションを実施	国または市	個人	
オーストラリア	クイーンズランド州	○	×	×	×	
ニュージーランド		○	×	×	×	
イギリス		○	○	国	○	特別収益(※1)の用途として若いドライバー育成、自動車レースの開催等
台湾		○	○	国	－	
タイ		○	○	－	－	特別収益(※1)の用途として、寄付金に充てられる
シンガポール		○	○	－	－	
マレーシア		○	○	国	－	
中国	上海市	○	○	市	×	特別収益(※1)の用途として、交通渋滞抑制目的

※1　入札・オークションによる落札価格

入札等の対象が限定されている国について

〔 参考 〕

台湾
・人気のある番号
　入札の基本価格
　　第1級レベル：NTD6,000（約27,000円）　番号が全て同じ（例1111）
　　第2級レベル：NTD3,000（約13,500円）　番号が前2桁、後2桁が同じ番号※1(例:1122)、または順番とおり(例:5678)
　　第3級レベル：NTD3,000（約13,500円）　自分の希望する番号を選択可能(第1.2級を除く)
　　第4級レベル：NTD2,000（約　9,000円）　監理機構から提供された番号

マレーシア
・ナンバー取得は入札制度である（1.2.3共通）
　入札額は4段階ある
　（1）プレミアナンバー：最低入札額20,000リンギット（約600,000円）、最低上乗せ入札金額1,000リンギット（約30,000円）
　（2）レアナンバー　　：最低入札額3,000リンギット（約90,000円）、最低上乗せ入札金額150リンギット（約4,500円）
　（3）人気ナンバー　：最低入札額800リンギット（約24,000円）、最低上乗せ入札金額40リンギット（約1,200円）
　（4）通常ナンバー　：最低入札額300リンギット（約9,000円）、最低上乗せ入札金額15リンギット（約450円）

表記為替：
・台湾：1NTD＝4.5円　で計算
・マレーシア：1リンギット＝30円　で計算

※1　前2桁は後2桁より小さい数字のみ
（例：9911は×）

海外事例：マサチューセッツ州の抽選参加金方式

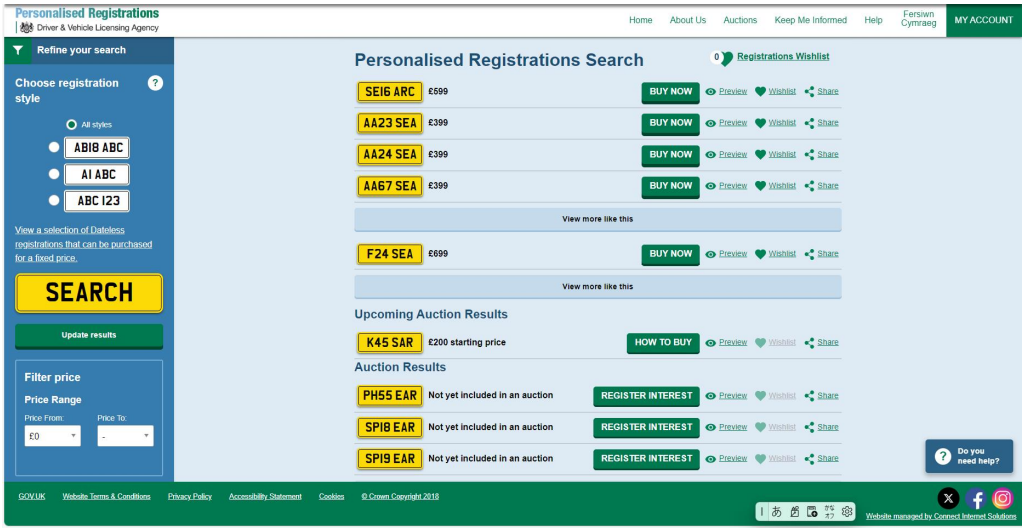
各ライセンスプレート(イメージ)	文字、数字の組合せ	費用	備考
 抽選プレート	・文字1桁＋数字1桁 ・文字1桁＋数字2桁 上記の人気の高い番号が 「抽選プレート」として該当	●交付手数料:100$ (約14,500円) (内訳)製造料 ： 30$ (約 4,350円) 登録料: 30$ (約 4,350円) **抽選料: 40$** (約 5,800円) ●更新:30$(2年ごと) (約 4,350円)	州（RMV（マサチューセッツ州自動局））が保留したものを希望者に対し抽選を経て交付する制度
参考 希望番号ライセンスプレート	・6桁の文字及び数字 ・最初の2桁：文字 (アルファベット) ・続く4桁：数字または文字 の組合せ	●交付手数料:80$ (約11,600円) (内訳)製造料:50$ (約 7,250円) 登録料:30$ (約 4,350円) ●更新:30$(2年ごと) (約 4,350円)	
参考 通常ライセンスプレート	・6桁の文字及び数字	●交付手数料:60$ (約 8,700円) (内訳)製造料:30$ (約 4,350円) 登録料:30$ (約 4,350円) ●更新:30$(2年ごと) (約 4,350円)	・プレート下地は白色 ・文字及び数字は赤色

表記為替：
・アメリカドル：1ドル＝145円　で計算

海外事例：イギリスのオークション方式

希望ナンバー制度はないため、国（DVLA（イギリス車両免許庁））が人気のあるナンバーを留保し、定期的にオークション形式で販売。また民間同士でのナンバーの売買も大きな市場となっている。

■DVLAオークション



DVLAパーソナライズド登録サイト https://dvlaregistrations.dvla.gov.uk/

■民間オークション
自動車所有者が相互に売買
過去20年間で800億の売上

■オークションの金額
DVLAオークション最低価格：130 ポンド（約26,000円）
開始価格：70～2,500 ポンド（約14,000～約500,000円）
販売価格：200～40,010 ポンド（約40,000～約8,002,000円）

■発行の際の条件等
取得価格の使途
・自動車レースの開催
・若いドライバーの育成　等
■希望番号の金流
・DVLAによる希望番号プレート420万件の登録が売却(1989～2014年)
・財務省に20億ポンド（約4,000億円）以上の資金となるDVLAオンライン、DVLAオークションについて英国政府によってプレスリリースされている（使い道は不明）

表記為替：
・イギリス：1ポンド＝200円　で計算